

---

**国分寺市地域福祉計画**  
**地域福祉に関するアンケート**  
**結果報告書**

---

平成 26 年 3 月  
国分寺市



# 目次

---

第1章 調査の概要	- 1 -
1 調査目的	- 2 -
2 調査の種類・方法・期間	- 2 -
3 回収結果	- 2 -
4 報告書を見る際の注意点	- 2 -
第2章 調査の結果	- 3 -
1 あなたご自身のことについて	- 4 -
問1 性別	- 4 -
問2 年齢	- 4 -
問3 職業・就業形態	- 5 -
問4 居住地区	- 6 -
問5 居住歴	- 7 -
問6 家族構成	- 8 -
問7 今後の居留意向	- 9 -
問8 同居者	- 10 -
問9 住宅形態	- 11 -
2 地域のことについて	- 12 -
問10 「地域」の範囲	- 12 -
問11 自治会・町内会の加入状況	- 13 -
問12 近所付き合いの程度	- 15 -
問13 近所付き合いの必要性	- 17 -
問13-1 近所付き合いが必要と感じる時	- 18 -
問13-2 近所付き合いが必要ないと思う理由	- 19 -
問14 地域の中の問題	- 20 -
問15 日常生活の中で起こる問題の良いと思われる解決方法	- 22 -
問16 隣近所で困っている人がいる場合の対応	- 23 -
問17 隣近所で困っている家庭があった場合に手助けできること	- 24 -
問18 隣近所でいつもと違う雰囲気を感じた場合にとる対応	- 25 -

3	福祉のことについて.....	- 27 -
	問 19 「福祉」の関心.....	- 27 -
	問 20 「福祉」のイメージ.....	- 28 -
	問 21 まちの状況についての印象.....	- 29 -
	問 22 障害を理由とした差別や偏見の有無.....	- 33 -
	問 22-1 差別や偏見があると思う場面.....	- 34 -
	問 23 福祉団体, 資源, 制度の認知度.....	- 35 -
	問 24 福祉の相談先.....	- 38 -
	問 25 福祉サービス情報の入手状況.....	- 39 -
	問 25-1 福祉サービス情報の入手手段.....	- 41 -
	問 26 悩みや不安ごと.....	- 43 -
	問 27 制度, 事業の認知度.....	- 45 -
	問 28 福祉サービスの充実と税金等の負担について.....	- 47 -
	問 29 虐待を地域の中で見たり聞いたりすること.....	- 48 -
4	地域での活動について.....	- 49 -
	問 30 地域活動やボランティア活動等の参加状況.....	- 49 -
	問 30-1 参加している活動.....	- 51 -
	問 30-2 活動に取り組まない理由.....	- 52 -
	問 31 ボランティア活動や活動団体の情報入手状況.....	- 53 -
	問 32 地域活動やボランティア活動等の参加意向.....	- 54 -
	問 33 福祉に関するボランティア活動等の活性化に必要なこと.....	- 55 -
5	防災に対する備えについて.....	- 57 -
	問 34 地域の防災訓練の参加状況.....	- 57 -
	問 35 災害が起きた時の対応の取り決め状況.....	- 58 -
	問 36 周囲における災害時に支援を必要としそうな方の有無.....	- 59 -
	問 36-1 災害時要援護者に対して行動していること.....	- 59 -
6	今後の福祉保健施策について.....	- 60 -
	問 37 福祉保健施策の充実のために重要な取組.....	- 60 -
7	自由回答.....	- 62 -
	問 38 暮らしやすい地域づくり, 市民と市の協働について.....	- 62 -
第3章	総括.....	- 89 -
第4章	集計表.....	- 95 -
第5章	調査票.....	- 113 -

# 第 1 章 調査の概要

---

## 1 調査目的

平成 26 年度に地域福祉計画を策定するにあたり、市民の地域や福祉に対する思い、実感、地域活動等への参加状況や広く市民のご意見、ご要望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

## 2 調査の種類・方法・期間

調査の種類・方法・期間は以下の通りとなります。

調 査 対 象	市内に居住する満 19 歳以上の市民
標 本 数	3,000
抽 出 法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調 査 方 法	郵送配布－郵送回収
調 査 期 間	平成 25 年 12 月 5 日（木）～12 月 27 日（金）

## 3 回収結果

回収状況は以下の通りとなります。

配 布 数	3,000
有 効 回 収 数	1,253
有 効 回 収 率	41.8%

## 4 報告書を見る際の注意点

- 1 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、その合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 2 図表中の「n」とは、その設問の回答者総数を表しています。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
- 4 選択肢の語句が長い場合、本文中では省略した表現を用いている場合があります。
- 5 クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目（クロス集計表の左側）の「無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- 6 クロス集計表の見方は以下の通りになります（無回答のものは除く）。

…横軸で一番多いもの。  …横軸で二番目に多いもの。

## 第 2 章 調査の結果

---

# 1 あなたご自身のことについて

## 問1 あなたの性別について、お聞きします。(あてはまるもの1つに○)

回答者の性別は、「女性」が59.5%、「男性」が36.1%となっています。

年齢別でも、いずれも「女性」の割合が「男性」よりも多く、特に30歳代、40歳代で7割前後となっています。



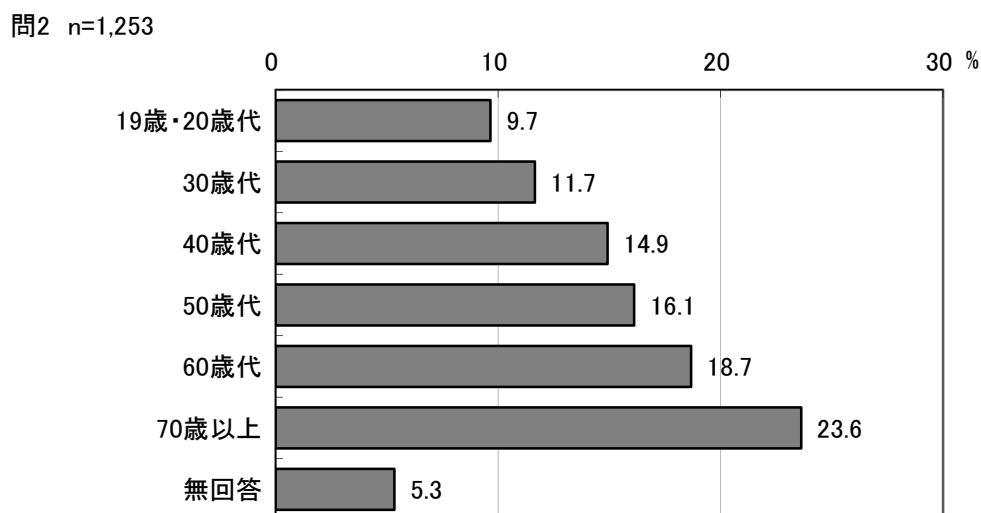
### ■年齢別

	n	(% )		
		男性	女性	無回答
19歳・20歳代	121	43.8	56.2	-
30歳代	146	30.8	69.2	-
40歳代	187	26.2	73.8	-
50歳代	202	38.1	61.9	-
60歳代	234	42.7	57.3	-
70歳以上	296	41.9	57.8	0.3

## 問2 あなたは何歳ですか。(数字を記入)

回答者の年齢は、「70歳以上」が23.6%で最も多く、次いで「60歳代」が18.7%、「50歳代」が16.1%、「40歳代」が14.9%、「30歳代」が11.7%、「19歳・20歳代」が9.7%となっています。

性別で見ると、男女ともに「70歳以上」が最も多くなっています。男性では年齢が上がるほど割合が多くなりますが、女性では「40歳代」から「60歳代」はほぼ同じ割合となっています。





■性別

		(%)						
	n	19歳・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
男性	452	11.7	10.0	10.8	17.0	22.1	27.4	0.9
女性	746	9.1	13.5	18.5	16.8	18.0	22.9	1.2

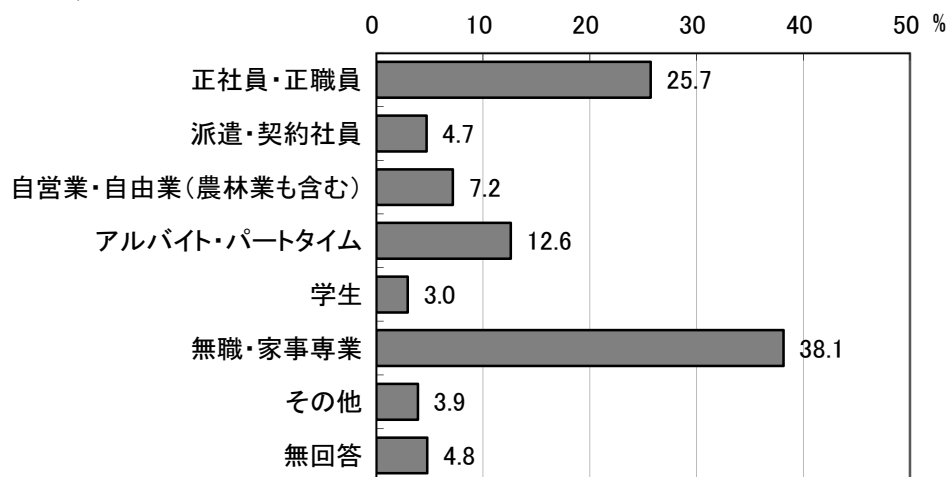
**問3 あなたのご職業・就業形態は次のどれですか。(主なもの1つに○)**

回答者の職業は、「無職・家事専業」が38.1%で最も多く、次いで「正社員・正職員」が25.7%、「アルバイト・パートタイム」が12.6%、「自営業・自由業（農林業も含む）」が7.2%、「派遣・契約社員」が4.7%、「その他」が3.9%「学生」が3.0%となっています。

性別では、男性は「正社員・正職員」が40.5%で最も多く、女性では「無職・家事専業」が46.5%で最も多くなっていますが、「アルバイト・パートタイム」が男性に比べて多くなっています。

年齢別では、19歳・20歳代から50歳代にかけては「正社員・正職員」が4割前後で最も多くなっていますが、60歳代より上では「無職・家事専業」が半数以上の割合で最も多くなっています。

問3 n=1,253



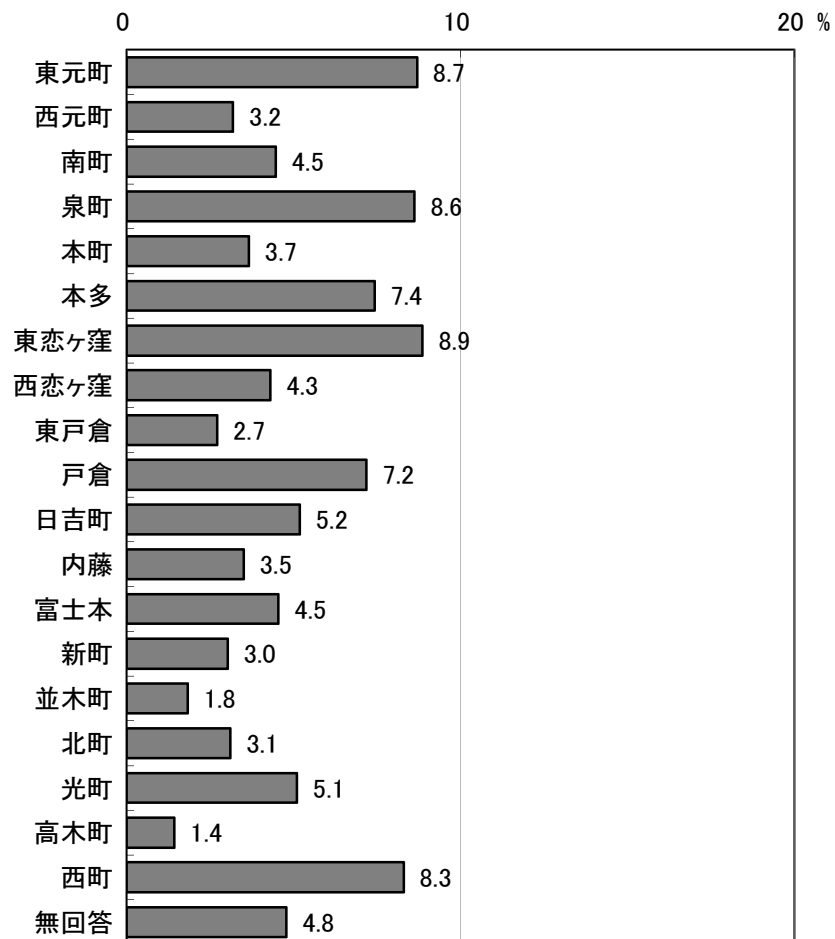
■性別/年齢別

		(%)								
	n	正社員・正職員	派遣・契約社員	自営業・自由業(農林業も含む)	アルバイト・パートタイム	学生	無職・家事専業	その他	無回答	
性別	男性	452	40.5	3.3	10.6	6.4	4.0	28.8	6.2	0.2
	女性	746	18.6	5.9	5.6	17.3	2.5	46.5	2.8	0.7
年齢	19歳・20歳代	121	43.0	5.0	1.7	8.3	30.6	9.9	1.7	-
	30歳代	146	47.3	9.6	6.2	16.4	-	19.9	0.7	-
	40歳代	187	44.9	8.6	5.9	20.3	-	19.3	1.1	-
	50歳代	202	38.6	4.5	11.9	21.3	-	21.3	2.0	0.5
	60歳代	234	13.2	5.6	10.7	12.0	-	52.1	5.6	0.9
	70歳以上	296	1.4	0.3	6.4	3.7	-	78.0	9.1	1.0

#### 問4 お住まいのまちはどこですか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の居住地域は、「東恋ヶ窪」が8.9%、「東元町」が8.7%、「泉町」が8.6%、「西町」が8.3%、「本多」が7.4%、「戸倉」が7.2%、「日吉町」が5.2%、「光町」が5.1%、「富士本」が4.5%、「南町」が4.5%、「西恋ヶ窪」が4.3%、「本町」が3.7%、「内藤」が3.5%、「西元町」が3.2%、「北町」が3.1%、「新町」が3.0%、「東戸倉」が2.7%、「並木町」が1.8%、「高木町」が1.4%となっています。

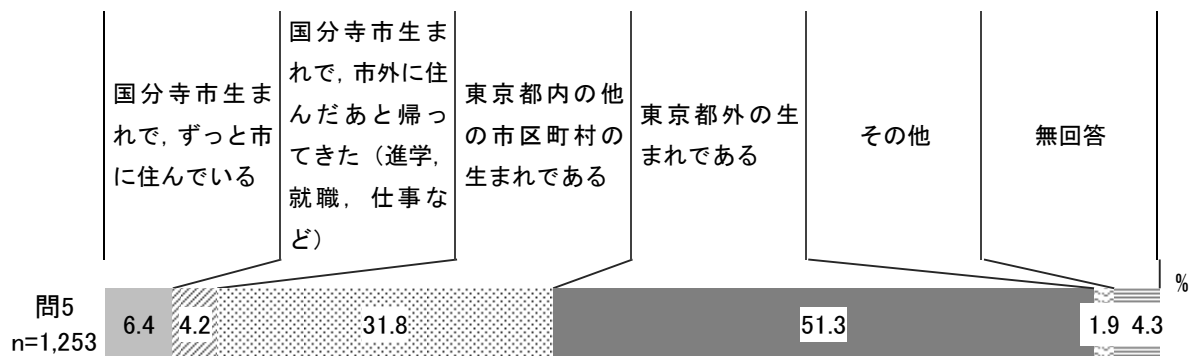
問4 n=1,253



### 問5 居住歴をお聞きします。(あてはまるもの1つに○)

回答者の居住歴は、「東京都外の生まれである」が51.3%で最も多く、次いで「東京都内の他の市区町村の生まれである」が31.8%、「国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる」が6.4%、「国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた(進学, 就職, 仕事など)」が4.2%、「その他」が1.9%となっています。

また、19歳・20歳代で「国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる」が18.2%で回答がやや多くなっているもののほとんどが1割未満となり、性別・年齢別・居住地区別による差はあまりみられず、いずれも「東京都外の生まれである」がおおむね半数以上で最も多くなっています。



### ■性別/年齢別/居住地区別

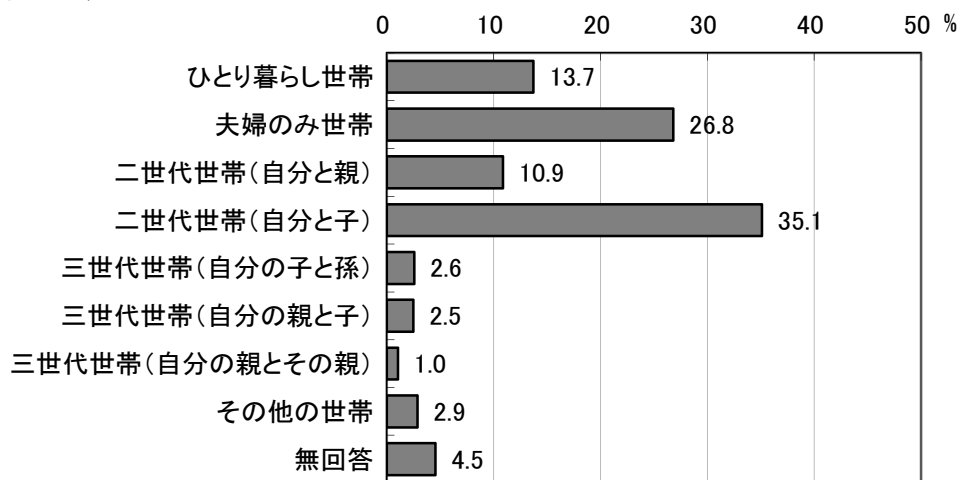
		n	国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる (%)	国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた(進学, 就職, 仕事など) (%)	東京都内の他の市区町村の生まれである (%)	東京都外の生まれである (%)	その他 (%)	無回答 (%)
性別	男性	452	9.7	3.3	27.0	57.3	2.4	0.2
	女性	746	4.8	5.0	37.0	51.5	1.7	-
年齢	19歳・20歳代	121	18.2	5.8	28.9	45.5	1.7	-
	30歳代	146	6.2	4.1	28.1	61.0	-	0.7
	40歳代	187	8.6	6.4	31.6	52.4	1.1	-
	50歳代	202	5.9	7.4	38.6	46.0	2.0	-
	60歳代	234	3.0	3.4	33.3	57.3	3.0	-
	70歳以上	296	4.4	1.4	35.5	55.7	3.0	-
居住地区	東元町	109	6.4	6.4	32.1	53.2	1.8	-
	西元町	40	2.5	5.0	30.0	62.5	-	-
	南町	56	3.6	5.4	32.1	55.4	3.6	-
	泉町	108	2.8	3.7	38.9	51.9	2.8	-
	本町	46	13.0	8.7	30.4	39.1	8.7	-
	本多	93	4.3	2.2	33.3	60.2	-	-
	東恋ヶ窪	111	8.1	3.6	27.9	56.8	3.6	-
	西恋ヶ窪	54	16.7	1.9	33.3	42.6	5.6	-
	東戸倉	34	8.8	-	32.4	55.9	2.9	-
	戸倉	90	10.0	5.6	28.9	54.4	-	1.1
	日吉町	65	6.2	4.6	41.5	46.2	1.5	-
	内藤	44	9.1	2.3	43.2	45.5	-	-
	富士本	57	1.8	5.3	33.3	57.9	1.8	-
	新町	38	7.9	5.3	34.2	52.6	-	-
	並木町	23	4.3	4.3	39.1	52.2	-	-
	北町	39	5.1	2.6	38.5	53.8	-	-
光町	64	3.1	4.7	32.8	59.4	-	-	
高木町	18	16.7	5.6	33.3	44.4	-	-	
西町	104	5.8	4.8	29.8	56.7	2.9	-	

## 問6 家族構成は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の家族構成は、「二世世代世帯（自分と子）」が35.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が26.8%、「ひとり暮らし世帯」が13.7%、「二世世代世帯（自分と親）」が10.9%、「その他の世帯」が2.9%、「三世世代世帯（自分の子と孫）」が2.6%、「三世世代世帯（自分の親と子）」が2.5%、「三世世代世帯（自分の親とその親）」が1.0%となっています。

年齢別では、19歳・20歳代では「二世世代世帯（自分と親）」が最も多くなっていますが、30歳代から60歳代では「二世世代世帯（自分と子）」、60歳代以上では「夫婦のみ世帯」が3割以上となっています。また、30歳代以下の若い年齢で「ひとり暮らし世帯」が1割以上となっていますが、60歳代で13.2%、70歳以上では21.6%と高年齢の「ひとり暮らし世帯」の割合も多くなっています。

問6 n=1,253



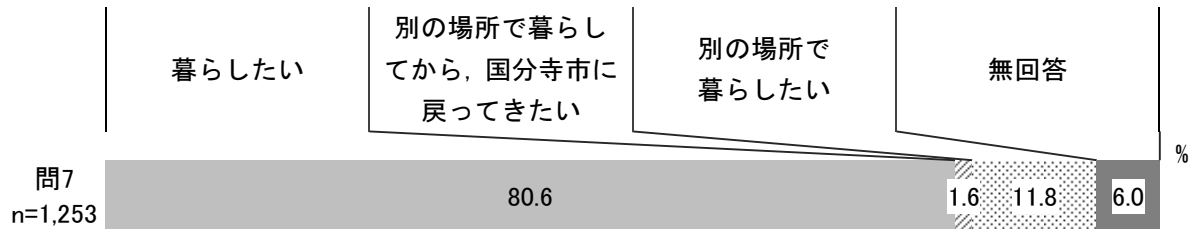
### ■性別/年齢別

		n	ひとり暮らし世帯	夫婦のみ世帯	二世世代世帯(自分と親)	二世世代世帯(自分と子)	三世世代世帯(自分の子と孫)	三世世代世帯(自分の親と子)	三世世代世帯(自分の親とその親)	その他の世帯	無回答
性別	男性	452	13.7	32.7	12.4	32.3	2.2	2.4	1.3	2.7	0.2
	女性	746	14.7	25.2	10.7	39.3	2.9	2.7	0.9	3.2	0.3
年齢	19歳・20歳代	121	18.2	12.4	52.9	5.8	-	-	7.4	3.3	-
	30歳代	146	13.7	26.0	17.1	38.4	-	1.4	1.4	1.4	0.7
	40歳代	187	8.0	19.8	12.3	53.5	-	2.7	0.5	3.2	-
	50歳代	202	8.9	21.3	5.4	53.5	0.5	6.9	-	3.5	-
	60歳代	234	13.2	35.5	4.7	35.5	2.6	4.3	-	4.3	-
	70歳以上	296	21.6	39.5	0.3	27.7	8.4	-	-	2.4	-

**問7 これからも国分寺市で暮らしたいですか。(あてはまるもの1つに○)**

回答者の今後の定住意向については、「暮らしたい」が80.6%で約8割を占め、「別の場所で暮らしたい」が11.8%、「別の場所で暮らしてから、国分寺市に戻ってきたい」が1.6%となっています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「暮らしたい」が最も多くなっていますが、19歳・20歳代と30歳代では「別の場所で暮らしたい」が2割半ばでほかの年齢に比べて多くなっています。



■年齢別

	n	(%)			
		暮らしたい	戻国ら別 つ分のの て寺て場 きたにらで い、暮	ら別 しの場 たい所 で暮	無 回 答
19歳・20歳代	121	65.3	9.1	24.8	0.8
30歳代	146	69.2	3.4	26.0	1.4
40歳代	187	87.7	-	9.6	2.7
50歳代	202	81.7	1.0	14.9	2.5
60歳代	234	91.9	0.4	6.8	0.9
70歳以上	296	93.9	0.3	4.1	1.7

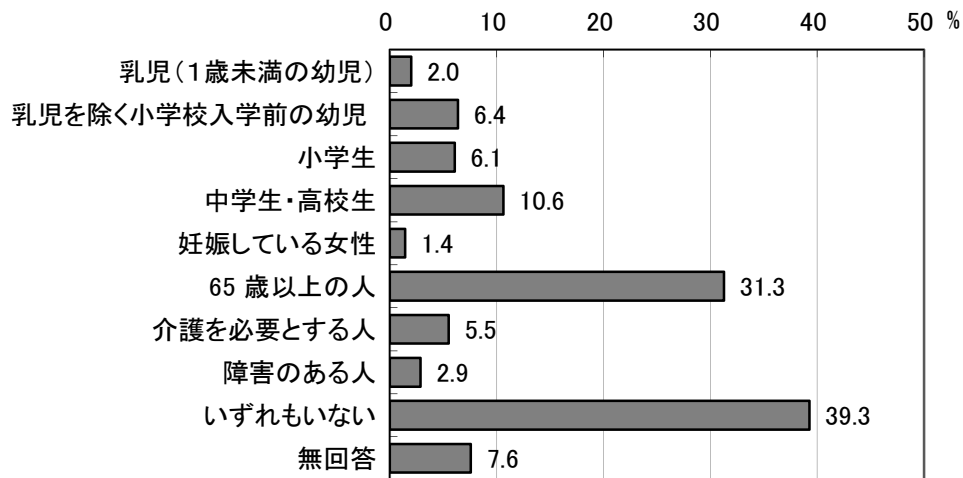
**問8 あなたご自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。**

**(あてはまるものすべてに○)**

回答者の同居の家族については、「いずれもない」が 39.3%、「65 歳以上の人」が 31.3%、「中学生・高校生」が 10.6%、「乳児を除く小学校入学前の幼児」が 6.4%、「小学生」が 6.1%、「介護を必要とする人」が 5.5%、「障害のある人」が 2.9%、「乳児（1 歳未満の幼児）」が 2.0%、「妊娠している女性」が 1.4%となっています。

年齢別でみると、小学生以下の子どもがいる世帯は 30 歳代で 50.6%、40 歳代で 35.9%となっています。「介護を必要とする人」は年齢が高くなるにつれ割合は多くなりますが、いずれも 1 割未満となっています。

問8 n=1,253



**■年齢別**

	n	(%)									
		の乳 幼児 (1 歳 未 満)	校乳 入 学 を 前 除 の 幼 小 学	小 学 生	中 学 生 ・ 高 校 生	性妊 娠 し て い る 女	6 5 歳 以 上 の 人	る介 護 を 必 要 と す る 人	障 害 の あ る 人	い ず れ も い な い	無 回 答
19歳・20歳代	121	3.3	3.3	0.8	12.4	3.3	15.7	3.3	-	58.7	2.5
30歳代	146	8.2	30.1	12.3	3.4	8.2	16.4	1.4	1.4	33.6	2.7
40歳代	187	3.2	11.8	20.9	29.9	0.5	17.1	2.7	2.1	31.6	0.5
50歳代	202	1.0	1.0	3.5	19.3	-	15.8	5.9	3.0	58.9	2.5
60歳代	234	0.4	2.1	1.7	1.7	0.4	49.1	7.3	3.0	44.0	1.7
70歳以上	296	-	0.3	1.7	4.1	-	56.8	9.5	5.4	28.7	8.1

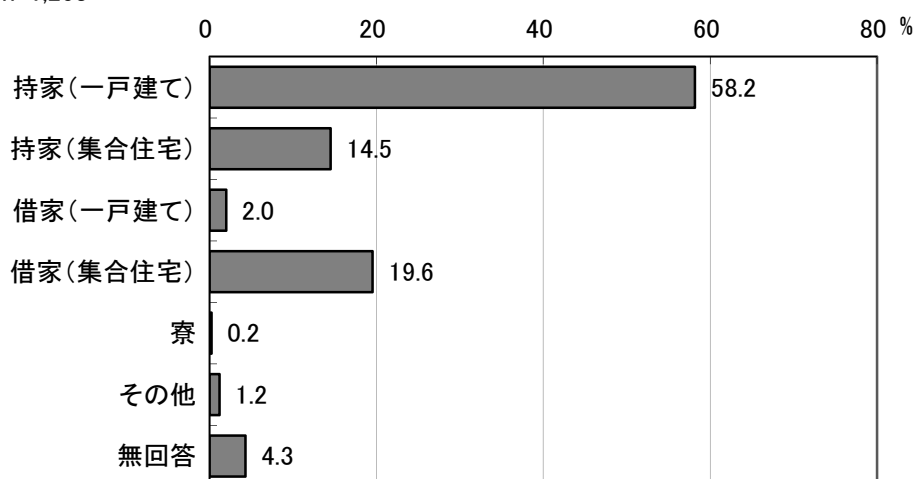
**問9 あなたが暮らしている住宅の形態は次のどれにあたりますか。**  
**(あてはまるもの1つに○)**

回答者の住宅形態は、「持家（一戸建て）」が 58.2%で最も多く、次いで「借家（集合住宅）」が 19.6%、「持家（集合住宅）」が 14.5%、「借家（一戸建て）」が 2.0%、「その他」が 1.2%、「寮」が 0.2%となっています。

年齢別でみると、40歳代以上は「持家（一戸建て）」の割合は半数以上で最も多くなっていますが、30歳代では「借家（集合住宅）」が 44.5%で最も多くなっています。

地区別では、「泉町」や「本町」、「南町」といった JR 中央線駅周辺の地区で【集合住宅】の割合が多くなっています。

問9 n=1,253



■年齢別/居住地区別

		n	(持家 一戸建て)	(持家 集合住宅)	(借家 一戸建て)	(借家 集合住宅)	寮	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	39.7	13.2	4.1	38.8	1.7	1.7	0.8
	30歳代	146	37.7	11.6	2.7	44.5	0.7	2.7	-
	40歳代	187	52.4	19.3	3.2	24.1	-	1.1	-
	50歳代	202	60.9	17.8	2.5	18.3	-	0.5	-
	60歳代	234	70.1	16.2	1.7	11.5	-	0.4	-
	70歳以上	296	78.0	12.5	-	7.8	-	1.7	-
	居住地区	東元町	109	74.3	4.6	1.8	19.3	-	-
西元町		40	52.5	32.5	2.5	12.5	-	-	-
南町		56	30.4	35.7	1.8	30.4	1.8	-	-
泉町		108	12.0	36.1	1.9	46.3	1.9	1.9	-
本町		46	30.4	30.4	4.3	32.6	-	2.2	-
本多		93	63.4	12.9	-	22.6	-	1.1	-
東恋ヶ窪		111	46.8	33.3	0.9	18.0	-	0.9	-
西恋ヶ窪		54	75.9	1.9	7.4	13.0	-	1.9	-
東戸倉		34	88.2	5.9	2.9	2.9	-	-	-
戸倉		90	78.9	1.1	2.2	15.6	-	2.2	-
日吉町		65	70.8	9.2	3.1	15.4	-	1.5	-
内藤		44	61.4	11.4	4.5	18.2	-	2.3	2.3
富士本		57	84.2	3.5	-	12.3	-	-	-
新町		38	89.5	-	5.3	2.6	-	2.6	-
並木町		23	82.6	-	4.3	13.0	-	-	-
北町		39	76.9	5.1	-	17.9	-	-	-
光町		64	60.9	4.7	1.6	29.7	-	3.1	-
高木町	18	83.3	5.6	-	11.1	-	-	-	
西町	104	63.5	17.3	1.0	16.3	-	1.9	-	

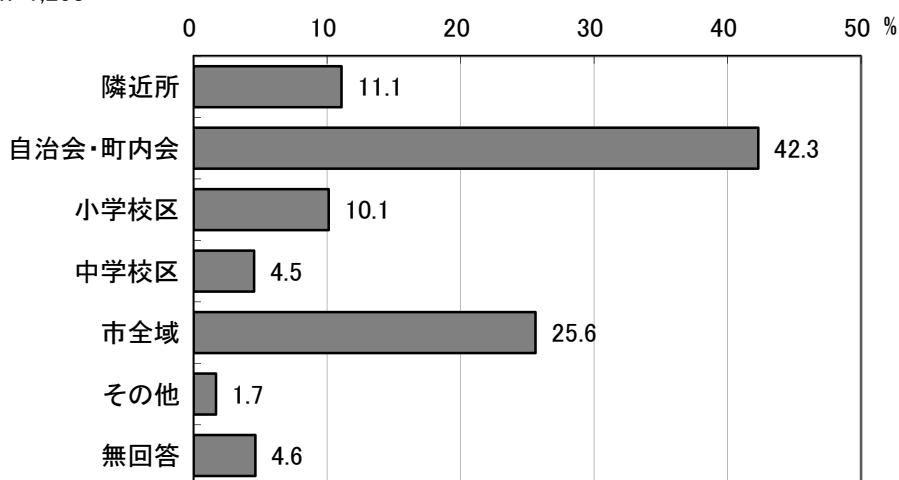
## 2 地域のことについて

### 問10 あなたが考える「地域」とは、どの程度の範囲をイメージしますか。 (あてはまるもの1つに○)

「地域」としてイメージする範囲は、「自治会・町内会」が42.3%で最も多く、次いで「市全域」が25.6%、「隣近所」が11.1%、「小学校区」が10.1%などとなっています。

年齢別でみると、19歳・20歳代では「市全域」が最も多くなっていますが、30歳代以上では「自治会・町内会」が最も多くなっています。また、「小学校区」は30歳代で19.9%となっているものの年齢が上がるごとに割合は低下する反面、「隣近所」は60歳以上で1割以上の割合があり、年齢により地域のイメージが異なることがうかがえます。

問10 n=1,253



#### ■年齢別

	n	隣近所	自治会・町内会	小学校区	中学校区	市全域	その他	無回答
19歳・20歳代	121	7.4	34.7	9.9	8.3	38.0	0.8	0.8
30歳代	146	9.6	41.8	19.9	4.8	22.6	1.4	-
40歳代	187	8.0	37.4	16.6	8.0	29.4	0.5	-
50歳代	202	5.4	47.5	13.4	4.0	26.2	3.5	-
60歳代	234	12.8	47.0	6.0	4.7	27.8	1.7	-
70歳以上	296	19.3	49.0	4.4	1.7	22.6	1.7	1.4



**問 11 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。**  
**(あてはまるもの1つに○)**

自治会等への加入については、「現在加入している」が56.3%と半数を超え、「加入したことはない」が22.2%、「以前は加入していたが、今は加入していない」が8.5%となっています。なお、「そのような組織があることを知らない」は8.0%となっています。

年齢別でみると、30歳代以下では「加入したことはない」が4割以上で最も多く、また、「そのような組織があることを知らない」が約2割となっています。

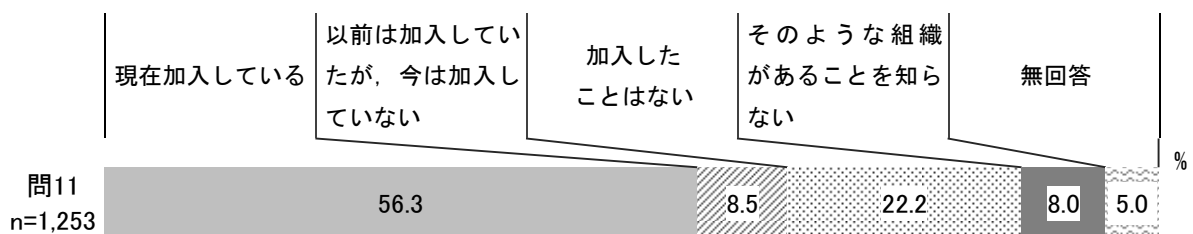
住宅形態別でみると、持家（一戸建て）では「現在加入している」が76.5%で最も多いものの、借家や集合住宅ではその割合は少なくなり、特に、借家（集合住宅）では「加入したことはない」が54.3%で半数を上回っています。

地区別でみると、「並木町」と「北町」では「現在加入している」の割合が2割台で少なく、「以前は加入していたが、今は加入していない」が約3割で最も多くなっています。

居住歴による差異はあまりみられません。

家族構成別でみると、「ひとり暮らし世帯」で「加入したことはない」が4割で最も多くなっています。

近所付き合いの程度（問12）別では、近所付き合いが薄いと思われる項目ほど「現在加入している」の割合は少なくなる一方、「加入したことはない」や「そのような組織があることを知らない」の割合が多くなっています。



■年齢別/住宅形態別/居住地区別/居住歴別/家族構成別/近所付き合い別

(%)

		n	い現在加入して	なはて以前は加入したが、入い今し	は加ないしたこと	を織その知らないようなこと組	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	28.9	6.6	43.8	20.7	-
	30歳代	146	33.6	2.7	42.5	21.2	-
	40歳代	187	53.5	7.0	29.9	9.6	-
	50歳代	202	59.9	9.4	23.3	6.4	1.0
	60歳代	234	74.4	10.3	12.4	2.6	0.4
	70歳以上	296	74.0	11.8	9.8	2.0	2.4
住宅形態	持家（一戸建て）	729	76.5	9.1	10.7	3.2	0.5
	持家（集合住宅）	182	44.0	8.8	30.2	14.8	2.2
	借家（一戸建て）	25	48.0	12.0	24.0	16.0	-
	借家（集合住宅）	245	19.2	8.2	54.3	18.0	0.4
	寮	3	33.3	-	33.3	33.3	-
	その他	15	46.7	13.3	26.7	6.7	6.7
居住地区	東元町	109	67.0	5.5	21.1	6.4	-
	西元町	40	60.0	5.0	25.0	7.5	2.5
	南町	56	51.8	1.8	35.7	10.7	-
	泉町	108	46.3	10.2	25.9	16.7	0.9
	本町	46	60.9	-	32.6	6.5	-
	本多	93	75.3	4.3	16.1	4.3	-
	東恋ヶ窪	111	49.5	16.2	21.6	11.7	0.9
	西恋ヶ窪	54	59.3	13.0	22.2	3.7	1.9
	東戸倉	34	82.4	-	14.7	2.9	-
	戸倉	90	62.2	7.8	22.2	6.7	1.1
	日吉町	65	47.7	7.7	40.0	3.1	1.5
	内藤	44	61.4	6.8	18.2	13.6	-
	富士本	57	54.4	17.5	21.1	7.0	-
	新町	38	76.3	5.3	18.4	-	-
	並木町	23	26.1	30.4	30.4	8.7	4.3
	北町	39	20.5	30.8	25.6	23.1	-
	光町	64	60.9	7.8	20.3	9.4	1.6
	高木町	18	83.3	-	16.7	-	-
西町	104	65.4	6.7	19.2	6.7	1.9	
居住歴	国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる	80	65.0	11.3	18.8	5.0	-
	国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた	53	67.9	5.7	18.9	7.5	-
	東京都内の他の市区町村の生まれである	399	63.4	9.5	21.3	5.0	0.8
	東京都外の生まれである	643	54.7	8.2	25.7	10.3	1.1
	その他	24	50.0	16.7	12.5	20.8	-
家族構成	ひとり暮らし世帯	172	39.0	7.6	40.1	12.8	0.6
	夫婦のみ世帯	336	58.9	10.4	22.3	7.1	1.2
	二世帯世帯（自分と親）	136	55.9	9.6	25.0	8.8	0.7
	二世帯世帯（自分と子）	440	64.3	7.7	18.4	8.6	0.9
	三世帯世帯（自分の子と孫）	32	81.3	9.4	9.4	-	-
	三世帯世帯（自分の親と子）	31	80.6	9.7	9.7	-	-
	三世帯世帯（自分の親とその親）	13	30.8	15.4	38.5	15.4	-
	その他の世帯	36	63.9	11.1	22.2	2.8	-
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	81.1	7.9	9.4	1.6	-
	気の合った人とは仲良くしている	213	79.3	8.9	8.0	2.8	0.9
	たまに立ち話をする程度	283	71.7	8.1	14.1	4.9	1.1
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	45.1	9.6	35.2	9.0	1.0
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	11.9	8.3	44.0	35.7	-
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	16.7	8.3	33.3	41.7	-

## 問 12 近所との付き合いはどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

近所との付き合いの程度は、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が38.1%で4割弱を占め、「たまに立ち話をする程度」が22.6%、「気の合った人とは仲良くしている」が17.0%となっています。なお、「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」は6.7%となっています。

性別でみると、男女ともに「顔を合わせたら挨拶をする程度」が最も多くなっていますが、「日頃から助け合っている」から「たまに立ち話をする程度」といった割合は男性に比べて女性でやや多くなっており、女性の方が近所付き合いが多いことがうかがえます。

年齢別では、60歳代以下は「顔を合わせたら挨拶をする程度」が最も多くなっているものの、同項目は年齢が上がるごとに割合は少なくなり、一方で「日ごろから助け合っている」から「たまに立ち話をする程度」の項目は年齢が上がるほど割合も多くなる傾向がみられ、近所付き合いと年齢に関連があることがうかがえます。

住宅形態別では、「顔を合わせたら挨拶をする程度」の割合が持家(一戸建て)の32.4%に比べ、借家(集合住宅)では53.9%で半数以上の割合となっています。また、「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」が20.4%とほかの比べて多くなっています。

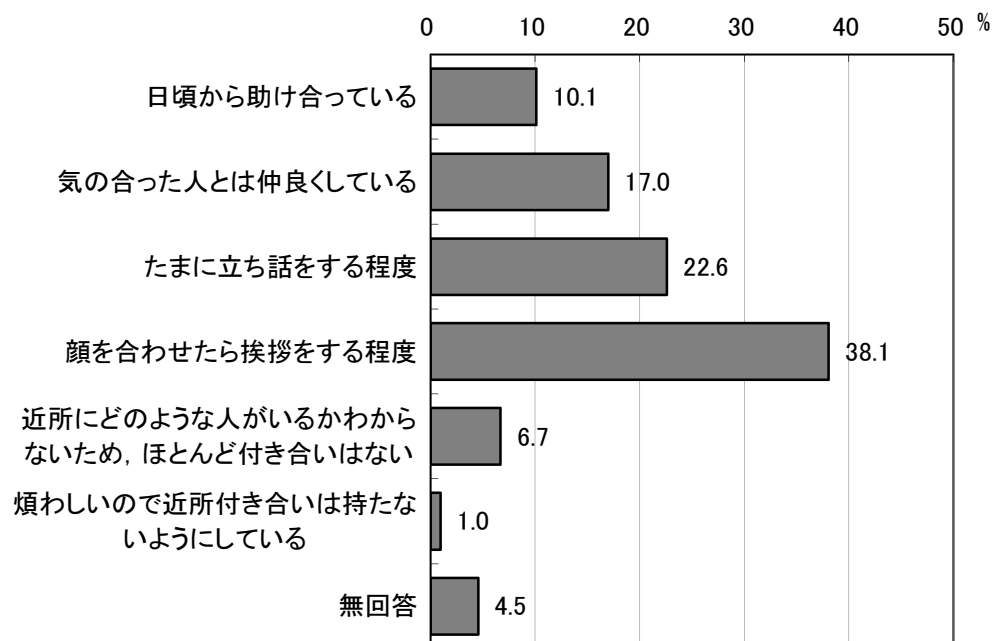
居住地区別では、「南町」、「泉町」、「本町」では「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」の割合が1割以上でほかの地区に比べて多くなっています。

居住歴別による差異はあまりみられません。

家族構成別では、「ひとり暮らし世帯」において「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」の割合が1割以上となっています。

近所付き合いの必要性(問13)ごとでは、近所付き合いを必要と感じている方ほど、「日ごろから助け合っている」から「たまに立ち話をする程度」の割合が多くなっており、必要性を強く感じている方は実践に移していることがうかがえます。

問12 n=1,253



■性別/年齢別/住宅形態別/居住地区別/居住歴別/家族構成別/近所付き合いの必要性別

(%)

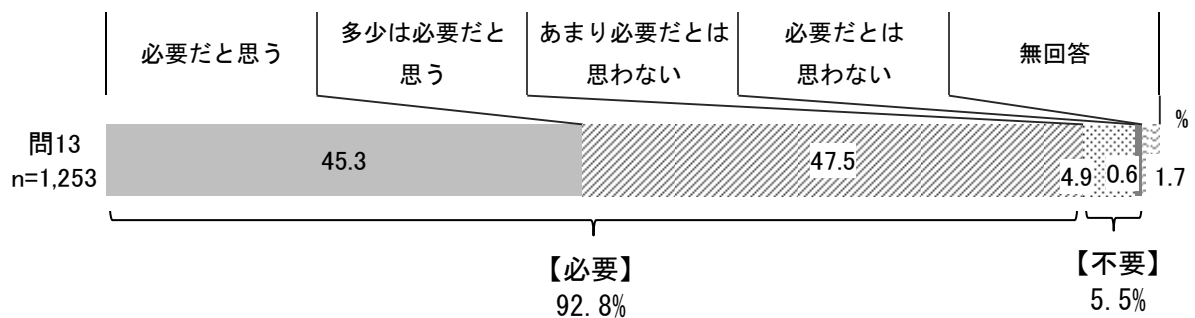
		n	て日頃から助け合っ	仲気の合った人は	るたまに立ち話をす	顔を合わせる程度	どないにどのよう	い付煩うしいので近	無回答
性別	男性	452	6.9	16.8	19.2	48.9	6.9	0.9	0.4
	女性	746	12.9	18.4	26.1	34.2	7.1	1.1	0.3
年齢	19歳・20歳代	121	1.7	5.0	9.1	61.2	21.5	1.7	-
	30歳代	146	9.6	13.0	14.4	50.0	11.0	2.1	-
	40歳代	187	3.7	11.2	26.7	45.5	11.2	1.6	-
	50歳代	202	6.4	19.3	25.7	43.6	4.5	0.5	-
	60歳代	234	11.1	20.5	30.3	33.3	3.4	0.4	0.9
	70歳以上	296	21.3	26.4	25.0	24.7	1.4	0.7	0.7
住宅形態	持家（一戸建て）	729	14.4	22.6	28.1	32.4	1.6	0.3	0.5
	持家（集合住宅）	182	3.8	14.3	22.5	48.4	9.3	1.6	-
	借家（一戸建て）	25	8.0	4.0	16.0	64.0	4.0	4	-
	借家（集合住宅）	245	4.9	6.9	11.4	53.9	20.4	2.4	-
	寮	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-
	その他	15	6.7	26.7	33.3	26.7	6.7	-	-
居住地区	東元町	109	12.8	18.3	26.6	33.9	8.3	-	-
	西元町	40	5.0	10.0	22.5	55.0	5.0	2.5	-
	南町	56	5.4	14.3	25.0	41.1	12.5	1.8	-
	泉町	108	6.5	14.8	17.6	45.4	14.8	0.9	-
	本町	46	8.7	13.0	13.0	47.8	17.4	-	-
	本多	93	14.0	17.2	25.8	34.4	8.6	-	-
	東恋ヶ窪	111	6.3	17.1	26.1	41.4	9.0	-	-
	西恋ヶ窪	54	5.6	16.7	24.1	51.9	1.9	-	-
	東戸倉	34	8.8	35.3	23.5	32.4	-	-	-
	戸倉	90	15.6	17.8	15.6	43.3	2.2	3.3	2.2
	日吉町	65	9.2	27.7	18.5	38.5	6.2	-	-
	内藤	44	2.3	18.2	29.5	43.2	6.8	-	-
	富士本	57	10.5	21.1	26.3	29.8	7.0	3.5	1.8
	新町	38	10.5	21.1	31.6	34.2	2.6	-	-
	並木町	23	26.1	17.4	17.4	34.8	4.3	-	-
	北町	39	20.5	17.9	33.3	23.1	5.1	-	-
	光町	64	14.1	17.2	20.3	40.6	4.7	3.1	-
高木町	18	5.6	22.2	44.4	27.8	-	-	-	
西町	104	15.4	14.4	22.1	42.3	2.9	1.9	1.0	
居住歴	国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる	80	15.0	25.0	15.0	43.8	1.3	-	-
	国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた	53	15.1	11.3	26.4	43.4	1.9	1.9	-
	東京都内の他の市区町村の生まれである	399	11.3	19.0	27.1	36.3	5.3	0.5	0.5
	東京都外の生まれである	643	8.9	16.5	22.7	41.1	9.2	1.4	0.3
	その他	24	20.8	20.8	12.5	37.5	8.3	-	-
家族構成	ひとり暮らし世帯	172	12.8	11.0	16.9	38.4	17.4	3.5	-
	夫婦のみ世帯	336	8.9	19.3	21.4	41.1	7.7	0.9	0.6
	二世帯世帯（自分と親）	136	5.9	10.3	14.0	61.0	7.4	1.5	-
	二世帯世帯（自分と子）	440	10.9	21.1	30.2	33.6	3.6	0.2	0.2
	三世帯世帯（自分の子と孫）	32	37.5	18.8	25.0	15.6	-	-	3.1
	三世帯世帯（自分の親と子）	31	12.9	19.4	38.7	25.8	3.2	-	-
	三世帯世帯（自分の親とその親）	13	7.7	7.7	-	84.6	-	-	-
	その他の世帯	36	5.6	25.0	22.2	44.4	2.8	-	-
近所付き合い	必要だと思う	567	19.8	25.0	25.2	22.4	2.8	0.2	4.6
	多少は必要だと思う	595	1.8	10.8	22.0	50.4	9.4	0.7	4.9
	あまり必要だとは思わない	62	1.6	3.2	6.5	64.5	17.7	6.5	-
	必要だとは思わない	8	-	-	12.5	37.5	12.5	37.5	-

**問 13 あなたは、ご近所の方との付き合いは必要だと思いますか。**

**(あてはまるもの1つに○)**

近所付き合いの必要性は、「多少は必要だと思う」が47.5%で最も多く、これに「必要だと思う」の45.3%をあわせた【必要】は92.8%となっています。一方、「あまり必要だとは思わない」の4.9%と「必要だとは思わない」の0.6%をあわせた【不要】は5.5%にとどまります。

必要性の程度の違いこそあれ、いずれの年齢、居住形態、近所付き合いの方も【必要】と回答しています。19歳・20歳代と借家（集合住宅）で「あまり必要だとは思わない」が約1割となっています。



**■年齢別/住宅形態別/近所付き合い別**

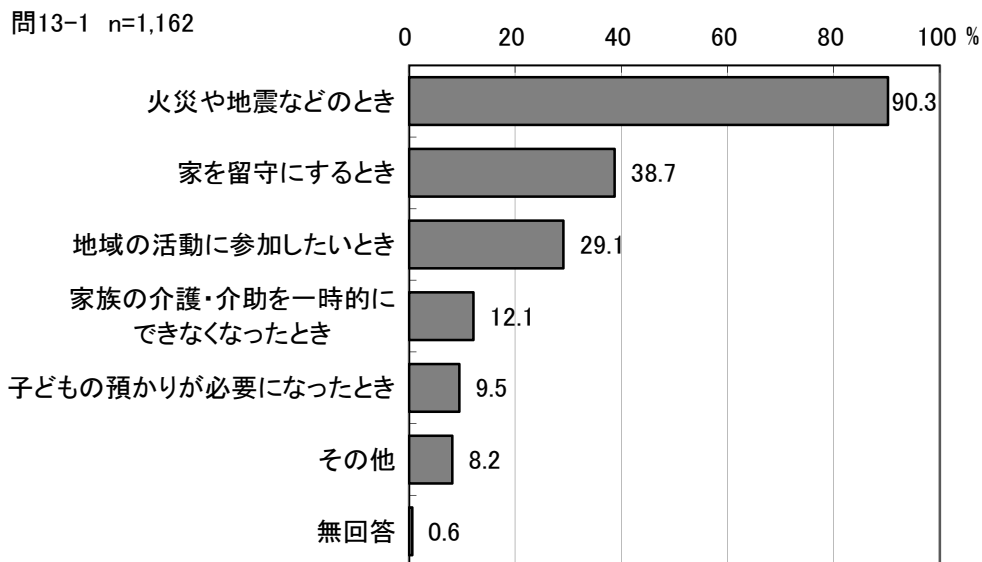
		n	必要 だと思 う	多 少は必 要 だと思 う	あ ま り必 要 だと思 わ ない	必 要 だと思 わ ない	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	30.6	58.7	9.1	1.7	-
	30歳代	146	36.3	51.4	8.9	1.4	2.1
	40歳代	187	37.4	56.1	4.3	1.1	1.1
	50歳代	202	41.1	53.0	4.0	-	2.0
	60歳代	234	50.9	44.4	3.4	-	1.3
	70歳以上	296	59.8	33.4	4.1	0.3	2.4
住 宅 形 態	持家（一戸建て）	729	53.9	40.2	3.7	0.5	1.6
	持家（集合住宅）	182	39.0	54.4	3.3	0.5	2.7
	借家（一戸建て）	25	36.0	56.0	4.0	-	4.0
	借家（集合住宅）	245	26.5	60.8	11.0	1.2	0.4
	寮	3	-	100.0	-	-	-
	その他	15	33.3	60.0	6.7	-	-
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	88.2	8.7	0.8	-	2.4
	気の合った人とは仲良くしている	213	66.7	30.0	0.9	-	2.3
	たまに立ち話をする程度	283	50.5	46.3	1.4	0.4	1.4
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	26.6	62.9	8.4	0.6	1.5
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	19.0	66.7	13.1	1.2	-
	煩わしいので近所付き合いは持たないようになっている	12	8.3	33.3	33.3	25.0	-

**問 13-1 問 13 で「1 必要だと思う」、「2 多少は必要だと思う」と回答した方におうかがいします。どのような時にご近所とお付き合いが必要だと感じますか。  
(あてはまるものすべてに○)**

近所付き合いが必要だと感じる時は、「火災や地震などのとき」が 90.3%で最も多く、次いで「家を留守にするとき」が 38.7%、「地域の活動に参加したいとき」が 29.1%などとなっています。

年齢別でみると、40 歳以下の年齢では「子どもの預かりが必要になったとき」と「地域の活動に参加したいとき」で回答がほかの年齢よりも多くなっています。

同居者別では、小学生以下の子どもがいるところでは、「子どもの預かりが必要になったとき」が 3 割以上となっています。また、介護を必要とする人がいるところでは、「家族の介護・介助を一時的にできなくなったとき」も 3 割以上となっています。そのほか、高校生以下の児童生徒、高齢者、要介護者、障害のある人がいるところでは、「家を留守にするとき」に 4 割台から 5 割台の回答があります。



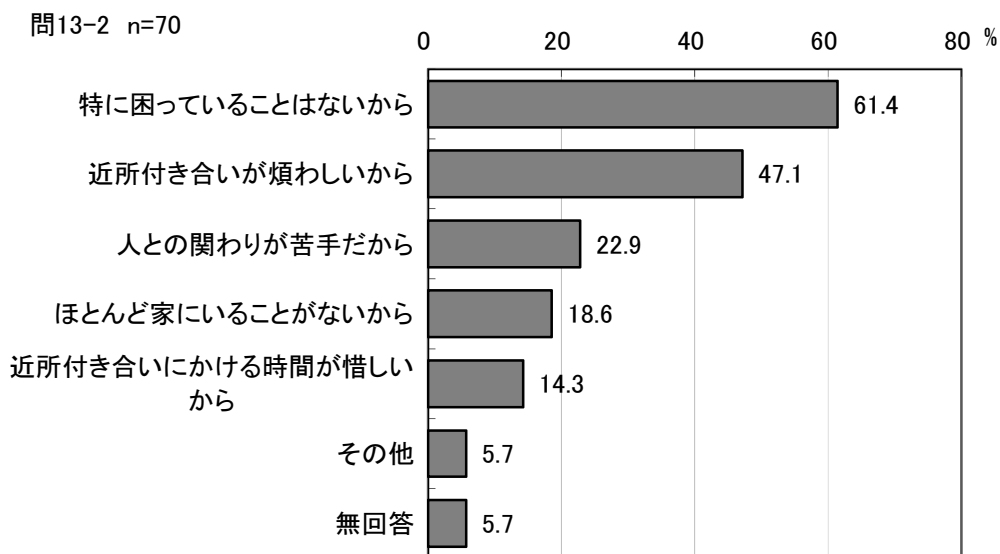
■年齢別/同居者別

(%)

		n	とき火災や地震などの	き家を留守にすると	し地域の活動に参加	くを家族的介護・介助	必要になったり	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	108	88.9	23.1	39.8	13.0	13.0	8.3	0.9
	30歳代	128	92.2	43.0	35.9	12.5	27.3	12.5	-
	40歳代	175	93.7	38.3	32.0	9.1	14.9	7.4	-
	50歳代	190	91.6	37.4	26.3	10.5	7.9	5.3	-
	60歳代	223	94.2	37.2	26.9	11.2	3.6	9.4	0.4
	70歳以上	276	84.1	45.3	23.9	14.9	2.5	6.9	1.1
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	22	95.5	50.0	40.9	9.1	31.8	4.5	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	77	92.2	44.2	35.1	5.2	31.2	14.3	-
	小学生	74	94.6	48.6	31.1	10.8	37.8	4.1	-
	中学生・高校生	128	89.8	41.4	26.6	10.2	15.6	7.8	-
	妊娠している女性	15	86.7	20.0	53.3	13.3	20.0	-	-
	65歳以上の人	365	90.1	45.2	24.9	15.6	4.9	6.3	0.8
	介護を必要とする人	64	89.1	42.2	21.9	32.8	4.7	7.8	1.6
	障害のある人	31	90.3	54.8	25.8	9.7	9.7	6.5	-
いずれもない	451	92.0	32.2	30.4	9.8	5.8	8.9	0.2	

問13-2 問13で「3 あまり必要だとは思わない」、「4 必要だとは思わない」と回答した方におうかがいします。近所付き合いが必要ないと思われるのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

近所付き合いが不要な理由は、「特に困っていることはないから」が61.4%で最も多く、次いで「近所付き合いが煩わしいから」が47.1%、「人との関わりが苦手だから」が22.9%、「ほとんど家にいることがないから」が18.6%などとなっています。



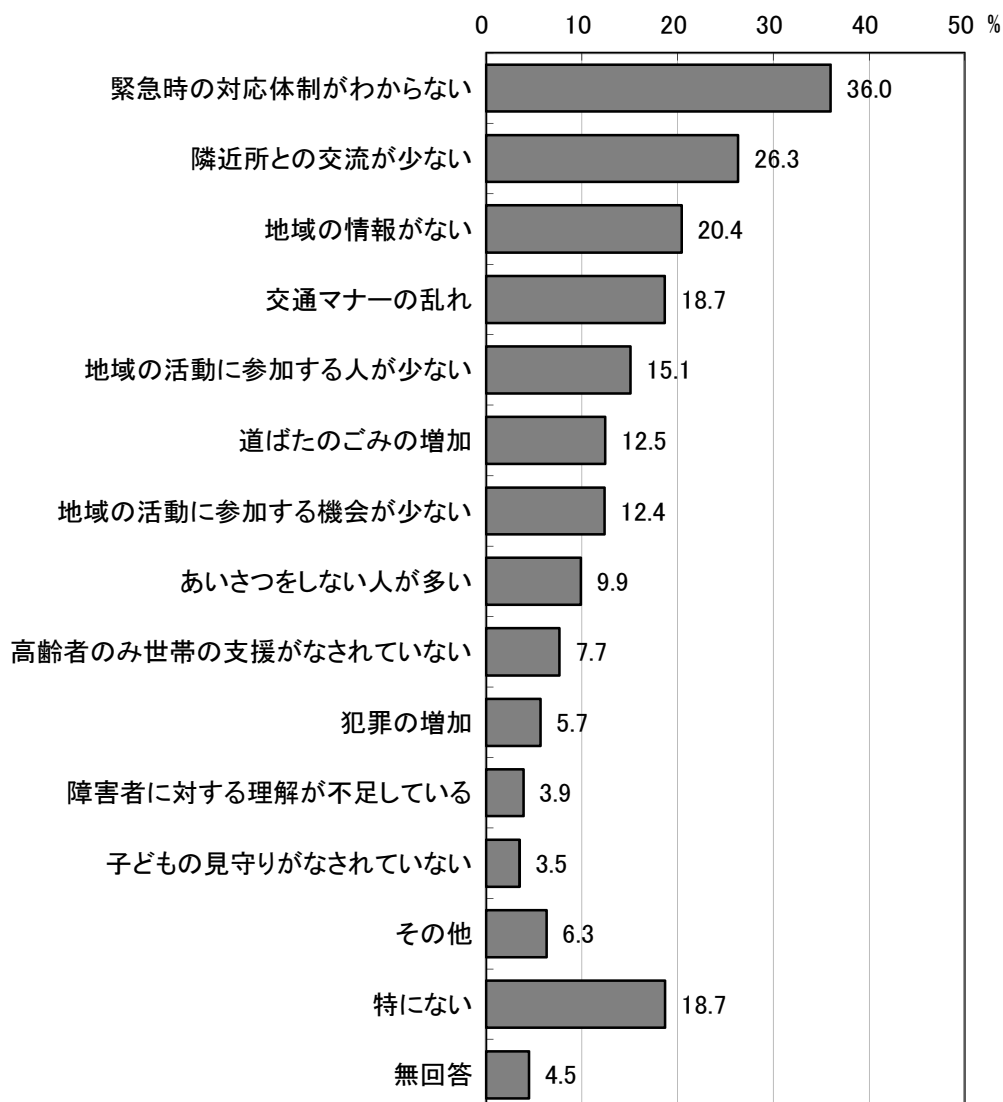
**問 14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われるか。  
(あてはまるものすべてに○)**

地域での問題点は、「緊急時の対応体制がわからない」が 36.0%で最も多く、次いで「隣近所との交流が少ない」が 26.3%、「地域の情報が無い」が 20.4%、「交通マナーの乱れ」が 18.7%などとなっています。なお、「特になし」は 18.7%となっています。

年齢別による差異はあまりみられません。居住地区別でも、「緊急時の対応体制がわからない」がどの地区でも多い傾向にあります。また、「高木町」では「緊急時の対応体制がわからない」が1割半ばでほかの地区よりも少なくなっています。

近所付き合い別では、「日頃から助け合っている」と「気の合った人とは仲良くしている」では「地域の活動に参加する人が少ない」が2割強となっています。また、「緊急時の対応体制がわからない」は近所付き合いの程度が低いと思われる方ほど割合が多い傾向がみられます。

問14 n=1,253





■年齢別/居住地区別/近所付き合い別

(%)

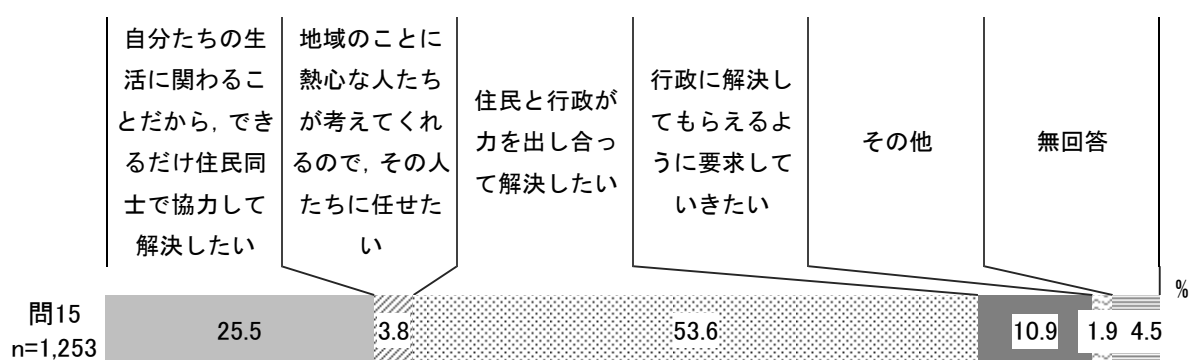
		n	あいさつをしない人が多い	緊急時の対応体制がわからない	犯罪の増加	交通マナーの乱れ	道ばたのごみの増加	子どもの見守りがなされて	高齢者のみ世帯の支援がな	隣近所との交流が少ない	少ない	地域の活動に参加する機会が	地域の情報が	障害者に対する理解が不足	その他	特にな	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	9.1	38.8	2.5	19.0	14.0	3.3	8.3	28.1	9.9	16.5	20.7	3.3	9.1	20.7	5.8
	30歳代	146	13.0	42.5	6.2	22.6	17.1	4.8	6.8	24.7	10.3	13.0	21.9	2.7	8.2	17.8	2.7
	40歳代	187	6.4	36.9	9.1	23.0	13.9	8.0	7.5	24.6	10.7	11.8	20.9	2.1	10.2	23.0	1.6
	50歳代	202	5.9	40.6	7.4	16.3	12.9	5.0	6.9	23.8	12.9	12.9	24.3	5.4	3.5	15.3	3.0
	60歳代	234	10.3	38.5	5.6	18.4	15.8	2.1	5.6	31.6	19.7	13.7	23.5	4.3	5.1	18.4	3.0
	70歳以上	296	12.8	25.3	3.4	11.8	5.4	0.7	9.5	26.4	21.6	10.1	14.2	3.7	3.7	20.6	8.1
	居住地区	東元町	109	11.9	42.2	5.5	18.3	15.6	2.8	6.4	30.3	11.9	13.8	22.9	4.6	4.6	17.4
西元町		40	7.5	45.0	5.0	20.0	10.0	2.5	10.0	25.0	15.0	20.0	32.5	-	5.0	17.5	2.5
南町		56	10.7	32.1	8.9	16.1	16.1	5.4	5.4	19.6	14.3	14.3	30.4	-	10.7	17.9	3.6
泉町		108	18.5	38.0	4.6	14.8	11.1	4.6	11.1	30.6	13.0	14.8	16.7	6.5	8.3	14.8	7.4
本町		46	10.9	39.1	8.7	26.1	13.0	-	2.2	30.4	21.7	15.2	17.4	2.2	6.5	13.0	6.5
本多		93	7.5	28.0	-	28.0	16.1	3.2	9.7	25.8	21.5	8.6	15.1	4.3	7.5	17.2	2.2
東恋ヶ窪		111	11.7	36.0	8.1	28.8	12.6	6.3	9.0	22.5	12.6	13.5	21.6	4.5	5.4	17.1	2.7
西恋ヶ窪		54	9.3	35.2	5.6	13.0	13.0	3.7	5.6	27.8	20.4	9.3	11.1	-	11.1	27.8	1.9
東戸倉		34	2.9	26.5	8.8	17.6	5.9	5.9	-	14.7	11.8	8.8	26.5	2.9	8.8	23.5	8.8
戸倉		90	7.8	37.8	4.4	13.3	16.7	6.7	10.0	28.9	13.3	12.2	17.8	4.4	7.8	18.9	6.7
日吉町		65	6.2	40.0	10.8	7.7	12.3	1.5	6.2	27.7	12.3	13.8	30.8	-	-	16.9	4.6
内藤		44	4.5	43.2	2.3	13.6	11.4	2.3	4.5	25.0	11.4	9.1	25.0	2.3	-	25.0	4.5
富士本		57	8.8	40.4	5.3	22.8	17.5	5.3	10.5	26.3	8.8	8.8	22.8	5.3	7.0	10.5	7.0
新町		38	15.8	26.3	7.9	23.7	7.9	2.6	13.2	23.7	18.4	10.5	13.2	5.3	-	28.9	-
並木町		23	4.3	21.7	4.3	17.4	21.7	4.3	4.3	13.0	4.3	17.4	8.7	4.3	8.7	30.4	8.7
北町		39	7.7	46.2	-	17.9	2.6	7.7	7.7	41.0	17.9	17.9	35.9	2.6	5.1	12.8	-
光町		64	7.8	34.4	4.7	10.9	10.9	1.6	9.4	31.3	20.3	9.4	14.1	4.7	7.8	23.4	6.3
高木町		18	11.1	16.7	-	16.7	5.6	-	-	22.2	27.8	5.6	11.1	-	16.7	22.2	5.6
西町		104	8.7	29.8	7.7	8.7	6.7	1.0	3.8	24.0	20.2	12.5	15.4	4.8	2.9	26.0	1.9
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	9.4	20.5	6.3	16.5	12.6	7.1	11.0	12.6	22.8	6.3	8.7	3.9	6.3	22.0	6.3
	気の合った人とは仲良くしている	213	13.1	32.9	9.4	17.4	12.7	3.8	8.5	21.6	23.0	11.7	16.9	5.2	6.6	18.3	5.6
	たまに立ち話をする程度	283	8.8	36.0	5.3	19.1	10.2	3.5	7.8	30.4	17.7	12.4	19.8	3.5	5.3	17.7	3.9
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	8.2	39.8	4.4	17.2	12.4	2.9	6.1	28.9	10.1	14.5	23.5	3.6	6.1	21.6	3.8
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	14.3	45.2	3.6	20.2	16.7	3.6	6.0	33.3	7.1	13.1	29.8	2.4	7.1	9.5	4.8
	煩わしいので近所付き合いは持たないようになっている	12	16.7	16.7	16.7	8.3	25.0	-	-	25.0	-	8.3	16.7	-	16.7	25.0	-

**問 15 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)**

日常生活の問題の解決方法としては、「住民と行政が力を出し合っ解決したい」が53.6%で半数を超え、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が25.5%、「行政に解決してもらえるように要求していきたい」が10.9%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい」が3.8%となっています。

年齢別でみると、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」は60歳代以上で割合が多くなっています。

近所付き合い別でみると、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」は近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど割合が多くなっています。



**■年齢別/近所付き合い別**

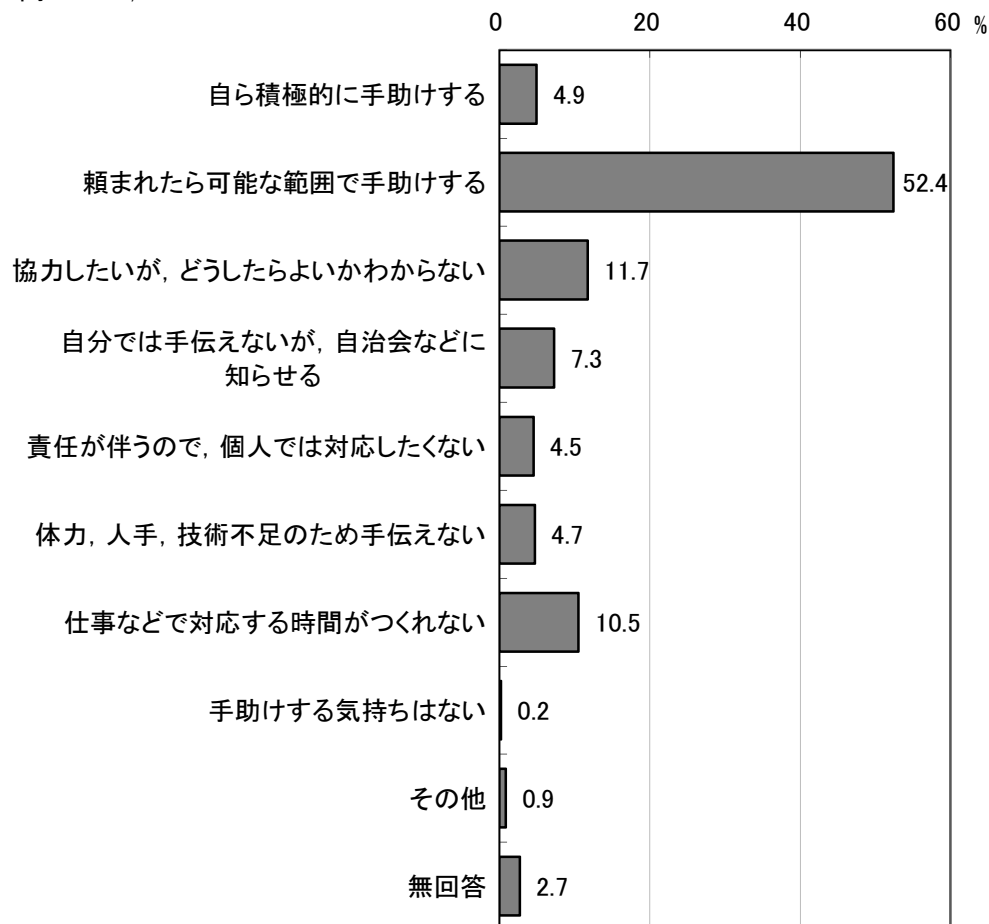
		n	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい	住民と行政が力を出し合っ解決したい	行政に解決してもらえるように要求していきたい	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	18.2	8.3	58.7	10.7	0.8	3.3
	30歳代	146	22.6	3.4	50.7	16.4	4.1	2.7
	40歳代	187	18.2	2.7	65.2	9.6	2.1	2.1
	50歳代	202	15.3	3.0	63.4	11.9	2.5	4.0
	60歳代	234	33.8	2.1	51.7	8.1	1.3	3.0
	70歳以上	296	35.5	5.4	41.2	9.8	1.0	7.1
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	40.9	0.8	44.9	7.1	-	6.3
	気の合った人とは仲良くしている	213	35.7	4.2	49.3	6.6	0.9	3.3
	たまに立ち話をする程度	283	25.1	2.8	55.5	10.2	1.8	4.6
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	19.7	4.4	57.0	13.2	1.7	4.0
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	11.9	8.3	53.6	13.1	8.3	4.8
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	8.3	8.3	33.3	50.0	-	-

**問 16 隣近所で、身の周りのこと、家事や外出などで困っている人がいる場合、あなたはどのような対応をとると思いますか。(もっともあてはまるもの1つに○)**

近所で困っている人への対応としては、「頼まれたら可能な範囲で手助けする」が52.4%で半数を超え、次いで「協力したいが、どうしたらよいかわからない」が11.7%、「仕事などで対応する時間がつくれない」が10.5%、「自分では手伝えないが、自治会などに知らせる」が7.3%となっています。

年齢別でみると、「協力したいが、どうしたらよいかわからない」は19歳・20歳代で2割と多くなっていますが、そのほかで年齢による差異はみられません。

問16 n=1,253



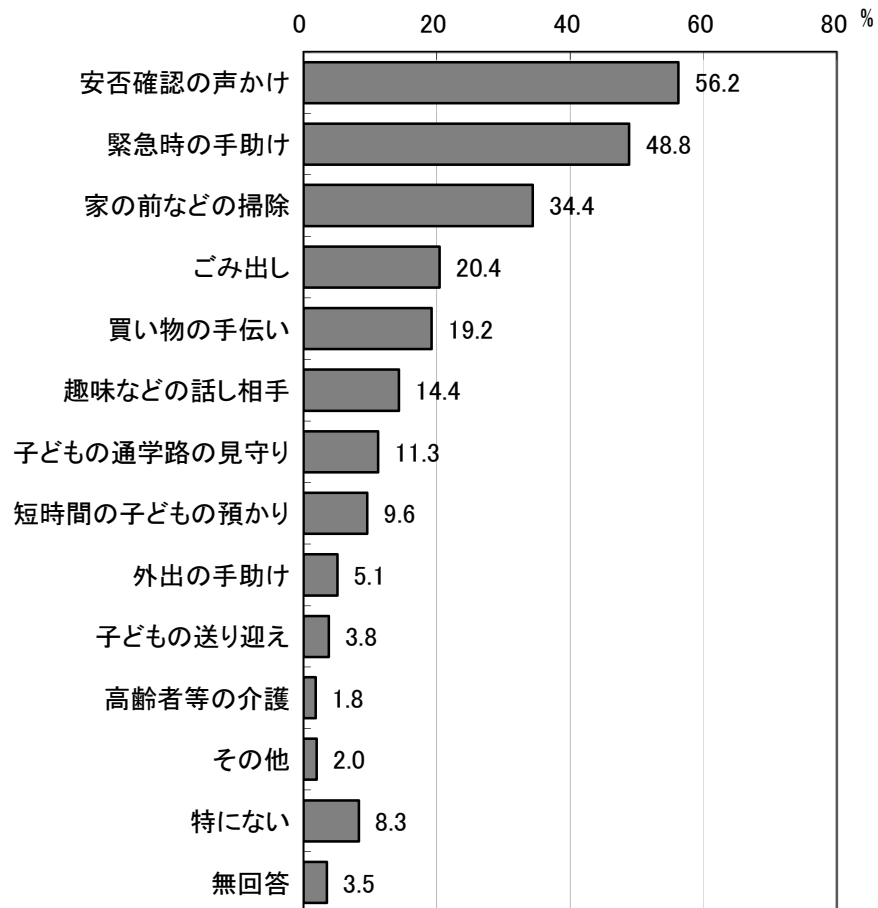
■年齢別

	n	自ら積極的に手	頼まれたら可能な範囲で手助け可能	協力したいが、どうしたらよいかわからない	自分では手伝えないが、自治会などに知らせる	責任が伴うので、個人では対応したくない	体力、人手、技術不足のため手伝えない	仕事などで対応する時間がつくれない	手助けする気持ちはない	その他	無回答
19歳・20歳代	121	2.5	51.2	20.7	3.3	4.1	1.7	14.0	-	-	2.5
30歳代	146	4.8	43.2	13.7	11.0	6.8	0.7	16.4	0.7	0.7	2.1
40歳代	187	2.7	50.3	15.5	7.0	6.4	1.1	14.4	1.1	1.1	0.5
50歳代	202	4.0	55.4	12.9	5.0	4.5	1.5	12.9	-	1.5	2.5
60歳代	234	3.0	60.7	12.0	6.8	4.7	2.1	8.5	-	0.4	1.7
70歳以上	296	9.5	53.0	3.7	9.5	1.7	14.2	2.4	-	0.7	5.4

**問 17 隣近所で、高齢者や障害者の介護・介助、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのようなことであれば手助けができますか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

近所で困っている家庭への手助けとしては、「安否確認の声かけ」が 56.2%で最も多く、次いで「緊急時の手助け」が 48.8%、「家の前などの掃除」が 34.4%、「ごみ出し」が 20.4%、「買い物の手伝い」が 19.2%となっています。

問17 n=1,253



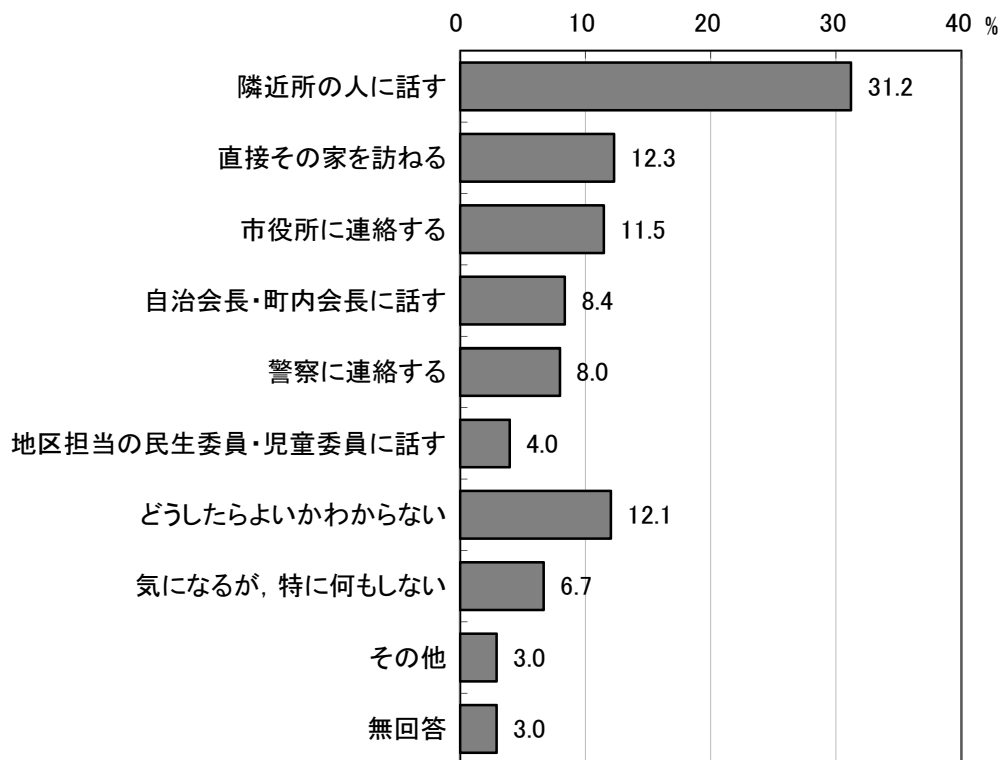
**問 18 隣近所で、高齢者のみで暮らしている世帯や障害者が住んでいる世帯について、いつもと違う雰囲気を感じた場合、または全然見かけなくなり気になった場合に、あなたは真っ先にどのような対応をとると思いますか。  
(もっともあてはまるもの1つに○)**

高齢者等の世帯の様子普段と異なる場合の対応については、「隣近所の人に話す」が31.2%で3割強を占め、次いで「直接その家を訪ねる」が12.3%、「市役所に連絡する」が11.5%などとなっています。なお、「どうしたらよいかわからない」は12.1%、「気になるが、特に何もしない」が6.7%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「隣近所」、「自治会長・町内会長」、「民生委員・児童委員」に話す割合が多くなります。また、若い年齢ほど「どうしたらよいかわからない」が多くなっています。

近所付き合い別では、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「直接その家を訪ねる」や「隣近所」、「自治会長・町内会長」、「民生委員・児童委員」に話す割合が多くなる傾向がみられます。

問18 n=1,253



■年齢別/近所付き合い別

(%)

		n	話 隣 す 近 所 の 人 に	訪 直 接 す る 家 を	市 役 所 に 連 絡 す	自 治 会 長 ・ 町 会 に 話 す	警 察 に 連 絡 す	生 活 委 員 ・ 地 区 担 当 の 民 生 委 員 に 話 す	い か わ か ら な い よ	い 特 に 何 も し な い	そ の 他	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	28.9	8.3	7.4	1.7	8.3	0.8	30.6	8.3	3.3	2.5
	30歳代	146	27.4	10.3	12.3	2.1	11.0	1.4	18.5	11.6	3.4	2.1
	40歳代	187	28.9	12.8	13.9	7.5	5.9	2.1	15.0	10.2	3.2	0.5
	50歳代	202	23.8	15.3	10.4	7.9	11.9	3.5	12.4	7.9	3.5	3.5
	60歳代	234	33.8	14.5	15.0	10.3	5.6	6.0	8.5	2.1	2.1	2.1
	70歳以上	296	36.8	11.1	8.4	13.2	7.8	6.1	3.7	4.4	3.0	5.4
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	44.1	23.6	3.9	11.0	3.9	7.9	0.8	0.8	0.8	3.1
	気の合った人とは仲良くしている	213	43.7	16.9	8.9	8.5	2.3	2.8	6.1	5.6	1.9	3.3
	たまに立ち話をする程度	283	43.5	13.8	9.2	9.2	6.7	3.5	7.1	2.5	2.1	2.5
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	18.7	8.0	15.1	8.2	11.9	4.2	18.9	8.6	3.8	2.7
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	8.3	2.4	15.5	2.4	11.9	1.2	29.8	17.9	7.1	3.6
	煩わしいので近所付き合いは持たないようになっている	12	-	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3	41.7	8.3	-

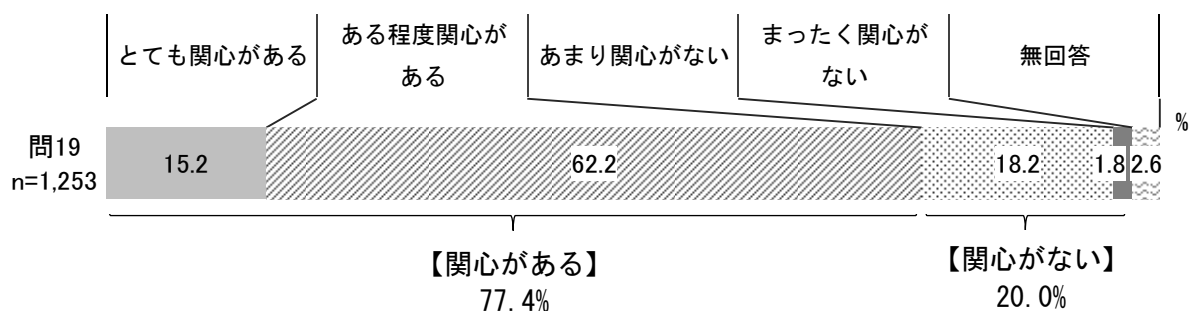
### 3 福祉のことについて

#### 問19 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉」への関心については、「ある程度関心がある」が62.2%で6割強を占め、これに「とても関心がある」の15.2%をあわせた【関心がある】が77.4%となっています。一方、「あまり関心がない」の18.2%と「まったく関心がない」の1.8%をあわせた【関心がない】は20.0%となっています。

年齢別で見ると、いずれの年齢も「ある程度関心がある」が最も多くなっていますが、若い年齢ほど【関心がない】の割合が多くなっています。

近所付き合い別で見ると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「とても関心がある」の割合が多い一方、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど【関心がない】の割合が多くなっており、福祉の関心と近所付き合いに関連があることがうかがえます。



#### ■年齢別/近所付き合い別

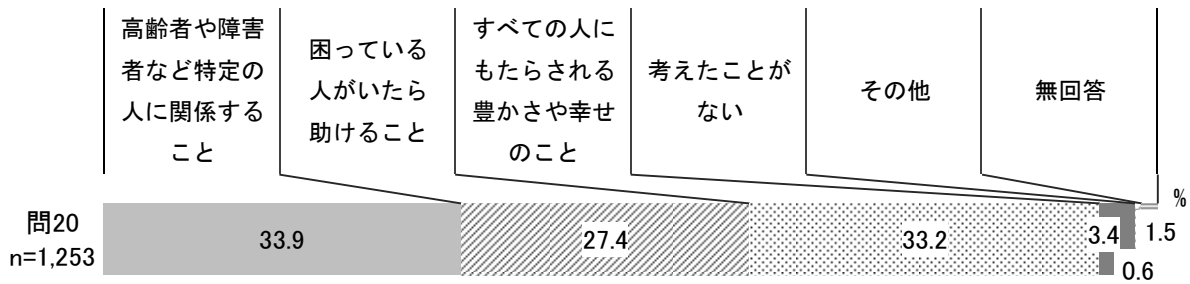
		n	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	9.9	53.7	31.4	4.1	0.8
	30歳代	146	6.2	61.0	28.8	3.4	0.7
	40歳代	187	8.6	63.1	24.6	2.7	1.1
	50歳代	202	13.4	66.8	17.8	1.5	0.5
	60歳代	234	17.5	65.4	14.5	0.4	2.1
	70歳以上	296	25.7	61.8	5.4	1.0	6.1
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	34.6	51.2	7.9	-	6.3
	気の合った人とは仲良くしている	213	15.5	69.5	13.1	0.5	1.4
	たまに立ち話をする程度	283	12.7	68.9	13.8	2.1	2.5
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	11.5	62.3	22.9	1.7	1.7
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	11.9	42.9	35.7	6.0	3.6
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	16.7	41.7	16.7	25.0	-

**問 20 あなたは、「福祉」という言葉にどのようなイメージをお持ちですか。**

**(あてはまるもの1つに○)**

「福祉」という言葉のイメージについては、「高齢者や障害者など特定の人に関係すること」が 33.9%、「すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと」が 33.2%、「困っている人がいたら助けること」が 27.4%と、これらが3割前後で上位を占めます。

福祉の関心別でみると、【関心がある】方では「すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと」が最も多くなっていますが、あまり関心がない方は「高齢者や障害者など特定の人に関係すること」が最も多くなっており、福祉の関心の度合いで福祉のイメージが異なることがうかがえます。



■ 「福祉」の関心別

	n	(%)					
		関な高 係ど齡 す特者 る定や この障 と人害 に者	とい困 たつ らて らて 助い ける人 る人 る人 が	さたす やらべ 幸さて せれの る人 こ豊に とかも	い考 え た こ と が な	そ の 他	無 回 答
とても関心がある	191	22.5	24.1	51.8	-	1.0	0.5
ある程度関心がある	779	32.1	30.8	34.1	1.7	0.5	0.8
あまり関心がない	228	51.3	21.9	17.5	8.3	0.9	-
まったく関心がない	23	30.4	17.4	8.7	43.5	-	-



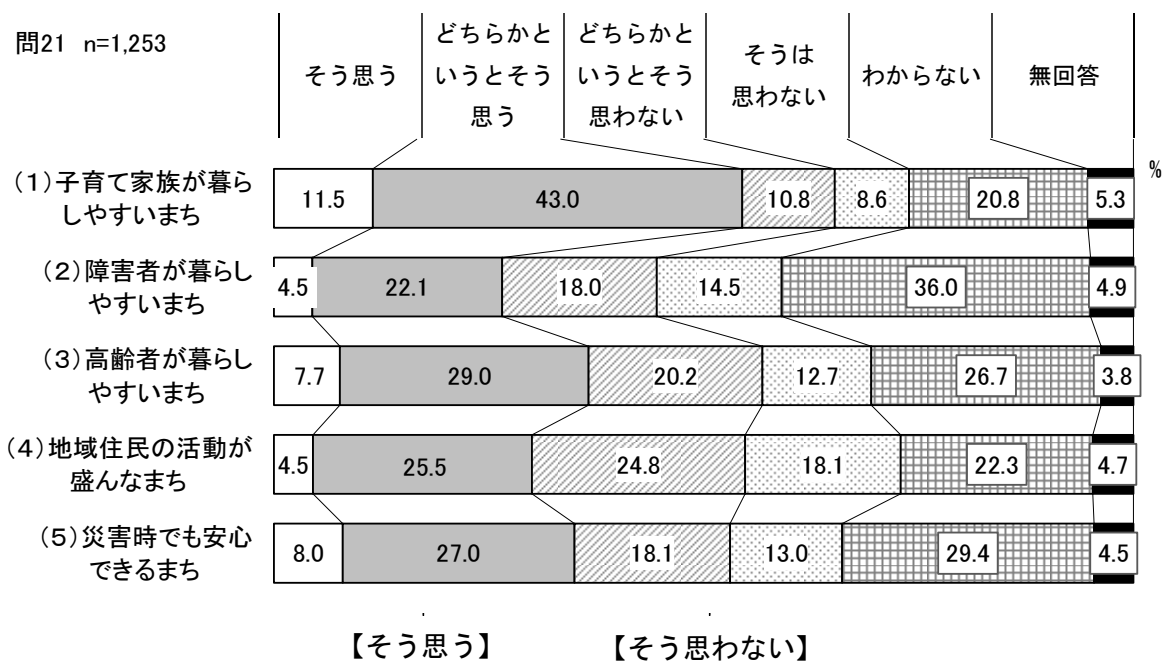
**問 21 国分寺市に対して、次にあげるまちの状況についてどのような印象をお持ちですか。  
 ((1)から(5)について、それぞれ1つに〇)**

市の印象に関して、5つの項目を設定し、それぞれについて「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」、「そうは思わない」、「わからない」でたずねました。

その結果をみると、「そう思う」、「どちらかというと思う」をあわせた【そう思う】は『(1)子育て家族が暮らしやすいまち』で54.5%と最も多く、次いで『(3)高齢者が暮らしやすいまち』が36.7%、『(5)災害時でも安心できるまち』が35.0%、『(4)地域住民の活動が盛んなまち』が30.0%、『(2)障害者が暮らしやすいまち』が26.6%となっています。

一方、「そうは思わない」、「どちらかというと思わない」をあわせた【そう思わない】は、『(4)地域住民の活動が盛んなまち』で42.9%と最も多く、次いで『(3)高齢者が暮らしやすいまち』が32.9%、『(2)障害者が暮らしやすいまち』が32.5%、『(5)災害時でも安心できるまち』が31.1%、『(1)子育て家族が暮らしやすいまち』で19.4%となっています。

なお、「わからない」という回答は『(2)障害者が暮らしやすいまち』で36.0%と最も多くなっています。



■年齢別/同居者別

(1) 子育て家族が暮らしやすいまち

年齢別でみると、いずれの年齢でも「どちらかというと思う」が最も多くなっていますが、「そうは思わない」、「どちらかというと思わない」をあわせた【そう思わない】の割合は30歳代と40歳代で2割を超え、50歳代では3割となっています。

同居者別でみると、乳児、乳児を除く小学校入学前の幼児、小学生のいる方では【そう思わない】が3割を超えています。

		n	そう 思う	思 い ど ち ら か と そ う と	思 わ な い ど ち ら か と そ う と	な い そ う は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	14.0	50.4	7.4	6.6	19.8	1.7
	30歳代	146	13.0	41.8	11.6	9.6	24.0	-
	40歳代	187	12.3	44.4	14.4	11.8	16.6	0.5
	50歳代	202	8.4	45.5	14.9	15.3	14.9	1.0
	60歳代	234	8.1	45.3	9.8	7.7	25.6	3.4
	70歳以上	296	13.9	37.2	6.4	3.4	23.6	15.5
	同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	4.0	40.0	20.0	24.0	12.0
乳児を除く小学校入学前の幼児		80	11.3	47.5	17.5	13.8	10.0	-
小学生		76	11.8	51.3	18.4	14.5	2.6	1.3
中学生・高校生		133	15.8	49.6	9.8	15.0	6.8	3.0
妊娠している女性		18	5.6	55.6	16.7	11.1	11.1	-
65歳以上の人		392	11.2	42.6	9.4	7.1	24.2	5.4
介護を必要とする人		69	11.6	44.9	4.3	10.1	26.1	2.9
障害のある人		36	8.3	41.7	2.8	8.3	25.0	13.9
いずれもない		492	11.2	42.1	10.6	7.1	25.6	3.5

(2) 障害者が暮らしやすいまち

同居者別でみると、障害のある人のいる方では【そう思う】の割合が36.1%となっています。

		n	そう 思う	思 い ど ち ら か と そ う と	思 わ な い ど ち ら か と そ う と	な い そ う は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	5.8	25.6	17.4	19.0	30.6	1.7
	30歳代	146	2.7	17.8	11.0	13.0	55.5	-
	40歳代	187	2.7	23.0	18.2	16.0	40.1	-
	50歳代	202	1.0	22.8	24.3	22.8	28.2	1.0
	60歳代	234	3.8	19.7	20.5	13.2	38.9	3.8
	70歳以上	296	9.1	25.0	14.2	8.1	29.1	14.5
	同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	4.0	20.0	12.0	16.0	48.0
乳児を除く小学校入学前の幼児		80	1.3	20.0	11.3	15.0	52.5	-
小学生		76	2.6	23.7	14.5	17.1	42.1	-
中学生・高校生		133	3.0	27.1	20.3	13.5	32.3	3.8
妊娠している女性		18	-	16.7	22.2	11.1	50.0	-
65歳以上の人		392	5.1	24.5	17.9	13.3	33.4	5.9
介護を必要とする人		69	7.2	23.2	17.4	15.9	31.9	4.3
障害のある人		36	2.8	33.3	11.1	13.9	25.0	13.9
いずれもない		492	5.5	20.5	18.3	16.3	36.6	2.8

### (3) 高齢者が暮らしやすいまち

年齢別でみると、【そう思う】の割合が19歳・20歳代と70歳以上で4割半ばとなっていますが、それ以外では年齢による差異はあまりみられません。

また、同居者別による差異もあまりみられません。

(%)

		n	そう 思う	思いど ううち とら そか うと	思いど わうち ない そか うと	な い そ う は 思 わ	わ か ら な い	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	11.6	35.5	19.0	9.1	23.1	1.7
	30歳代	146	5.5	23.3	17.8	11.0	42.5	-
	40歳代	187	5.9	27.8	15.5	14.4	36.4	-
	50歳代	202	2.5	29.7	27.7	15.3	23.8	1.0
	60歳代	234	5.1	26.9	20.1	15.4	28.6	3.8
	70歳以上	296	14.5	31.4	18.2	9.8	15.9	10.1
	同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	8.0	32.0	12.0	16.0	32.0
乳児を除く小学校入学前の幼児		80	6.3	30.0	15.0	15.0	33.8	-
小学生		76	5.3	32.9	15.8	14.5	31.6	-
中学生・高校生		133	6.8	35.3	16.5	12.8	24.1	4.5
妊娠している女性		18	-	27.8	22.2	11.1	38.9	-
65歳以上の人		392	8.9	32.1	19.9	12.8	21.2	5.1
介護を必要とする人		69	8.7	30.4	15.9	18.8	17.4	8.7
障害のある人		36	5.6	36.1	13.9	13.9	16.7	13.9
いずれもない		492	7.9	25.4	22.4	12.2	29.9	2.2

### (4) 地域住民の活動が盛んなまち

年齢別でみると、60歳代において【そう思う】の割合がほかの年齢に比べて少なくなっていますが、そのほかで年齢による差異はみられません。

同居者別でみると、乳児を除く小学校入学前の幼児から中学生・高校生のいる方では「どちらか」というと「そう思う」が3割台後半となっています。

(%)

		n	そう 思う	思いど ううち とら そか うと	思いど わうち ない そか うと	な い そ う は 思 わ	わ か ら な い	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	6.6	25.6	28.1	14.9	23.1	1.7
	30歳代	146	4.1	28.1	17.8	18.5	31.5	-
	40歳代	187	4.3	27.8	22.5	23.5	21.4	0.5
	50歳代	202	2.0	28.2	29.7	19.8	19.3	1.0
	60歳代	234	5.6	19.2	29.5	18.4	24.4	3.0
	70歳以上	296	5.4	26.0	19.9	15.5	18.2	14.9
	同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	12.0	16.0	12.0	36.0	24.0
乳児を除く小学校入学前の幼児		80	5.0	37.5	23.8	18.8	15.0	-
小学生		76	7.9	39.5	17.1	25.0	9.2	1.3
中学生・高校生		133	3.8	37.6	21.8	18.8	13.5	4.5
妊娠している女性		18	5.6	22.2	22.2	22.2	27.8	-
65歳以上の人		392	4.8	23.7	25.8	18.1	21.9	5.6
介護を必要とする人		69	5.8	15.9	24.6	26.1	21.7	5.8
障害のある人		36	5.6	30.6	16.7	16.7	16.7	13.9
いずれもない		492	4.3	23.0	26.4	17.7	26.0	2.6

(5) 災害時でも安心できるまち

年齢別でみると、19歳・20歳代と70歳以上で【そう思う】の割合が4割を超えて、ほかの年齢よりも多くなっています。一方で、40歳代から60歳代にかけては【そう思わない】の割合が3割台でほかの年齢に比べて多くなっています。

また、同居者別による差異はあまりみられません。

(%)

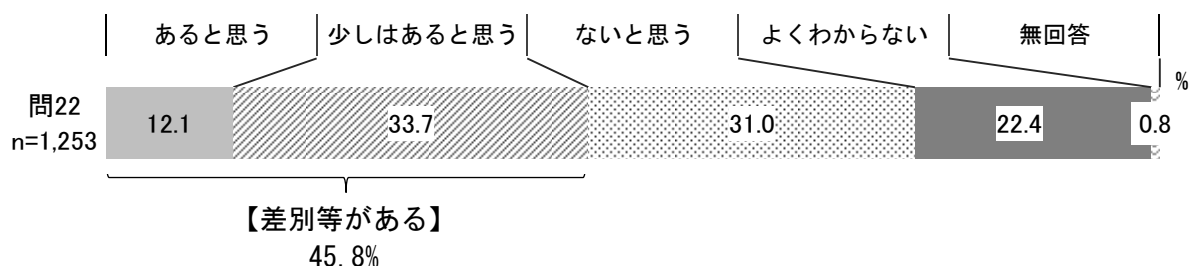
		n	そう 思う	思 い ど う ち ら そ か と	思 い ど ち ら そ か と	な い は 思 わ ない	わ か ら な い	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	9.1	33.9	17.4	9.9	28.1	1.7
	30歳代	146	7.5	20.5	19.9	8.2	43.2	0.7
	40歳代	187	4.8	25.1	21.9	14.4	33.7	-
	50歳代	202	2.5	27.7	24.8	14.9	29.2	1.0
	60歳代	234	7.3	26.5	18.8	15.4	29.9	2.1
	70歳以上	296	14.5	28.7	9.8	12.8	19.9	14.2
同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	16.0	16.0	4.0	16.0	48.0	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	8.8	32.5	10.0	13.8	35.0	-
	小学生	76	7.9	30.3	21.1	15.8	25.0	-
	中学生・高校生	133	6.0	30.1	18.8	12.8	29.3	3.0
	妊娠している女性	18	-	16.7	38.9	5.6	38.9	-
	65歳以上の人	392	9.4	28.1	16.8	14.5	26.3	4.8
	介護を必要とする人	69	11.6	20.3	15.9	17.4	29.0	5.8
	障害のある人	36	5.6	19.4	22.2	11.1	27.8	13.9
	いずれもない	492	7.9	26.4	18.9	12.4	31.5	2.8

**問 22 あなたの普段の生活の中で、障害を理由とした差別や偏見があると思いますか。  
（あてはまるもの1つに○）**

障害を理由とする差別や偏見は、「少しはあると思う」が33.7%で最も多く、これに「あると思う」の12.1%をあわせた【差別等がある】は45.8%となっています。一方、「ないと思う」は31.0%と約3割となっています。なお、「よくわからない」は22.4%となっています。

年齢別でみると、60歳代以下では「少しはあると思う」が最も多く、70歳以上では「ないと思う」が43.2%で最も多くなっています。

同居者別でみると、障害のある人がいる方で【差別等がある】や「ないと思う」の割合が多いという傾向はみられません。



■年齢別/同居者別

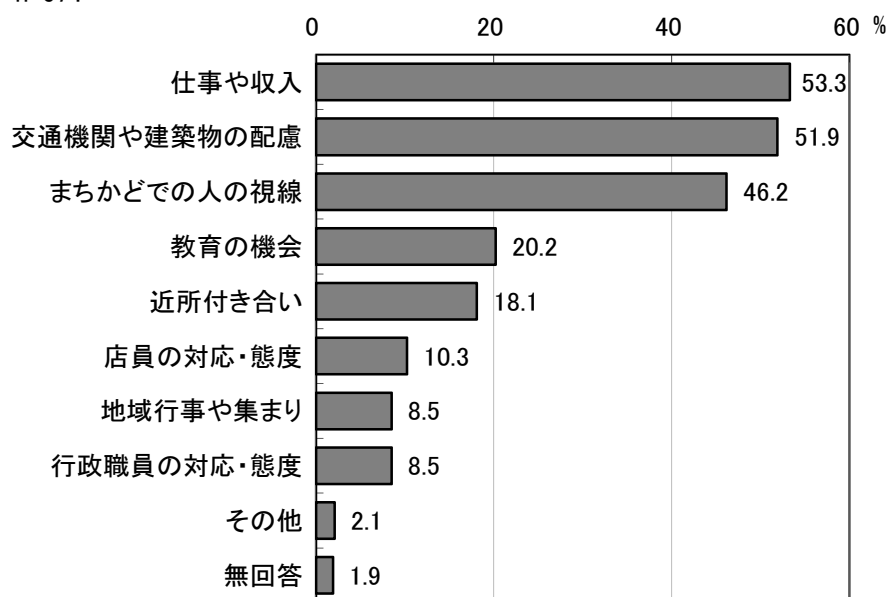
		n	ある と思 う	と少 しは ある と思 う	ない と思 う	なよ いく わか ら	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	16.5	38.8	28.9	15.7	-
	30歳代	146	19.9	32.2	26.0	21.9	-
	40歳代	187	11.2	40.1	27.8	20.9	-
	50歳代	202	11.9	44.6	25.2	17.8	0.5
	60歳代	234	13.2	35.0	27.4	24.4	-
	70歳以上	296	6.8	22.0	43.2	25.7	2.4
同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	16.0	24.0	32.0	28.0	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	11.3	26.3	26.3	36.3	-
	小学生	76	11.8	40.8	30.3	17.1	-
	中学生・高校生	133	9.8	39.1	30.1	21.1	-
	妊娠している女性	18	11.1	22.2	33.3	33.3	-
	65歳以上の人	392	10.2	33.9	32.9	22.2	0.8
	介護を必要とする人	69	5.8	27.5	34.8	30.4	1.4
	障害のある人	36	11.1	33.3	22.2	30.6	2.8
	いずれもない	492	14.8	37.2	27.2	20.3	0.4

**問 22-1 問 22 で「1 あると思う」、「2 少しはあると思う」と回答した方におうかがい  
 します。どのような場面で差別や偏見があると思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)**

【差別等がある】と回答した人に差別や偏見のある場面についてたずねたところ、「仕事や収入」が53.3%で最も多く、次いで「交通機関や建築物の配慮」が51.9%、「まちかどでの人の視線」が46.2%で続き、これらが他を引き離して上位を占めています。

年齢別でみると、「仕事や収入」では60歳代以下で5割以上の回答があります。19歳・20歳代では「まちかどでの人の視線」が、40歳代と60歳代では「交通機関や建築物の配慮」がそれぞれ6割以上で最も多くなっています。また、40歳代で「教育の機会」が34.4%でほかの年齢に比べて多くなっているほか、70歳以上では「近所付き合い」が3割以上となっています。

問22-1 n=574



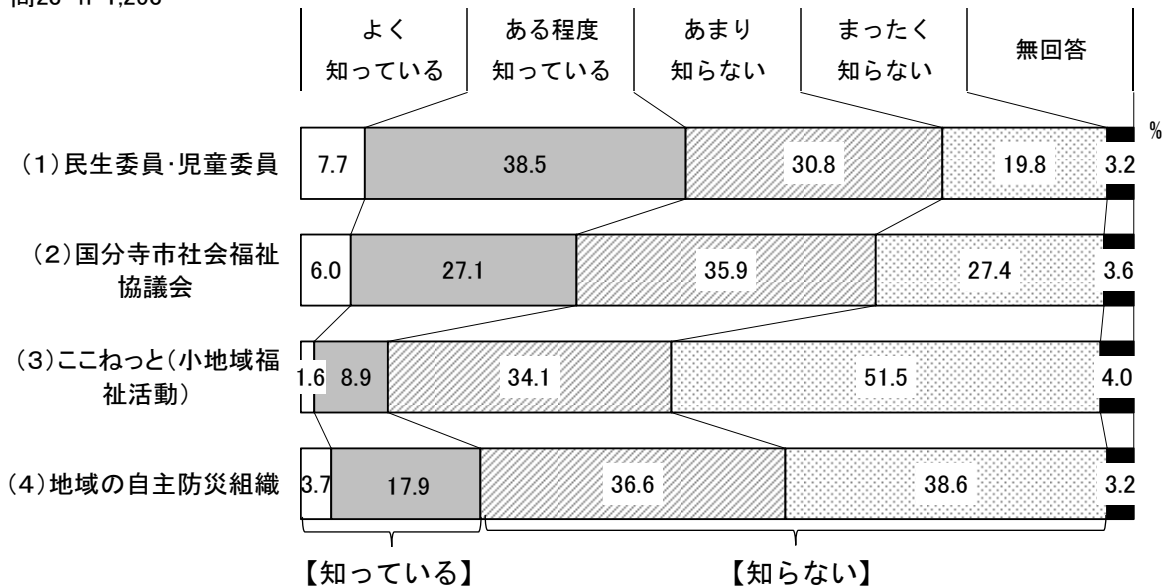
■ 年齢別

	n	(%)									
		仕事や収入	交通機関や建築物の配慮	まちかどでの人の視線	教育の機会	近所付き合い	店員の対応・態度	地域行事や集まり	行政職員の対応・態度	その他	無回答
19歳・20歳代	67	50.7	46.3	62.7	23.9	16.4	16.4	6.0	9.0	3.0	-
30歳代	76	55.3	48.7	50.0	17.1	10.5	10.5	9.2	6.6	1.3	1.3
40歳代	96	58.3	65.6	50.0	34.4	12.5	16.7	8.3	10.4	1.0	-
50歳代	114	58.8	50.9	43.0	14.0	18.4	8.8	10.5	7.9	1.8	1.8
60歳代	113	54.0	63.7	38.9	19.5	18.6	5.3	5.3	8.8	0.9	1.8
70歳以上	85	38.8	35.3	37.6	11.8	31.8	5.9	12.9	9.4	4.7	5.9

**問 23 あなたは、次の福祉に関する団体、資源や制度を知っていますか。**  
**((1)から(4)について、それぞれ1つに○)**

福祉に関する団体、制度等の認知度について、「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた【知っている】が最も多い項目は、「(1) 民生委員・児童委員」で46.2%と4割を超え、次いで「(2) 国分寺市社会福祉協議会」が33.1%、「(4) 地域の自主防災組織」が21.6%、「(3) ここねっと(小地域福祉活動)」が10.5%となっています。

問23 n=1,253



■年齢別/同居者別

(1) 民生委員・児童委員

年齢別で見ると、30歳代以下では「まったく知らない」が4割以上で最も多くなっていますが、40歳代以上では「ある程度知っている」が4割以上で最も多くなっています。

近所付き合い別で見ると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「よく知っている」や「ある程度知っている」の割合が多くなる反面、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど「まったく知らない」が多くなる傾向があります。

(%)

		n	いよく 知って	知あ つる て程 い度 る	なあ いま り知 ら	らま なっ たく 知	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	2.5	21.5	28.1	47.1	0.8
	30歳代	146	4.1	24.0	31.5	40.4	-
	40歳代	187	3.7	45.5	26.7	22.5	1.6
	50歳代	202	7.4	40.1	38.1	13.4	1.0
	60歳代	234	7.7	42.3	35.0	13.7	1.3
	70歳以上	296	13.2	44.6	26.0	7.1	9.1
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	18.9	35.4	29.9	6.3	9.4
	気の合った人とは仲良くしている	213	9.9	52.1	25.4	9.4	3.3
	たまに立ち話をする程度	283	7.8	44.2	30.4	13.8	3.9
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	3.8	33.8	34.2	27.5	0.8
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	3.6	20.2	28.6	45.2	2.4
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	-	16.7	33.3	50.0	-

(2) 国分寺市社会福祉協議会

年齢別で見ると、年齢が上がるほど【知っている】の割合が多くなっています。

近所付き合い別で見ると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「よく知っている」や「ある程度知っている」の割合が多くなる反面、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど「まったく知らない」が多くなる傾向があります。

(%)

		n	いよく 知って	知あ つる て程 い度 る	なあ いま り知 ら	らま なっ たく 知	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	5.0	11.6	28.9	54.5	-
	30歳代	146	2.1	15.8	34.9	47.3	-
	40歳代	187	2.7	23.5	39.0	33.7	1.1
	50歳代	202	7.4	28.2	37.6	26.2	0.5
	60歳代	234	7.3	29.5	43.6	18.4	1.3
	70歳以上	296	7.8	39.2	31.4	10.5	11.1
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	11.8	36.2	34.6	7.9	9.4
	気の合った人とは仲良くしている	213	7.5	35.2	37.1	14.6	5.6
	たまに立ち話をする程度	283	7.4	29.0	39.6	20.5	3.5
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	3.4	23.1	36.3	36.7	0.6
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	1.2	9.5	27.4	59.5	2.4
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	8.3	16.7	16.7	58.3	-



### (3) ここねっと（小地域福祉活動）

年齢別で見ると、いずれの年齢でも「まったく知らない」が最も多く、その割合は年齢が上がるごとに少なくなる一方で「あまり知らない」が多くなる傾向がみられます。

近所付き合い別では、【知っている】の割合は近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど多くなっています。

(%)

		n	いよく 知って	知あ つて程 い度 る	なあ い ま り 知 ら	らま つ た く 知	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	-	5.0	24.8	69.4	0.8
	30歳代	146	0.7	5.5	21.9	71.9	-
	40歳代	187	1.6	12.8	32.1	51.9	1.6
	50歳代	202	1.0	7.4	39.6	50.5	1.5
	60歳代	234	2.1	8.5	38.5	49.1	1.7
	70歳以上	296	2.4	11.5	36.5	38.5	11.1
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	3.9	19.7	37.0	29.1	10.2
	気の合った人とは仲良くしている	213	1.4	10.8	43.7	37.1	7.0
	たまに立ち話をする程度	283	2.5	8.5	37.5	48.4	3.2
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	0.8	7.1	28.7	62.1	1.3
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	-	1.2	19.0	77.4	2.4
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	-	-	25.0	75.0	-

### (4) 地域の自主防災組織

年齢別で見ると、年齢が上がるほど【知っている】の割合が多くなっています。

近所付き合い別で見ると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「よく知っている」や「ある程度知っている」の割合が多くなる反面、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど「まったく知らない」が多くなる傾向があります。

(%)

		n	いよく 知って	知あ つて程 い度 る	なあ い ま り 知 ら	らま つ た く 知	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	0.8	8.3	29.8	61.2	-
	30歳代	146	2.1	6.8	29.5	61.6	-
	40歳代	187	1.1	17.6	35.3	44.9	1.1
	50歳代	202	3.5	18.8	38.1	39.1	0.5
	60歳代	234	5.6	19.2	42.3	31.6	1.3
	70歳以上	296	4.7	25.7	39.5	20.6	9.5
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	7.9	32.3	31.5	19.7	8.7
	気の合った人とは仲良くしている	213	5.2	22.1	45.5	22.5	4.7
	たまに立ち話をする程度	283	3.2	23.0	43.1	27.6	3.2
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	2.1	11.9	33.3	52.0	0.6
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	-	3.6	20.2	73.8	2.4
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	-	16.7	25.0	58.3	-

**問 24 あなたは、福祉のことで相談が必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。**

**(あてはまるものすべてに○)**

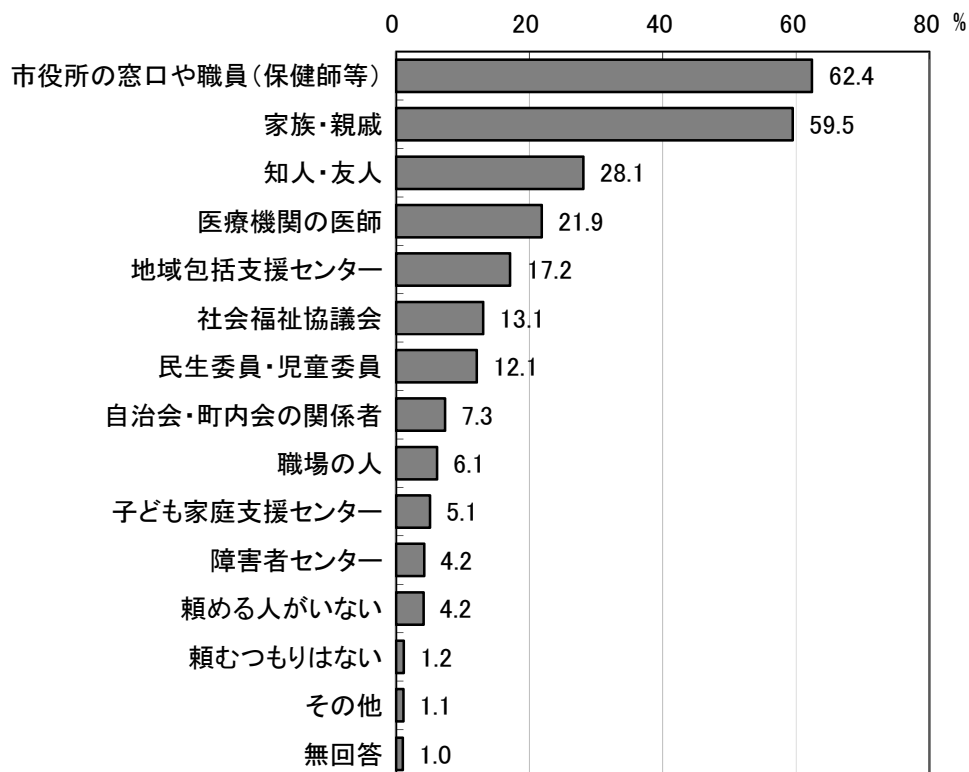
福祉に関する相談先としては、「市役所の窓口や職員（保健師等）」が 62.4%で最も多く、次いで「家族・親戚」が 59.5%となっており、他を大きく引き離して上位を占めています。その他では、「知人・友人」が 28.1%、「医療機関の医師」が 21.9%、「地域包括支援センター」が 17.2%、「社会福祉協議会」が 13.1%、「民生委員・児童委員」が 12.1%などとなっています。なお、「頼める人がいない」は 4.2%、「頼むつもりはない」は 1.2%となっています。

年齢別でみると、いずれの年齢も「家族・親戚」と「市役所の窓口や職員」が上位2項目となっています。

同居者別でみると、乳児や乳児を除く小学校入学前の幼児では「子ども家庭支援センター」の割合がそれぞれ4割、3割となっています。介護を必要とする人がいる方では、「地域包括支援センター」の割合が4割を超えています。障害のある人がいる方では、「障害者センター」の割合が 13.9%となっています。

近所付き合い別でみると、「頼める人がいない」の割合は近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど多い傾向がみられ、「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」、「煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている」方の回答は約1割となっています。

問24 n=1,253



■年齢別/同居者別/近所付き合い別

(%)

		n	職 市役所の窓口や 保健師等)	家 族・親戚	知 人・友人	医 療機 関の 医師	地 域包 括支 援 セン ター	社 会福 祉協 議会	員 民 生委 員・児 童委	自 治会 ・町 内会 の 関係 者	職 場 の 人	子 ども 家 庭 支 援 セン ター	障 害 者 セン ター	頼 める 人 が い な い	頼 む つ も り は な い	そ の 他	無 回 答
年 齢	19歳・20歳代	121	49.6	78.5	32.2	23.1	9.1	10.7	3.3	3.3	12.4	5.8	2.5	2.5	1.7	0.8	0.8
	30歳代	146	62.3	81.5	35.6	17.1	8.9	6.8	5.5	6.2	13.7	20.5	6.2	8.2	-	3.4	-
	40歳代	187	62.0	59.4	29.9	21.4	11.2	10.2	6.4	5.9	8.6	8.0	5.9	4.3	1.1	0.5	0.5
	50歳代	202	75.7	52.5	29.2	24.3	18.8	16.3	7.9	6.9	7.4	2.0	5.0	3.5	0.5	1.0	-
	60歳代	234	70.5	47.9	26.1	22.2	23.5	18.8	12.8	6.0	3.0	0.9	5.6	3.4	1.3	0.9	0.4
	70歳以上	296	51.4	55.1	23.0	21.6	22.3	12.8	23.3	12.2	0.3	1.0	1.4	3.4	2.4	1.0	2.4
同 居 者	乳児（1歳未満の幼児）	25	60.0	80.0	40.0	12.0	12.0	12.0	-	12.0	8.0	40.0	8.0	4.0	-	-	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	57.5	82.5	27.5	16.3	10.0	10.0	1.3	3.8	5.0	31.3	2.5	2.5	-	2.5	-
	小学生	76	52.6	61.8	25.0	28.9	11.8	10.5	7.9	2.6	6.6	17.1	3.9	2.6	-	2.6	1.3
	中学生・高校生	133	63.9	57.1	25.6	21.1	13.5	12.0	9.8	9.8	3.8	4.5	6.0	3.0	1.5	1.5	1.5
	妊娠している女性	18	88.9	77.8	27.8	27.8	11.1	5.6	-	5.6	5.6	22.2	5.6	5.6	-	-	-
	65歳以上の人	392	62.0	57.4	26.5	21.7	23.5	13.0	15.6	11.0	3.1	3.1	2.8	2.3	1.8	1.3	1.8
	介護を必要とする人	69	52.2	50.7	18.8	20.3	43.5	13.0	17.4	11.6	4.3	1.4	1.4	1.4	2.9	4.3	1.4
	障害のある人 いずれもない	36 492	52.8 64.0	58.3 58.9	19.4 29.9	16.7 22.8	22.2 13.8	13.9 15.4	16.7 10.8	13.9 4.7	2.8 8.7	5.6 1.8	13.9 4.7	8.3 5.9	- 1.0	2.8 0.6	- 0.2
近 所 付 き 合 い	日頃から助け合っている	127	52.8	61.4	31.5	23.6	24.4	19.7	20.5	16.5	3.9	5.5	3.9	-	0.8	1.6	3.1
	気の合った人とは仲良くしている	213	62.4	59.2	41.8	23.0	21.6	14.1	14.6	12.2	2.8	4.2	5.6	1.9	1.9	0.9	0.9
	たまに立ち話をする程度	283	63.3	56.5	24.4	23.7	17.3	14.5	11.7	6.4	4.9	5.7	3.9	2.8	0.4	0.7	1.4
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	64.4	61.2	23.3	20.3	14.7	11.9	9.6	4.0	7.5	5.0	4.2	5.9	1.3	1.7	0.2
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	57.1	56.0	31.0	15.5	6.0	2.4	3.6	3.6	13.1	6.0	3.6	8.3	3.6	-	-
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	66.7	58.3	8.3	25.0	8.3	16.7	-	-	-	8.3	-	-	8.3	-	-

問 25 あなたは現在、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

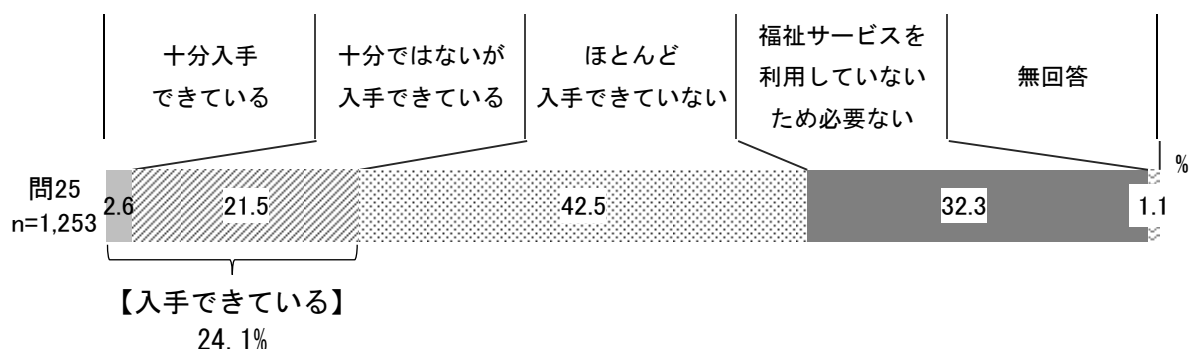
福祉サービスの情報入手については、「ほとんど入手できていない」が42.5%で4割強を占め、「福祉サービスを利用していないため必要ない」が32.3%、「十分ではないが入手できている」が21.5%、「十分入手できている」が2.6%となっています。

年齢別でみると、いずれの年齢も「ほとんど入手できていない」が多くなっていますが、70歳以上では「十分ではないが入手できている」がほぼ同じ割合となっています。

同居者別では、介護を必要とする人がいる方では「十分ではないが入手できている」が4割を超えて最も多くなっていますが、そのほかはおおむね「ほとんど入手できていない」が最も多くなっています。

近所付き合い別でみると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「十分入手できている」や「十分ではないが入手できている」の割合が多くなっています。

福祉の関心別でみると、【関心がある】方は【入手できている】の割合が多く、【関心がない】方では「福祉サービスを利用していないため必要ない」が5割以上で多くなっています。



■年齢別/同居者別/近所付き合い別/福祉の関心別

(%)

		n	て十分 いる入 手でき	いが十 分入 手では きてい	でほと んどい ない手	ななを いい利 社用サ ービス のため に必要	無回 答
年齢	19歳・20歳代	121	0.8	10.7	41.3	45.5	1.7
	30歳代	146	1.4	15.8	40.4	42.5	-
	40歳代	187	2.1	16.0	41.2	40.6	-
	50歳代	202	2.0	17.8	40.6	39.6	-
	60歳代	234	1.7	17.5	53.4	26.9	0.4
	70歳以上	296	5.1	36.5	38.5	16.9	3.0
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	25	-	40.0	48.0	12.0	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	3.8	22.5	48.8	25.0	-
	小学生	76	1.3	21.1	42.1	34.2	1.3
	中学生・高校生	133	-	19.5	36.8	42.1	1.5
	妊娠している女性	18	-	11.1	66.7	22.2	-
	65歳以上の人	392	4.3	25.3	43.9	24.0	2.6
	介護を必要とする人	69	7.2	43.5	36.2	11.6	1.4
	障害のある人	36	2.8	30.6	47.2	16.7	2.8
いずれもない	492	1.6	15.4	42.9	40.0	-	
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	7.1	37.8	34.6	17.3	3.1
	気の合った人とは仲良くしている	213	3.8	23.0	43.7	29.1	0.5
	たまに立ち話をする程度	283	1.8	20.8	43.5	32.2	1.8
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	1.9	18.4	43.0	36.3	0.4
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	-	7.1	50.0	42.9	-
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	-	16.7	33.3	50.0	-
福祉の関心	とても関心がある	191	5.8	38.7	37.2	16.8	1.6
	ある程度関心がある	779	2.4	22.8	44.5	29.4	0.8
	あまり関心がない	228	-	5.3	43.0	51.8	-
	まったく関心がない	23	4.3	4.3	17.4	73.9	-

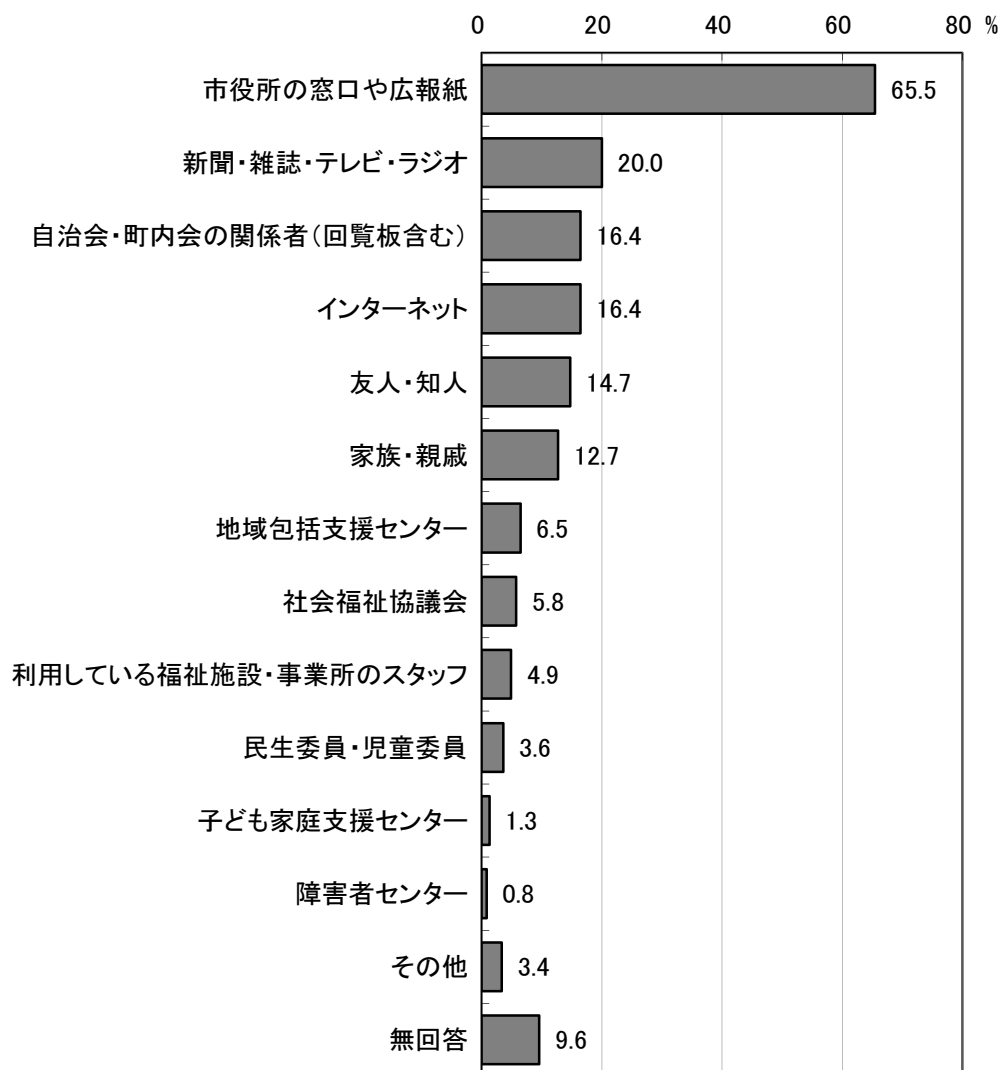
**問 25-1 問 25 で「1 十分入手できている」、「2 十分ではないが入手できている」、「3 ほとんど入手できていない」と回答した方におうかがいします。あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。  
(あてはまるものすべてに○)**

福祉情報の入手先については、「市役所の窓口や広報紙」が 65.5%で最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 20.0%、「自治会・町内会の関係者（回覧板含む）」が 16.4%、「インターネット」が 16.4%、「友人・知人」が 14.7%、「家族・親戚」が 12.7%、「地域包括支援センター」が 6.5%などとなっています。

年齢別でみると、「インターネット」は若い年齢ほど割合が多くなる一方、「自治会・町内会の関係者（回覧板含む）」は年齢が上がるほど割合が多くなっています。

同居者別でみると、「子ども家庭支援センター」の割合は乳幼児で 22.7%、乳児を除く小学校入学前の幼児で 6.7%、小学生で 2.0%となっています。「地域包括支援センター」の割合は、介護を必要とする人で 28.3%となっています。障害者センターの割合は、障害のある人で 3.4%となっています。

問25-1 n=834



■年齢別/同居者別

(%)

		n	市役所の窓口や広報紙	ラジオ 新聞・雑誌・テレビ・	自治会・町内会の関係者 (回覧板含む)	インターネット	友人・知人	家族・親戚	地域包括支援センター	社会福祉協議会	利用している福祉施設・ 事業所のスタッフ	民生委員・児童委員	子ども家庭支援センター	障害者センター	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	64	35.9	15.6	1.6	37.5	14.1	34.4	1.6	1.6	1.6	-	3.1	-	1.6	18.8
	30歳代	84	69.0	9.5	8.3	33.3	13.1	14.3	-	1.2	2.4	-	6.0	-	1.2	11.9
	40歳代	111	70.3	10.8	11.7	27.0	12.6	9.9	2.7	1.8	0.9	0.9	1.8	0.9	5.4	6.3
	50歳代	122	68.9	20.5	12.3	22.1	18.0	10.7	4.9	3.3	6.6	0.8	-	-	3.3	11.5
	60歳代	170	74.1	22.9	17.6	10.0	13.5	7.1	5.3	5.9	4.1	4.1	-	0.6	5.3	9.4
	70歳以上	237	62.4	26.6	27.8	2.5	17.7	13.5	13.5	10.5	8.4	8.0	0.8	2.1	1.7	6.3
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	22	72.7	9.1	13.6	18.2	31.8	13.6	-	-	4.5	-	22.7	-	-	9.1
	乳児を除く小学校入学前の幼児	60	71.7	16.7	11.7	20.0	18.3	5.0	-	1.7	5.0	-	6.7	-	1.7	10.0
	小学生	49	67.3	10.2	18.4	32.7	16.3	10.2	-	2.0	6.1	-	2.0	2.0	2.0	8.2
	中学生・高校生	75	58.7	16.0	12.0	29.3	13.3	17.3	4.0	2.7	2.7	-	1.3	1.3	5.3	12.0
	妊娠している女性	14	64.3	7.1	-	35.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
	65歳以上の人	288	70.1	20.1	23.3	9.4	16.0	11.8	10.8	7.6	7.6	3.5	1.0	1.4	1.4	8.3
	介護を必要とする人	60	55.0	20.0	8.3	3.3	16.7	8.3	28.3	3.3	28.3	5.0	-	-	5.0	11.7
	障害のある人	29	58.6	27.6	20.7	17.2	13.8	20.7	13.8	17.2	17.2	-	3.4	3.4	-	20.7
	いずれもない	295	64.7	22.7	14.6	19.0	15.6	13.9	4.7	4.7	2.7	5.1	-	0.7	4.1	9.2

**問 26 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。  
(あてはまるものすべてに○)**

日常生活での悩みや不安については、「特にない」が35.9%で最も多くなっています。また、具体的には、「家族の介護に関すること」が25.1%、「緊急時の連絡のこと」が24.9%、「育児・子育てに関すること」が11.2%などとなっています。

性別による差異はあまりみられません。

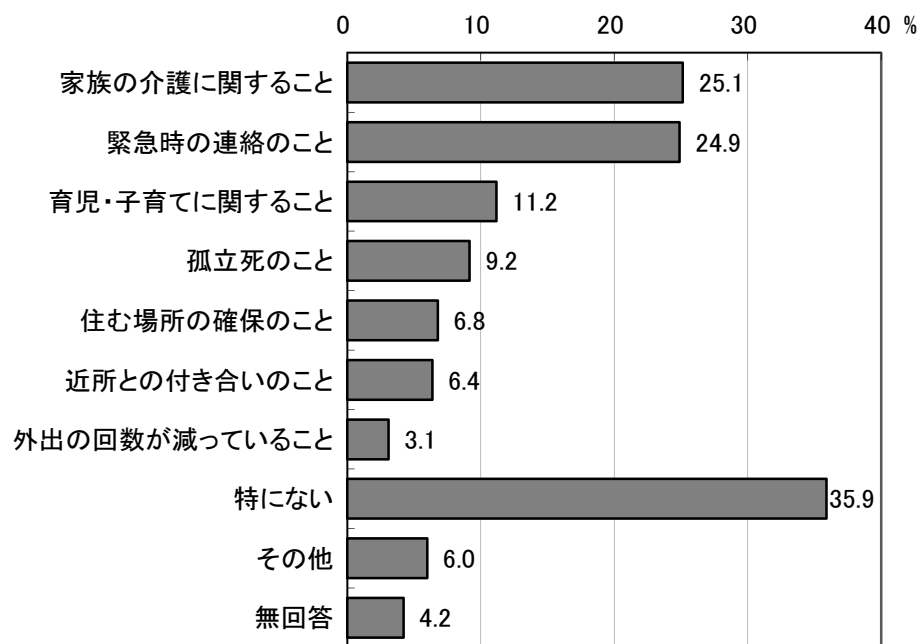
年齢別でみると、30歳代では「育児・子育てに関すること」が41.1%、50歳代では「家族の介護に関すること」が31.2%で最も多くなっています。また、70歳以上で「外出の回数が減っていること」が7.8%でほかの年齢に比べて多くなっています。

職業別でみると、正社員・正職員で「育児・子育てに関すること」が2割を超えていますが、そのほかに差異はあまりみられません。

同居者別でみると、「育児・子育てに関すること」の割合は乳児、乳児を除く小学校入学前の幼児、妊娠している女性で6割以上となっています。また、介護を必要とする人では「家族の介護に関すること」で約6割となっています。

住宅形態別でみると、「住む場所の確保のこと」に借家（一戸建て）で16.0%、借家（集合住宅）で23.3%の回答があります。

問26 n=1,253



■性別/年齢別/職業別/同居者別/住宅形態別

(%)

		n	家族の介護に関すること	と緊急時の連絡のこと	育児・子育てに関すること	孤立死のこと	こと住む場所の確保のこと	近所との付き合いのこと	て外出の回数が減ること	特にな	その他	無回答
性別	男性	452	26.3	23.9	10.2	9.7	7.5	7.1	3.8	36.7	5.3	4.0
	女性	746	24.0	26.0	12.1	8.8	6.3	6.2	2.7	35.8	6.4	4.6
年齢	19歳・20歳代	121	21.5	28.1	14.9	7.4	9.1	9.9	1.7	42.1	5.0	3.3
	30歳代	146	22.6	22.6	41.1	12.3	12.3	11.0	2.1	24.0	5.5	1.4
	40歳代	187	25.1	26.2	23.5	4.3	5.9	5.3	0.5	36.9	4.8	1.1
	50歳代	202	31.2	27.7	3.5	8.9	8.9	5.0	0.5	31.2	7.9	2.0
	60歳代	234	23.9	26.5	1.7	9.4	4.7	3.4	2.6	41.9	6.0	3.8
	70歳以上	296	23.6	22.0	0.3	11.5	3.7	7.1	7.8	37.8	6.4	9.8
職業	正社員、正職員	322	29.5	24.5	22.0	10.9	8.7	7.5	0.3	30.4	5.3	2.5
	派遣・契約社員	59	27.1	30.5	5.1	8.5	16.9	6.8	-	30.5	3.4	1.7
	自営業・自由業（農林業も含む）	90	23.3	22.2	6.7	4.4	3.3	5.6	-	43.3	7.8	3.3
	アルバイト・パートタイム	158	27.2	24.1	12.0	10.1	11.4	5.7	0.6	31.0	9.5	2.5
	学生	37	16.2	32.4	8.1	5.4	8.1	8.1	-	51.4	-	8.1
	無職・家事専業	478	22.2	24.9	6.9	8.4	3.6	6.3	6.5	38.9	5.2	6.3
	その他	49	24.5	30.6	2.0	14.3	4.1	6.1	8.2	42.9	12.2	2.0
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	25	16.0	20.0	80.0	-	4.0	4.0	8.0	12.0	-	-
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	15.0	17.5	60.0	1.3	2.5	8.8	2.5	28.8	1.3	1.3
	小学生	76	15.8	18.4	35.5	1.3	3.9	6.6	-	44.7	1.3	1.3
	中学生・高校生	133	26.3	27.1	17.3	0.8	3.0	4.5	0.8	39.1	8.3	1.5
	妊娠している女性	18	-	38.9	72.2	-	5.6	22.2	-	11.1	11.1	-
	65歳以上の人	392	33.4	24.0	2.3	7.9	4.3	5.4	4.3	36.5	6.9	4.3
	介護を必要とする人	69	58.0	23.2	1.4	8.7	2.9	5.8	8.7	20.3	4.3	5.8
	障害のある人	36	33.3	30.6	2.8	-	8.3	8.3	2.8	30.6	8.3	2.8
	いずれもない	492	20.7	27.8	4.1	13.6	11.0	7.3	3.3	37.8	6.3	4.5
住宅形態	持家（一戸建て）	729	28.9	23.7	8.0	7.7	1.5	6.2	3.0	37.2	5.9	4.7
	持家（集合住宅）	182	21.4	26.9	11.5	9.9	4.9	7.1	4.9	41.8	8.2	3.3
	借家（一戸建て）	25	24.0	24.0	16.0	8.0	16.0	4.0	4.0	36.0	-	-
	借家（集合住宅）	245	16.7	30.2	19.6	13.1	23.3	7.8	2.0	27.8	5.3	4.1
	寮	3	33.3	-	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-
	その他	15	-	6.7	13.3	-	-	-	-	60.0	6.7	13.3



**問 27 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。**

**(アからウについて、それぞれ1つに○)**

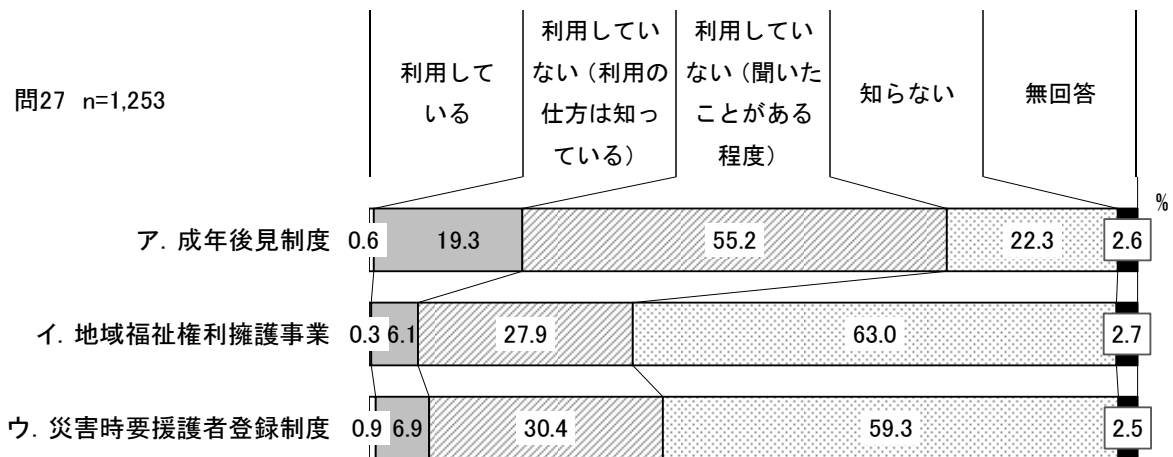
福祉に関する制度や事業の利用や認知度等についてたずねたところ、「利用している」は『ウ. 災害時要援護者登録制度』で0.9%、『ア. 成年後見制度』で0.6%、『イ. 地域福祉権利擁護事業』で0.3%とそれぞれわずかとなっています。

また、「利用の仕方は知っている」は『ア. 成年後見制度』で19.3%と約2割となっていますが、『ウ. 災害時要援護者登録制度』では6.9%、『イ. 地域福祉権利擁護事業』では6.1%と少なくなっています。

さらに、「知らない」は『ア. 成年後見制度』で22.3%となっていますが、『ウ. 災害時要援護者登録制度』では59.3%、『イ. 地域福祉権利擁護事業』では63.0%と6割前後となっています。

同居者別では、『ア. 成年後見制度』は小学生、妊娠している女性、65歳以上の人、及び介護を必要とする人がいる方で「利用の仕方は知っている」が約2割となっています。

『イ. 地域福祉権利擁護事業』、『ウ. 災害時要援護者登録制度』については、同居者による差異はあまりみられません。



■同居者別

(%)

		n	利用して いる	利用して いない （利用し ては ない）	利用して いない （利用し ては ない）	利用して いない （利用し ては ない）	知らない	無回答
ア・成年後見制度	乳児（1歳未満の幼児）	25	-	16.0	48.0	36.0	-	
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	-	17.5	52.5	28.8	1.3	
	小学生	76	-	22.4	53.9	22.4	1.3	
	中学生・高校生	133	1.5	13.5	63.2	21.1	0.8	
	妊娠している女性	18	-	22.2	50.0	27.8	-	
	65歳以上の人	392	0.5	23.0	57.7	16.8	2.0	
	介護を必要とする人	69	1.4	18.8	58.0	17.4	4.3	
	障害のある人	36	-	5.6	72.2	16.7	5.6	
	いずれもない	492	0.4	18.7	52.8	26.0	2.0	
イ・地域福祉権利擁護事業	乳児（1歳未満の幼児）	25	-	4.0	12.0	84.0	-	
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	-	3.8	15.0	80.0	1.3	
	小学生	76	-	5.3	23.7	69.7	1.3	
	中学生・高校生	133	-	6.0	28.6	64.7	0.8	
	妊娠している女性	18	-	-	38.9	61.1	-	
	65歳以上の人	392	0.5	6.9	36.7	53.1	2.8	
	介護を必要とする人	69	2.9	7.2	27.5	58.0	4.3	
	障害のある人	36	-	5.6	22.2	63.9	8.3	
	いずれもない	492	0.4	6.1	24.4	67.3	1.8	
ウ・災害時要援護者登録制度	乳児（1歳未満の幼児）	25	-	16.0	16.0	68.0	-	
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	-	2.5	25.0	71.3	1.3	
	小学生	76	-	6.6	25.0	67.1	1.3	
	中学生・高校生	133	-	4.5	35.3	60.2	-	
	妊娠している女性	18	-	11.1	38.9	50.0	-	
	65歳以上の人	392	1.0	9.9	37.0	49.2	2.8	
	介護を必要とする人	69	4.3	7.2	26.1	58.0	4.3	
	障害のある人	36	2.8	8.3	22.2	58.3	8.3	
	いずれもない	492	1.0	5.7	27.0	64.4	1.8	

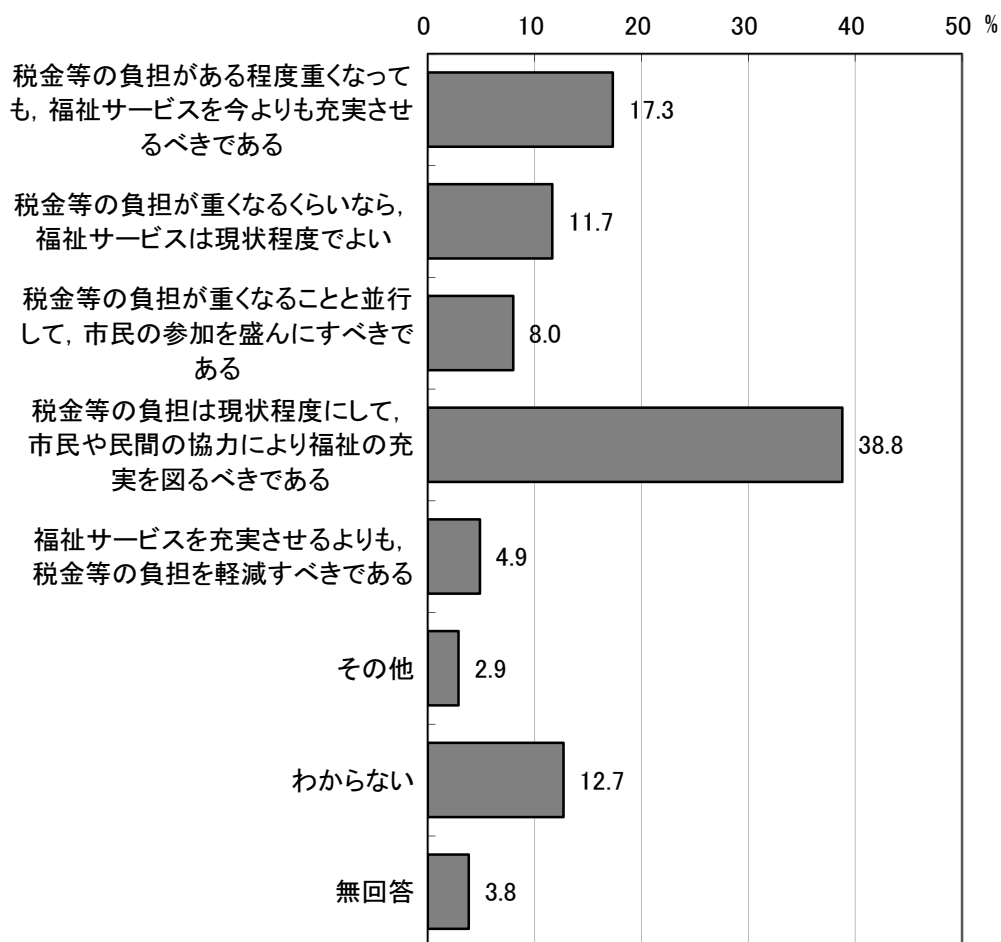
**問 28 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。**

**(あてはまるもの1つに○)**

福祉サービスの充実と税金等の負担の関係については、「税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が 38.8%で約4割を占め、次いで「税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今よりも充実させるべきである」が 17.3%、「わからない」が 12.7%、「税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」が 11.7%、「税金等の負担が重くなることと並行して、市民の参加を盛んにすべきである」が 8.0%、「福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである」が 4.9%となっています。

年齢別、職業別による差異はあまりみられません。

問28 n=1,253



■年齢別/職業別

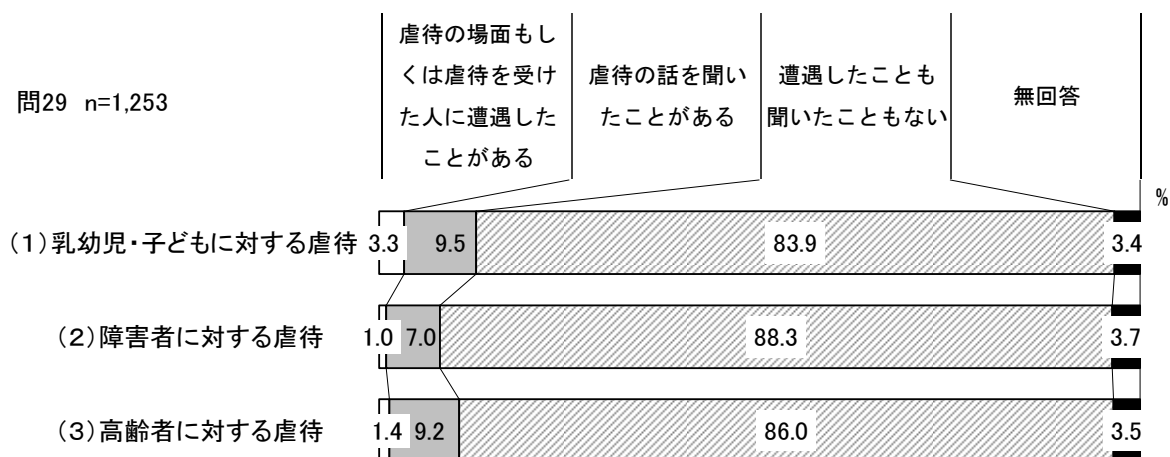
		n	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる	税金等の負担が重くなる
年齢	19歳・20歳代	121	21.5	9.9	5.0	38.0	5.8	2.5	13.2	4.1
	30歳代	146	14.4	7.5	8.9	43.8	6.2	2.7	15.1	1.4
	40歳代	187	13.9	12.3	10.7	39.6	5.9	4.3	12.3	1.1
	50歳代	202	16.8	9.9	7.9	43.6	4.5	4.0	11.9	1.5
	60歳代	234	21.4	9.0	7.3	39.7	5.1	3.0	10.7	3.8
	70歳以上	296	16.9	17.6	7.4	33.1	3.4	2.0	12.5	7.1
職業	正社員、正職員	322	19.3	9.3	9.3	41.0	4.3	3.7	10.6	2.5
	派遣・契約社員	59	13.6	10.2	11.9	42.4	5.1	1.7	15.3	-
	自営業・自由業（農林業も含む）	90	22.2	8.9	3.3	43.3	6.7	4.4	8.9	2.2
	アルバイト・パートタイム	158	14.6	11.4	6.3	39.9	7.6	1.9	15.2	3.2
	学生	37	24.3	10.8	5.4	32.4	2.7	2.7	16.2	5.4
	無職・家事専業	478	15.1	13.8	8.6	37.4	4.4	2.7	13.0	5.0
	その他	49	24.5	16.3	2.0	32.7	6.1	2.0	10.2	6.1

問 29 あなたは、高齢者、障害者や乳幼児などに対する虐待について、地域の中で見たり聞いたりしたことはありますか。(1)から(3)について、それぞれ1つに○

地域での虐待の見聞きについては、乳幼児・子ども、障害者、高齢者ともに「遭遇したことも聞いたこともない」がそれぞれ8割以上となっており、多数を占めています。

一方、「虐待の場面もしくは虐待を受けた人に遭遇したことがある」は『(1) 乳幼児・子ども』で3.3%と最も多く、次いで『(3) 高齢者』が1.4%、『(2) 障害者』が1.0%となっています。

また、「虐待の話を聞いたことがある」は『(1) 乳幼児・子ども』で9.5%、次いで『(3) 高齢者』が9.2%、『(2) 障害者』が7.0%となっています。



## 4 地域での活動について

### 問30 あなたは、この1年間、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(あてはまるもの1つに○)

地域活動等への取組については、「取り組んだことはない」が57.9%と6割弱を占めて最も多く、次いで「この1年の間にはないが、それ以前にはある」が19.9%で続き、「たまに、取り組むことがある」の11.7%と「現在、継続的に取り組んでいる」の8.8%をあわせた【取り組んでいる】は20.5%と約2割となっています。

男女別でみると、「現在、継続的に取り組んでいる」が男性で6.6%、女性で9.8%と、女性でやや多くなっています。また、「取り組んだことはない」が男性で62.6%、女性で56.0%と、男性に比べて女性が活動に参加しやすい傾向がうかがえます。

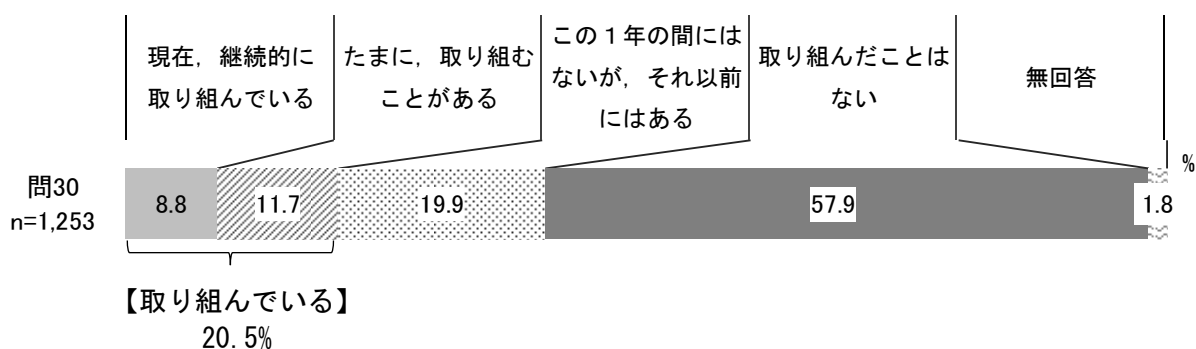
年齢別でみると、年齢が上がるほど「現在、継続的に取り組んでいる」の割合は多くなっています。

職業別でみると、【取り組んでいる】は「自営業・自由業」で3割、「アルバイト・パートタイム」と「無職・家事専業」で2割と、ほかの職業に比べて多くなっています。

居住地区別では、新町、北町と高木町で【取り組んでいる】割合が3割となっています。

居住歴別、家族構成別による差異はあまりみられません。

近所付き合い別でみると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「現在、継続的に取り組んでいる」や「たまに、取り組むことがある」の割合が多くなっています。



■性別/年齢別/職業別/居住地区別/居住歴別/家族構成別近所付き合い別

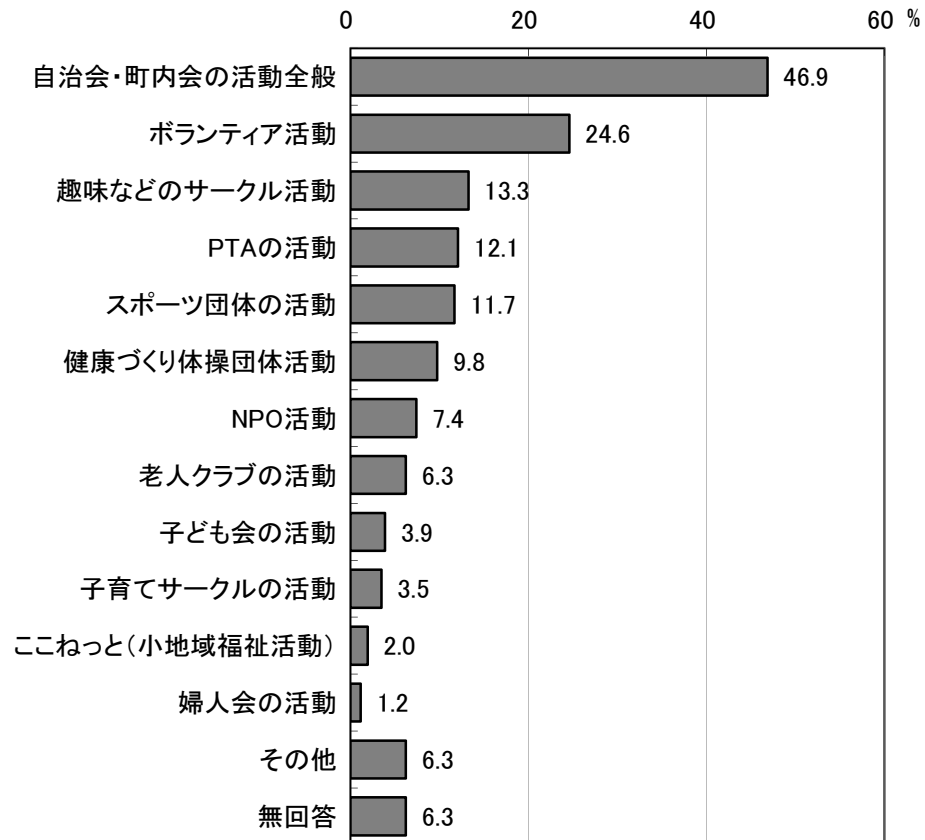
(%)

		n	現 在 に 在 り 取 り 継 続	た り あ る 組 む に こ と 取	こ と り は 組 な ん だ	前 に は そ の 1 年 以 上 の	無 回 答
性別	男性	452	6.6	12.2	62.6	16.2	2.4
	女性	746	9.8	11.3	56.0	21.7	1.2
年齢	19歳・20歳代	121	1.7	7.4	66.9	23.1	0.8
	30歳代	146	2.7	9.6	73.3	13.7	0.7
	40歳代	187	8.0	13.9	62.6	14.4	1.1
	50歳代	202	9.4	17.3	52.5	20.3	0.5
	60歳代	234	9.8	9.0	57.7	22.6	0.9
	70歳以上	296	12.5	10.8	51.0	22.0	3.7
職業	正社員、正職員	322	2.8	10.2	72.4	13.4	1.2
	派遣・契約社員	59	5.1	8.5	66.1	20.3	-
	自営業・自由業（農林業も含む）	90	12.2	17.8	45.6	22.2	2.2
	アルバイト・パートタイム	158	8.2	12.0	57.0	21.5	1.3
	学生	37	2.7	10.8	54.1	32.4	-
	無職・家事専業	478	11.7	11.3	53.1	21.8	2.1
	その他	49	14.3	16.3	46.9	18.4	4.1
居住地区	東元町	109	9.2	11.9	61.5	13.8	3.7
	西元町	40	10.0	10.0	55.0	25.0	-
	南町	56	5.4	7.1	76.8	10.7	-
	泉町	108	6.5	8.3	63.0	19.4	2.8
	本町	46	4.3	8.7	60.9	23.9	2.2
	本多	93	14.0	12.9	40.9	32.3	-
	東恋ヶ窪	111	12.6	8.1	56.8	18.9	3.6
	西恋ヶ窪	54	9.3	9.3	61.1	20.4	-
	東戸倉	34	8.8	8.8	64.7	14.7	2.9
	戸倉	90	7.8	12.2	61.1	18.9	-
	日吉町	65	4.6	9.2	53.8	27.7	4.6
	内藤	44	6.8	11.4	63.6	18.2	-
	富士本	57	1.8	14.0	70.2	12.3	1.8
	新町	38	13.2	15.8	52.6	18.4	-
	並木町	23	4.3	8.7	43.5	34.8	8.7
	北町	39	10.3	20.5	61.5	7.7	-
光町	64	12.5	15.6	59.4	12.5	-	
高木町	18	16.7	16.7	38.9	27.8	-	
西町	104	6.7	16.3	54.8	22.1	-	
居住歴	国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる	80	10.0	11.3	58.8	18.8	1.3
	国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた（進学、就職、仕事など）	53	11.3	11.3	60.4	17.0	-
	東京都内の他の市区町村の生まれである	399	8.0	15.0	52.9	22.6	1.5
	東京都外の生まれである	643	8.6	9.5	61.7	18.7	1.6
その他	24	8.3	12.5	58.3	8.3	12.5	
家族構成	ひとり暮らし世帯	172	6.4	6.4	66.9	18.0	2.3
	夫婦のみ世帯	336	10.4	9.8	60.4	16.7	2.7
	二世帯世帯（自分と親）	136	3.7	7.4	69.1	19.9	-
	二世帯世帯（自分と子）	440	10.5	15.2	53.6	19.8	0.9
	三世帯世帯（自分の子と孫）	32	12.5	9.4	46.9	28.1	3.1
	三世帯世帯（自分の親と子）	31	-	25.8	51.6	19.4	3.2
	三世帯世帯（自分の親とその親）	13	-	23.1	46.2	23.1	7.7
その他の世帯	36	5.6	11.1	41.7	41.7	-	
近所付き合い	目頃から助け合っている	127	15.0	19.7	31.5	29.1	4.7
	気の合った人とは仲良くしている	213	12.2	19.7	44.1	21.1	2.8
	たまに立ち話をする程度	283	10.6	11.3	55.1	21.6	1.4
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	5.2	7.8	68.8	17.6	0.6
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない 煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	84 12	2.4 -	1.2 8.3	84.5 91.7	10.7 -	1.2 -

**問 30-1 問 30 で「1 現在, 継続的に取り組んでいる」, 「2 たまに, 取り組むことがある」と回答した方におうかがいします。どんな活動をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)**

地域活動等に【取り組んでいる】と回答した人が取り組んでいる活動は, 「自治会・町内会の活動全般」が 46.9%で最も多く, 次いで「ボランティア活動」が 24.6%, 「趣味などのサークル活動」が 13.3%, 「PTAの活動」が 12.1%, 「スポーツ団体の活動」が 11.7%, 「健康づくり体操団体活動」が 9.8%となっています。

問30-1 n=256



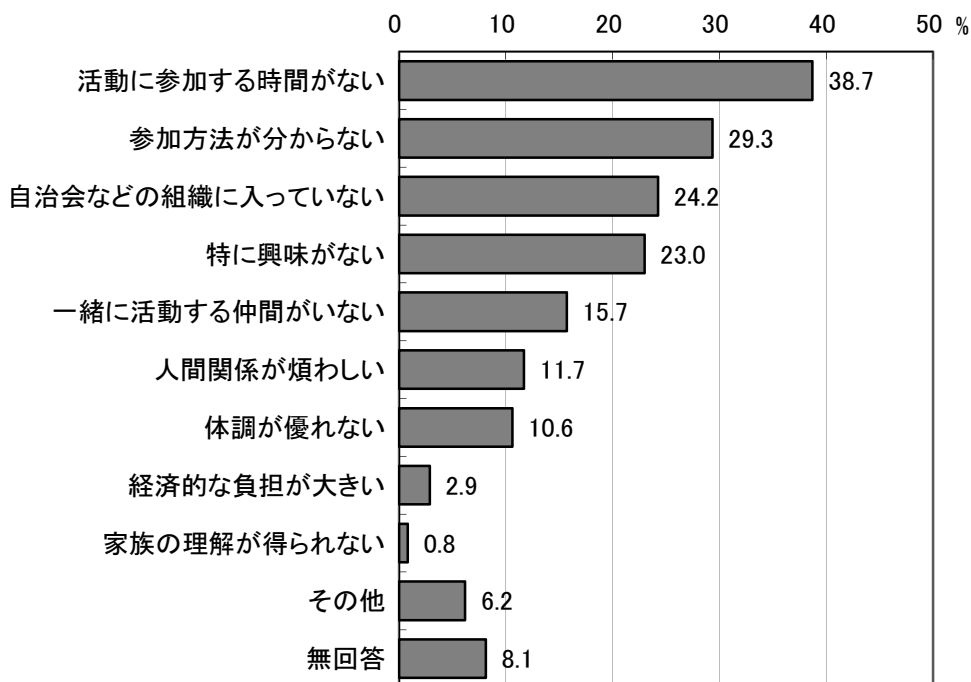
**問 30-2 問 30 で「3 取り組んだことはない」と回答した方におうかがいします。活動に取り組まない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

地域活動に取り組んだことがないと回答した人の取り組まない理由は、「活動に参加する時間がない」が38.7%で最も多く、次いで「参加方法が分からない」が29.3%、「自治会などの組織に入っていない」が24.2%、「特に興味がない」が23.0%となっています。

年齢別でみると、60歳代以下では「活動に参加する時間がない」が最も多くなっていますが、「参加方法が分からない」は年齢が若いほど割合が多くなっています。

近所付き合い別でみると、「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」とする方では「参加する方法が分からない」の回答が半数近くとなっています。

問30-2 n=726



■年齢別/近所付き合い別

		n	活動に参加する時間がない	参加方法が分からない	自治会などの組織に入っていない	特に興味がない	一緒に活動する仲間がいない	人間関係が煩わしい	体調が優れない	経済的な負担が大きい	家族の理解が得られない	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	81	49.4	42.0	30.9	32.1	14.8	4.9	2.5	2.5	1.2	6.2	4.9
	30歳代	107	53.3	37.4	29.9	24.3	13.1	5.6	3.7	5.6	0.9	7.5	2.8
	40歳代	117	47.9	29.9	29.1	23.1	10.3	14.5	3.4	5.1	-	6.0	4.3
	50歳代	106	47.2	34.0	22.6	25.5	18.9	14.2	6.6	4.7	-	3.8	7.5
	60歳代	135	39.3	28.1	13.3	20.0	15.6	14.8	8.9	0.7	1.5	5.2	7.4
	70歳以上	151	10.6	14.6	21.9	17.9	21.2	12.6	27.8	0.7	1.3	9.3	16.6
近所付き合い	日頃から助け合っている	40	50.0	20.0	12.5	17.5	10.0	-	12.5	-	-	2.5	10.0
	気の合った人とは仲良くしている	94	26.6	22.3	17.0	18.1	16.0	8.5	13.8	-	2.1	6.4	18.1
	たまに立ち話をする程度	156	41.0	26.9	19.2	18.6	17.3	9.0	13.5	1.9	1.3	6.4	7.1
	顔を合わせたら挨拶をする程度	328	38.4	31.4	26.2	27.4	16.2	13.7	8.5	4.0	0.3	6.7	6.1
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	71	47.9	42.3	38.0	21.1	15.5	15.5	4.2	5.6	1.4	7.0	4.2
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	11	27.3	9.1	27.3	36.4	9.1	45.5	18.2	9.1	-	9.1	9.1

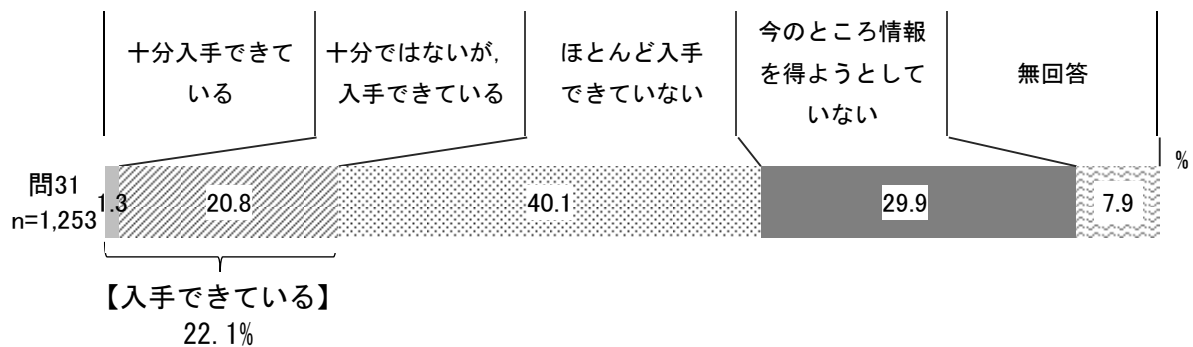


**問 31 あなたは、市民が行うボランティア活動や活動団体の情報をどの程度入手できているとお考えですか。（あてはまるもの1つに○）**

市民活動団体の情報入手については、「ほとんど入手できていない」が40.1%と約4割で最も多く、「今のところ情報を得ようとしていない」が29.9%、「十分ではないが、入手できている」が20.8%、「十分入手できている」が1.3%となっています。

年齢別でみると、「十分ではないが、入手できている」は年齢が上がるごとに割合が多くなる一方、若い年齢ほど「今のところ情報を得ようとしていない」が多くなっており、30歳代以下では4割を超えています。

今後の取組意向別でみると、「できれば取り組みたい」意向の方は「ほとんど入手できていない」が48.9%と半数近い割合となっています。



**■年齢別/今後の取組意向別（問 32）**

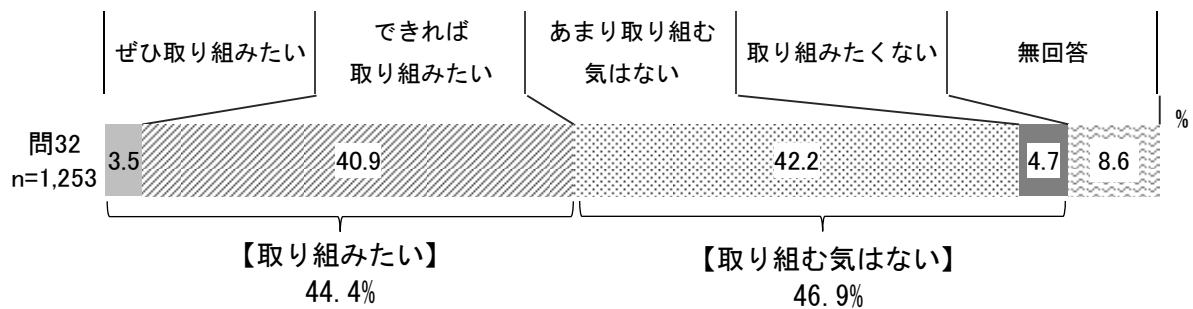
		n	十分入手できている	十分ではないが、入手できていない	ほとんど入手できていない	今のところ情報を得ようとしていない	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	-	7.4	47.1	43.0	2.5
	30歳代	146	0.7	16.4	37.0	43.2	2.7
	40歳代	187	3.7	14.4	38.5	36.9	6.4
	50歳代	202	0.5	18.8	43.1	31.7	5.9
	60歳代	234	0.9	24.4	46.2	20.9	7.7
	70歳以上	296	1.4	30.1	34.8	19.6	14.2
今後の取組意向	ぜひ取り組みたい	44	18.2	47.7	25.0	9.1	-
	できれば取り組みたい	513	0.8	31.2	48.9	18.1	1.0
	あまり取り組む気はない	529	0.4	13.4	41.4	44.2	0.6
	取り組みたくない	59	3.4	8.5	20.3	67.8	-

**問 32 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(あてはまるもの1つに○)**

地域活動等への今後の取組については、「あまり取り組む気はない」が42.2%で最も多く、これに「取り組みたくない」の4.7%をあわせた【取り組む気はない】が46.9%となっています。一方、「できれば取り組みたい」の40.9%と「ぜひ取り組みたい」の3.5%をあわせた【取り組みたい】は44.4%となっており、地域活動への意欲を持つ人と持たない人がほぼ同率となっています。

性別、年齢別、家族構成別でも、「できれば取り組みたい」と「あまり取り組む気はない」の割合は拮抗しており、年齢による差はあまりみられません。

職業別でも同様の傾向ですが、学生において「できれば取り組みたい」が5割半ばの回答となっています。



■性別/年齢別/職業別/家族構成別

		n	い ぜ ひ 取 り 組 み た	み で き い れ ば 取 り 組	気 あ ま り 取 り 組 む	い 取 り 組 み た く な	無 回 答
性別	男性	452	3.8	40.5	42.0	4.6	9.1
	女性	746	3.2	41.4	42.5	4.7	8.2
年齢別	19歳・20歳代	121	1.7	44.6	45.5	5.8	2.5
	30歳代	146	2.7	44.5	45.2	4.8	2.7
	40歳代	187	4.3	36.4	46.5	5.3	7.5
	50歳代	202	3.5	44.6	40.1	5.0	6.9
	60歳代	234	3.8	43.6	42.3	1.3	9.0
	70歳以上	296	3.4	37.2	37.8	6.4	15.2
職業	正社員、正職員	322	2.5	43.8	41.6	5.6	6.5
	派遣・契約社員	59	1.7	44.1	45.8	3.4	5.1
	自営業・自由業（農林業も含む）	90	3.3	37.8	47.8	2.2	8.9
	アルバイト・パートタイム	158	4.4	40.5	42.4	5.7	7.0
	学生	37	2.7	56.8	35.1	2.7	2.7
	無職・家事専業	478	4.0	36.8	43.5	4.8	10.9
	その他	49	2.0	55.1	26.5	4.1	12.2
家族構成	ひとり暮らし世帯	172	3.5	33.1	48.8	8.7	5.8
	夫婦のみ世帯	336	4.8	40.5	42.6	1.8	10.4
	二世帯世帯（自分と親）	136	2.9	40.4	48.5	3.7	4.4
	二世帯世帯（自分と子）	440	3.2	43.4	39.1	5.0	9.3
	三世帯世帯（自分の子と孫）	32	-	43.8	37.5	6.3	12.5
	三世帯世帯（自分の親と子）	31	-	58.1	32.3	3.2	6.5
	三世帯世帯（自分の親とその親）	13	7.7	23.1	53.8	15.4	-
	その他の世帯	36	-	47.2	33.3	8.3	11.1

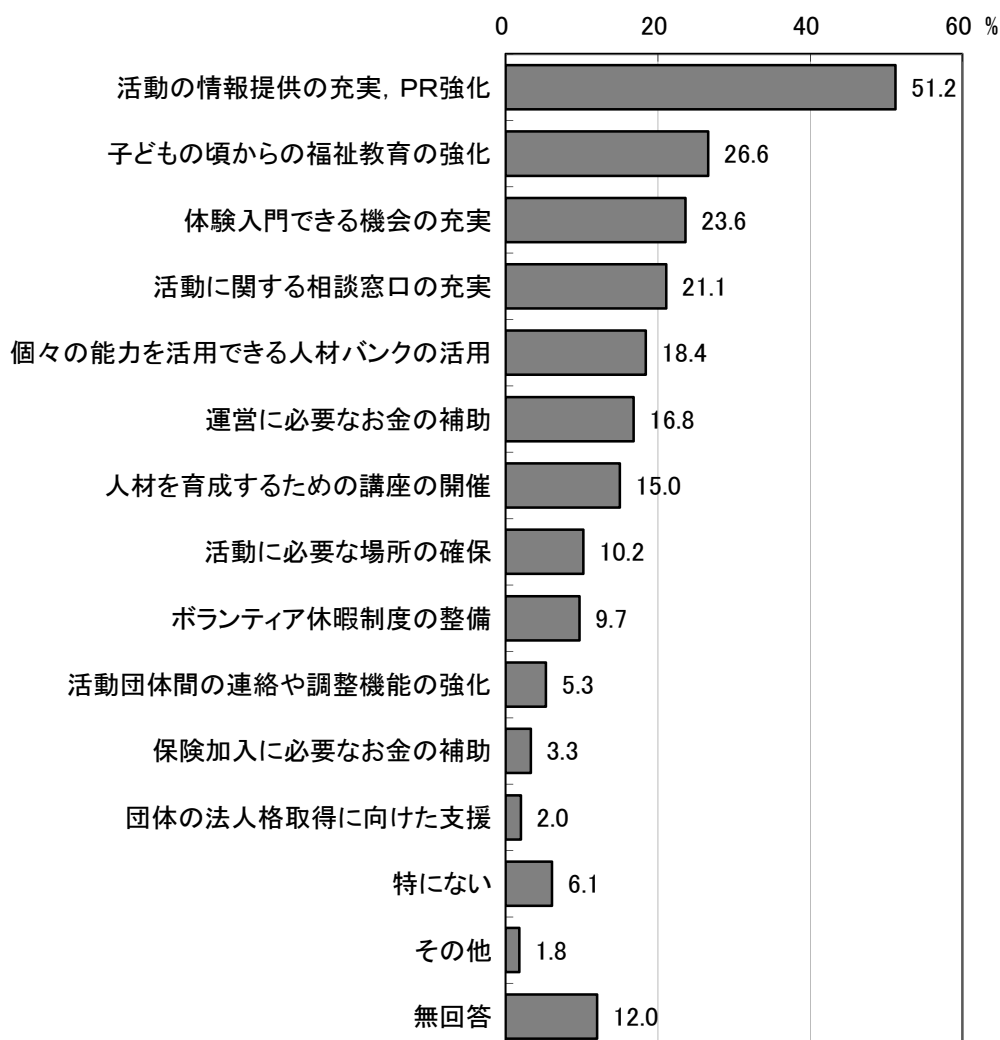
**問 33 福祉に関するボランティア活動や助け合い活動を活性化するためにはどのようなことが必要だとお考えですか。（主なものを3つまでに○）**

福祉活動の活性化に必要なことは、「活動の情報提供の充実、PR強化」が51.2%で最も多く、次いで「子どもの頃からの福祉教育の強化」が26.6%、「体験入門できる機会の充実」が23.6%、「活動に関する相談窓口の充実」が21.1%、「個々の能力を活用できる人材バンクの活用」が18.4%などとなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢も「活動の情報提供の充実、PR強化」が最も多くなっています。30歳代以下では「子どもの頃からの福祉教育の強化」の割合が3割以上でほかの年齢よりも多くなっています。また、若い年齢ほど「ボランティア休暇制度の整備」の割合が多くなっています。

同居者別でみると、小学生以下の子どもがいる方では「子どもの頃からの福祉教育の強化」の割合が3割台後半となっています。

問33 n=1,253



■年齢別/同居者別

																			(%)			
		n	PR強化	活動の情報提供の充実	子どもの頃からの福祉教育の強化	体験入門でできる機会の充実	活動に関する相談窓口の充実	人材バンクの活用	個々の能力を活用できる	運営に必要なお金の補助	講座の開催	人材を育成するための	活動に必要な場所の確保	整備	ボランティア休暇制度の	活動団体の間の連絡や調整機能の強化	補助	保険加入に必要なお金の	団体の法人格取得に向け	特にな	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	52.1	32.2	24.0	15.7	14.0	17.4	9.1	9.9	19.8	6.6	5.8	3.3	7.4	0.8	4.1					
	30歳代	146	51.4	37.0	29.5	17.8	17.8	17.1	14.4	7.5	13.7	4.1	3.4	2.1	5.5	2.1	5.5					
	40歳代	187	56.1	28.9	25.1	18.2	18.2	16.0	16.6	9.6	11.2	3.7	1.6	1.6	4.3	2.1	8.0					
	50歳代	202	57.4	25.2	24.8	23.3	27.7	20.8	15.8	6.9	12.9	6.4	4.5	3.5	2.0	3.5	8.4					
	60歳代	234	54.3	23.1	26.1	21.8	19.7	20.1	17.1	14.1	8.1	7.3	3.4	1.3	5.6	0.4	12.4					
	70歳以上	296	42.9	21.6	17.6	23.3	13.9	10.5	13.9	11.1	2.7	4.4	1.7	1.0	10.5	2.0	21.6					
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	25	60.0	36.0	8.0	24.0	16.0	24.0	20.0	12.0	-	4.0	-	-	4.0	-	4.0	-	-	-	-	4.0
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	56.3	37.5	23.8	16.3	16.3	18.8	8.8	17.5	7.5	3.8	1.3	1.3	3.8	3.8	8.8	-	-	-	-	8.8
	小学生	76	51.3	38.2	25.0	14.5	22.4	21.1	19.7	11.8	11.8	3.9	2.6	-	2.6	-	10.5	-	-	-	-	10.5
	中学生・高校生	133	48.1	24.1	26.3	18.8	19.5	19.5	16.5	9.0	10.5	6.8	3.0	1.5	3.8	4.5	9.0	-	-	-	-	-
	妊娠している女性	18	72.2	22.2	38.9	22.2	27.8	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65歳以上の人	392	47.2	25.8	24.2	20.9	16.8	16.1	16.3	11.7	8.2	6.4	2.6	1.8	6.9	0.5	16.6	-	-	-	-	-
	介護を必要とする人	69	42.0	20.3	26.1	30.4	17.4	13.0	13.0	13.0	4.3	8.7	-	1.4	7.2	1.4	17.4	-	-	-	-	-
	障害のある人	36	47.2	22.2	22.2	25.0	22.2	13.9	5.6	11.1	2.8	5.6	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7
	いずれもない	492	55.3	25.6	24.0	22.2	18.7	17.3	15.9	9.6	12.4	4.5	3.9	2.6	5.5	2.0	9.1	-	-	-	-	-

## 5 防災に対する備えについて

### 問34 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。 (あてはまるもの1つに○)

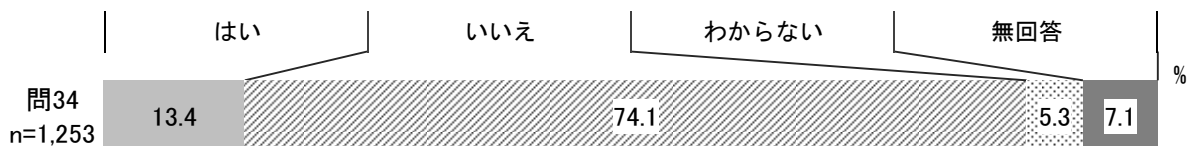
地域の防災訓練へ参加しているかどうかは、「いいえ」が74.1%で7割を超え、「はい」が13.4%、「わからない」が5.3%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるごとに多くなっています。

住宅形態別でみると、「はい」の割合は持家（集合住宅）が25.3%、持家（一戸建て）が12.9%であるのに対して、借家は5%前後となっています。

同居者別でみると、乳児や妊娠している女性のいる方では「いいえ」が8割以上で、ほかよりもやや多くなっています。

近所付き合い別でみると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「はい」の割合が多く、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど「いいえ」の割合が多くなっています。



#### ■年齢別/住宅形態別/同居者別/近所付き合い別

		n	はい	いいえ	わからない	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	5.0	86.8	5.8	2.5
	30歳代	146	5.5	87.7	2.7	4.1
	40歳代	187	13.4	75.9	4.8	5.9
	50歳代	202	12.4	76.2	5.0	6.4
	60歳代	234	12.8	71.4	7.3	8.5
	70歳以上	296	20.6	64.5	5.1	9.8
住宅形態	持家（一戸建て）	729	12.9	72.6	5.2	9.3
	持家（集合住宅）	182	25.3	68.7	3.3	2.7
	借家（一戸建て）	25	4.0	88.0	8.0	-
	借家（集合住宅）	245	5.7	84.9	6.1	3.3
	寮	3	-	66.7	33.3	-
	その他	15	6.7	66.7	13.3	13.3
同居者	乳児（1歳未満の幼児）	25	4.0	80.0	12.0	4.0
	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	13.8	72.5	5.0	8.8
	小学生	76	25.0	61.8	5.3	7.9
	中学生・高校生	133	12.0	74.4	6.0	7.5
	妊娠している女性	18	11.1	83.3	5.6	-
	65歳以上の人	392	13.5	72.2	5.1	9.2
	介護を必要とする人	69	10.1	73.9	2.9	13.0
	障害のある人	36	13.9	69.4	5.6	11.1
	いずれもない	492	12.6	76.4	5.1	5.9
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	29.9	55.9	3.9	10.2
	気の合った人とは仲良くしている	213	16.4	66.7	5.2	11.7
	たまに立ち話をする程度	283	12.4	76.7	5.7	5.3
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	9.4	79.5	5.9	5.2
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	2.4	88.1	4.8	4.8
	煩わしいので近所付き合いは持たないようになっている	12	-	91.7	-	8.3

**問 35 あなたは、災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。（あてはまるものすべてに○）**

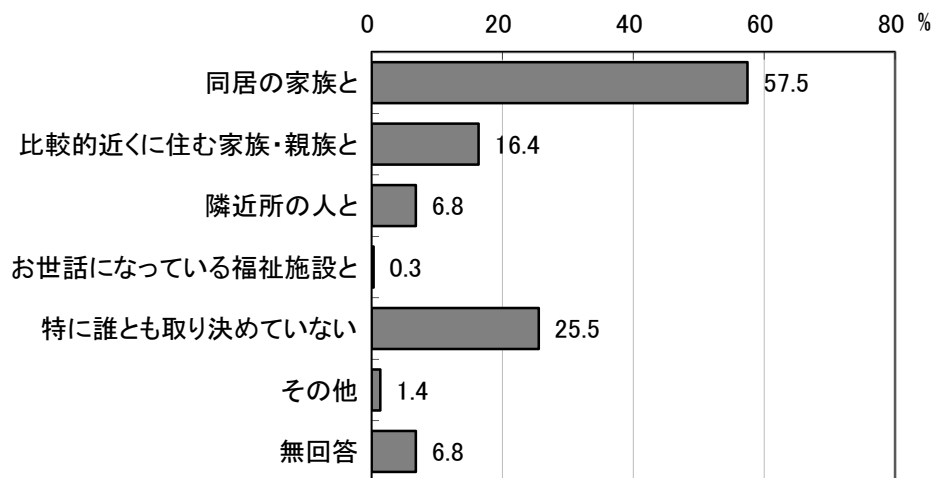
災害が起きた時の対応の取り決めをしている相手は、「同居の家族と」が57.5%で最も多く、次いで「特に誰とも取り決めていない」は25.5%となっています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「同居の家族と」が最も多く、70歳以上では「比較的近くに住む家族・親族と」と「隣近所の人と」がほかの年齢よりも多くなっています。しかし、いずれの年齢でも「特に誰とも取り決めていない」の割合が多くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯においては「特に誰とも取り決めていない」が5割半ばで半数以上を占めています。

近所付き合い別でみると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど誰かと取り決めをしている割合が多い一方、近所付き合いの程度が少ないと思われる方ほど「特に誰とも決めていない」の割合が多くなっています。

問35 n=1,253



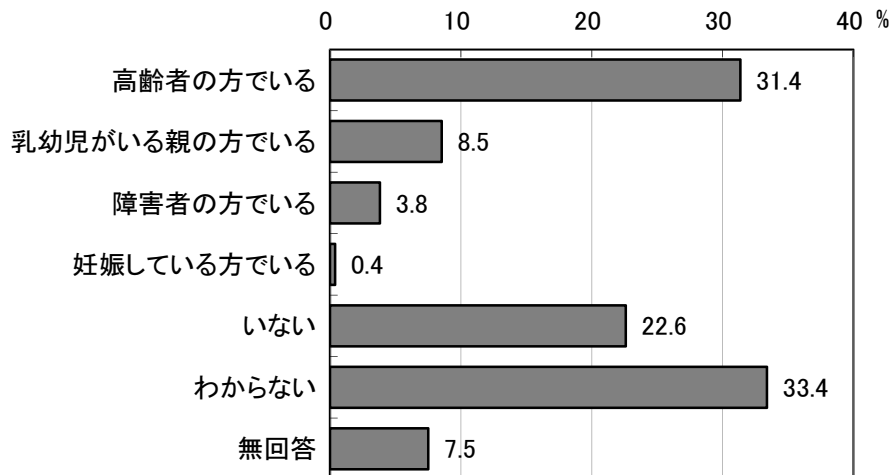
**■年齢別/家族構成別/近所付き合い別**

		n	同居の家族と	比較的家族的・近親族に住む	隣近所の人(自防組を含む)	お世話になっている福祉施設と	特に誰とも取り決めていない	その他	無回答
年齢	19歳・20歳代	121	54.5	11.6	1.7	-	38.0	0.8	2.5
	30歳代	146	63.0	16.4	4.8	0.7	26.7	2.1	4.1
	40歳代	187	67.4	15.5	2.7	-	20.9	2.7	5.9
	50歳代	202	69.8	11.4	2.0	-	19.8	1.5	5.0
	60歳代	234	54.7	13.7	7.3	-	26.9	0.9	8.1
	70歳以上	296	45.6	24.7	14.2	0.7	25.3	1.0	9.5
家族構成	ひとり暮らし世帯	172	0.6	29.1	13.4	0.6	55.8	3.5	4.1
	夫婦のみ世帯	336	59.8	20.2	4.8	0.3	24.4	0.6	7.4
	二世帯世帯（自分と親）	136	60.3	9.6	2.9	-	30.9	-	5.9
	二世帯世帯（自分と子）	440	74.5	12.7	6.8	0.2	13.6	1.4	7.5
	三世帯世帯（自分の親と子）	32	81.3	12.5	6.3	-	12.5	-	6.3
	三世帯世帯（自分の親と子）	31	67.7	6.5	6.5	-	25.8	-	3.2
	三世帯世帯（自分の親とその親）	13	69.2	15.4	-	-	30.8	7.7	-
	その他の世帯	36	66.7	5.6	5.6	-	22.2	5.6	8.3
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	57.5	23.6	26.8	-	10.2	3.1	9.4
	気の合った人とは仲良くしている	213	62.0	17.8	12.7	0.5	19.2	-	10.8
	たまに立ち話をする程度	283	61.1	19.4	3.2	0.7	22.3	1.1	4.9
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	57.9	14.3	1.9	-	30.2	1.3	5.0
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	39.3	7.1	-	-	45.2	4.8	4.8
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	25.0	8.3	-	-	58.3	-	8.3

**問 36 あなたの家の周りには、高齢者や障害者のひとり暮らし、乳幼児がいる世帯など、災害時に支援を必要としそうな方は住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)**

近所に災害時要援護者がいるかどうかは、「わからない」が 33.4%で最も多く、「高齢者の方でいる」が 31.4%、「いない」が 22.6%、「乳幼児がいる親の方でいる」が 8.5%、「障害者の方でいる」が 3.8%、「妊娠している方でいる」が 0.4%となっています。

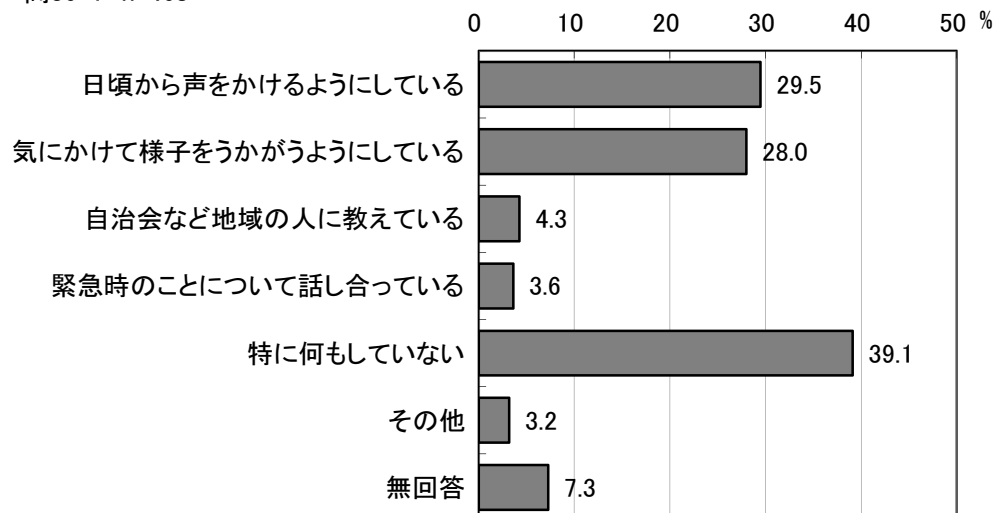
問36 n=1,253



**問 36-1 問 36 で「1 高齢者の方でいる」～「4 妊娠している方でいる」と回答した方におうかがいします。その方たちに対して、あなたは何か行動されていますか。(あてはまるものすべてに○)**

近所の災害時要援護者への働きかけについては、「特に何もしていない」が 39.1%で最も多く、「日頃から声をかけるようにしている」が 29.5%、「気にかけて様子をうかがうようにしている」が 28.0%などとなっています。

問36-1 n=468



## 6 今後の福祉保健施策について

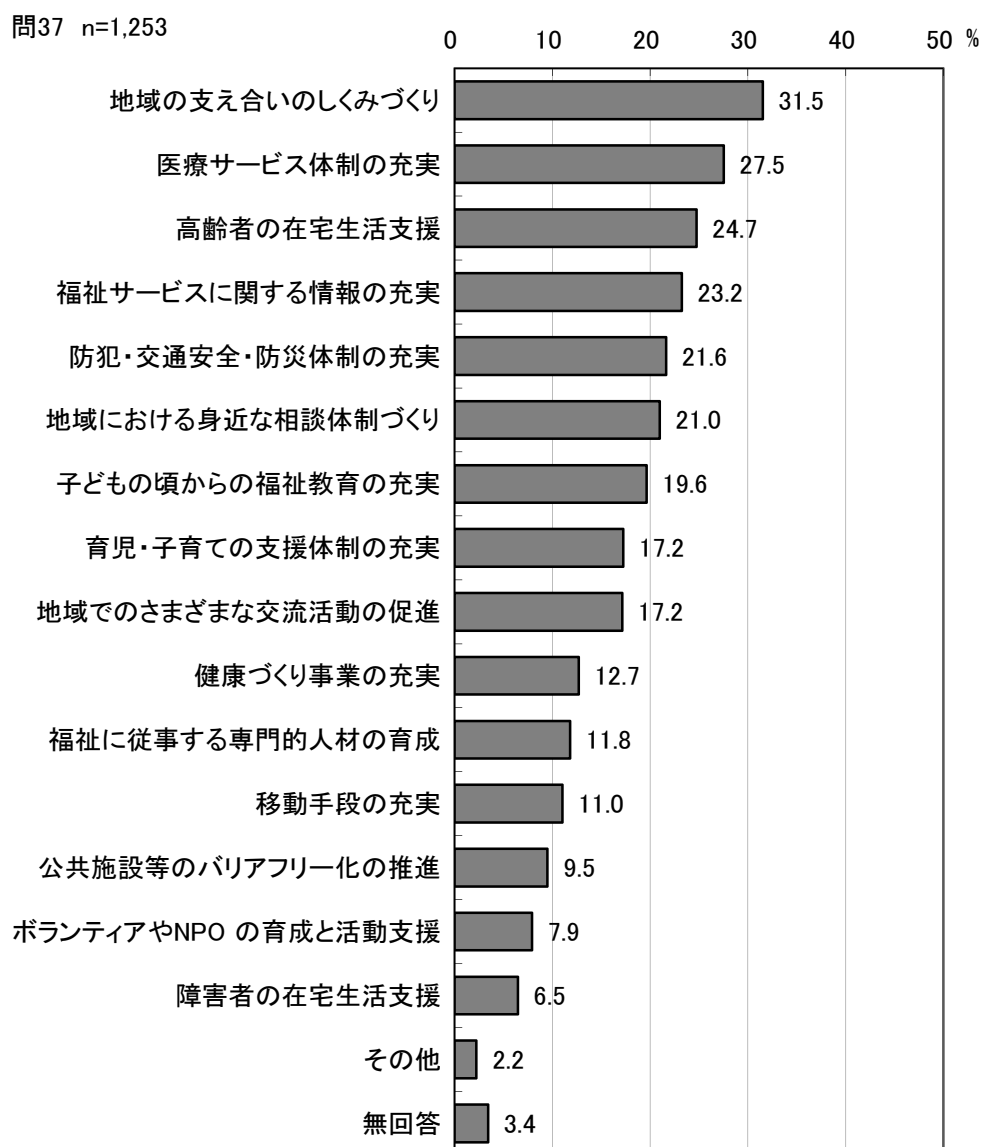
### 問 37 国分寺市の福祉保健施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取組はどれですか。(主なものを3つまでに○)

市の福祉保健施策の充実に必要な取組については、「地域の支え合いのしくみづくり」が31.5%で最も多く、次いで「医療サービス体制の充実」が27.5%、「高齢者の在宅生活支援」が24.7%、「福祉サービスに関する情報の充実」が23.2%、「防犯・交通安全・防災体制の充実」が21.6%、「地域における身近な相談体制づくり」が21.0%、「子どもの頃からの福祉教育の充実」が19.6%となっています。

年齢別でみると、30歳代において「育児・子育ての支援体制の充実」が43.2%でほかの年齢に比べて多い回答となっています。また、「高齢者の在宅生活支援」では50歳代以上で約3割の回答があります。

同居者別でみると、小学生未満の子どもがいる方や妊娠している女性において「育児・子育ての支援体制の充実」の割合が半数以上と多くなっています。

近所付き合い別でみると、近所付き合いの程度が高いと思われる方ほど「地域の支え合いのしくみづくり」の回答が多くなっています。





■年齢別/同居者別/近所付き合い別

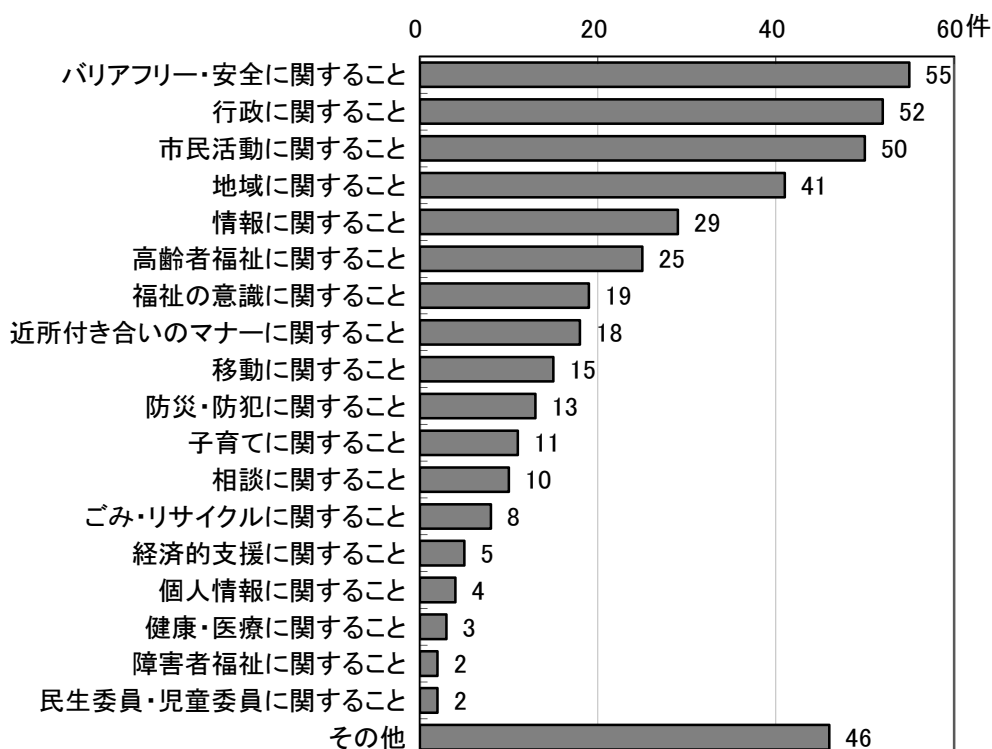
(%)

		n	地域の 支え合いの しくみづくり	医療サ ービス体制 の充実	高齢者 の在宅生 活支援	福祉サ ービスに 関する情 報の充実	防犯・交 通安全・ 防災体制 の充実	地域にお ける身近 な相談体 制づくり	子ども の頃から の福祉教 育の充実	育児・子 育ての支 援体制の 充実	地域での さまざまな 交流活動 の促進	健康づ くり事業 の充実	福祉に 従事する 専門的人 材の育成	移動手 段の充実	公共施 設等のバ リアフリー 化の推進	ポラン ティアや NPOの育 成と活動 支援	障害者 の在宅生 活支援	その他	無回 答
年齢	19歳・20歳代	121	33.9	24.8	14.0	16.5	27.3	11.6	26.4	32.2	23.1	2.5	7.4	15.7	15.7	5.8	1.7	1.7	3.3
	30歳代	146	21.9	26.7	11.6	21.9	26.0	18.5	26.0	43.2	15.8	8.9	7.5	17.8	13.7	6.8	5.5	2.7	0.7
	40歳代	187	29.9	24.6	19.3	22.5	19.3	24.6	20.9	20.3	15.0	7.0	13.4	13.9	10.7	10.2	6.4	3.7	2.1
	50歳代	202	29.2	30.7	31.2	30.7	18.8	22.3	18.8	11.4	18.3	12.4	15.3	12.9	9.9	8.9	9.4	3.0	0.5
	60歳代	234	35.5	32.1	30.3	28.2	20.1	23.9	19.7	11.5	15.4	19.2	13.2	9.4	7.3	7.3	7.3	0.4	2.1
	70歳以上	296	33.8	26.0	29.4	18.9	22.0	20.9	14.5	5.1	17.9	18.6	12.2	4.4	6.8	7.1	6.1	2.0	7.8
	同居者	乳児（1歳未満の幼児）	25	32.0	16.0	16.0	24.0	16.0	28.0	32.0	72.0	12.0	8.0	8.0	16.0	8.0	4.0	8.0	-
乳児を除く小学校入学前の幼児		80	32.5	32.5	11.3	16.3	18.8	12.5	28.8	56.3	18.8	2.5	3.8	16.3	12.5	8.8	2.5	1.3	-
小学生		76	35.5	26.3	10.5	17.1	21.1	15.8	25.0	26.3	15.8	5.3	3.9	10.5	10.5	14.5	5.3	5.3	1.3
中学生・高校生		133	33.8	18.8	19.5	18.0	24.1	17.3	18.8	13.5	21.8	9.0	8.3	13.5	6.0	9.0	5.3	6.8	4.5
妊娠している女性		18	27.8	44.4	11.1	38.9	27.8	11.1	16.7	83.3	27.8	5.6	-	11.1	5.6	5.6	-	-	-
65歳以上の人		392	29.3	27.6	30.1	26.3	18.1	21.2	17.3	12.0	14.3	15.3	12.0	7.4	9.9	8.4	7.4	1.8	5.9
介護を必要とする人		69	23.2	34.8	46.4	15.9	14.5	18.8	14.5	5.8	13.0	7.2	14.5	13.0	14.5	7.2	14.5	2.9	5.8
障害のある人		36	30.6	30.6	41.7	33.3	8.3	19.4	11.1	5.6	8.3	11.1	11.1	2.8	8.3	13.9	30.6	2.8	2.8
いずれもない		492	32.5	29.7	22.6	24.4	24.0	23.0	19.7	14.0	18.7	15.2	13.4	13.2	11.6	6.9	5.7	2.0	1.4
近所付き合い	日頃から助け合っている	127	40.9	25.2	31.5	16.5	17.3	16.5	18.9	11.0	18.9	15.0	10.2	9.4	9.4	8.7	7.1	1.6	6.3
	気の合った人とは仲良くしている	213	35.2	29.6	24.9	25.4	23.9	20.7	21.6	15.0	13.6	18.8	13.1	5.6	6.6	8.0	8.0	1.9	2.3
	たまに立ち話をする程度	283	31.4	27.6	25.8	20.5	23.3	23.7	17.7	14.8	17.0	15.2	10.2	9.9	7.8	6.7	6.7	2.1	5.3
	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	28.9	26.8	21.6	26.2	19.7	21.6	19.9	19.7	18.7	9.4	12.2	15.1	11.5	8.8	5.9	2.5	2.3
	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	22.6	28.6	21.4	23.8	25.0	19.0	27.4	29.8	17.9	7.1	13.1	9.5	13.1	3.6	3.6	2.4	1.2
	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	-	41.7	25.0	16.7	41.7	16.7	-	8.3	-	8.3	33.3	16.7	16.7	8.3	8.3	-	-

## 7 自由回答

### 問 38 暮らしやすい地域づくり、市民と市の協働について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由回答は、19 項目 408 件のご意見が寄せられました。以降、原文のまま掲載します。



#### ◇バリアフリー・安全に関すること（55 件）

- ・今入院中で（初めて）健康のありがたみが身にしみてわかります。年齢を重ねて自分では何でも出来ると無理をすると、その積み重ねでこの様な結果となり年齢相応の事をこれからは気をつけて生活していきたいとつくづく思っています。国分寺の南口の殿ヶ谷戸庭園脇の道（坂道）とても歩きにくく自転車等後から近づいて来ても待つところがないので何か出来ないものかと楽しみに待って居ります。よろしくお願い致します。
- ・街の緑化はよいのですが災害時、交通安全のためにも生垣が路側帯にまではみ出していたり、落ち葉を散らかしている方が多いのですが通りよくするため、市の方から指導して頂けたらと思います。ちなみにご近所は高齢者ばかりです。
- ・小学生中学生の登下校に使用する通学路には必ずガードレールの取り付けをお願いします。
- ・街灯が暗いと感じます。もっと明るい光にしてほしい。
- ・歩道と自転車が危なくない道を増やしてほしいです。
- ・地域がきれいである事が安全な町の第一条件と思います。歩きタバコの禁止、自転車の通行マナーの見直し、後は細くなるので省略します。
- ・引っ越してきて2ヶ月程になります。歩道が狭く感じました。が、道路は整備されている方だと思います。児童の下校時のアナウンスは良いアイデアですね。

- 道が狭い。歩道が本当に狭いので自転車が通ったりすると本当にこわいです。
- 道路（歩道が狭い）を充実させて下さい。
- 福祉サービスもそうですが、子どもの通学路・舗道の整備がまったく行き届いていないと思いました。ガードレールも無いような細い道（交通量が多い）を通らなければいけない子どもや高齢の方が、とても気になります。内藤橋附近などは車もスピードを出しているし、歩行者も多いし、そういう細かい部分の整備の方が重要だと考えます。線路を渡る橋（人が渡るのみのところ）も老朽化していて、お買物カートなどを持ったおばあちゃんとかもすごく大変そうです！
- 安全な歩道の充実（歩道が狭い）、市町村ごとの取り組みでなく近隣との連携や共同事業等も考えるべきではないか？
- ただでさえ狭い歩道を自転車が走っていたり、自転車が横に何台も広がって走っていたりします。2人で並んで歩くことのできない歩道では母子が手をつないで歩くこともできません。道路・歩道の整備が必要だと感じます。
- 私の住居は西町です。並木町、高木町、泉町などすべて自転車を移動手段として使用していますが、自転車が安全に通行できる道が少なく、常に危険を感じています。自転車で安全に移動できればと毎日願っています。
- 自宅から駅の移動くらいの行動範囲のため、あまり分かっていない部分が多いのですが、駅回りの通りは歩道が少なく、歩行者に優しくないとはいけません。開発が始まりましたが、夜はいつも黒い服のお兄さんたちがうろうろしていたのはなんだかなあと。駅前ライブの方々はこれからもいていただきたいです。学生の多い文化的な雰囲気が気に入っています。お店の多さも。市の広報紙のみで情報を得ているので、色々興味は出てきます。これからも頑張ってください。
- 国分寺街道や国分寺駅北口周辺など、歩行者にとって危険な道が多くバリアフリーも遅れています。歩きやすい街づくりを希望します。また駐輪場も増設を希望します。
- 富士本のあたりは道巾が狭く、歩道が充実していない。
- とにかく街路灯が暗すぎる、近隣の市にくらべ暗い。緑が少なく感じるし、市の活気がない。
- 五日市街道の歩道について。電柱、標識等歩道の真ん中に設置していて、通行が困難である。狭い上に歩行しづらく、自転車等のマナーも悪い。子どもや障害者が安心して通行できるよう改善して頂きたい。
- 自転車で移動がしやすい様な道の整備をしてほしいです。
- 他の市から移り住んでいます。好きになり、借家から持家にしました。これから良くしていこうという雰囲気が伝わってきます。北口の開発工事が落ちついたら、更に住みやすくなる事を期待しています。公園が少なく、子どもを育てるには暮らしにくいと感じますが、公共施設のバリアフリー化が進んでおり、高齢者・障害者には住み易く感じます。様々な意見があり、まとめるのは大変な事とは思いますが、宜しくお願い致します。感謝しています。
- JR西国分寺駅で、人身事故で電車が動かなくなった時の誘導體制。国分寺駅と違い、ぶんバス・医療センター・タクシー乗場の表示で毎回バスへの誘導方法がなされていない。警察が来ても理由がわかった時点で帰ってしまい、困っている人への対応など一斉関与しない。府中街道を挟んで、これだけ団地・マンションが建っているのに、買い物をする場所がマイン、レガのみ。災害の際、援助してくれるイトーヨーカドーはなくなり、以後これだけの収容人数がいるのに何も対応しない市長のやり方、市役所のやり方、行政のあり方に大いに不満あり。今後来るであろう地震などへの対応は何も考えられていない責任。今、多くの人が欲しいのはスーパーマーケットを増やしてもらう事であり、備蓄のために買物を他市に行かなければ買えないのは、市の怠慢であると考えます。東日本3.11の後、米、トイレットペーパーなど購入出来なかった現状、現在1家庭8日分は必要。スーパーを増やさないと、それこそ強盗が発生するような不穏な状況になると考えます。
- 国分寺街道など、狭すぎる道路を整備し、歩道の確保、駅前など繁華街、街中での防犯カメラの設置。

- 国分寺街道のゴルフ練習場のあたりの歩道の狭いことは異常である。危険極まる。外側の土地を買い上げて、少しでも広くし、自転車、歩行者が安心して通れるようにしてほしい。JR 国分寺駅北側の整理を早くやって、きれいなものにしてほしい。
- 富士本の道は狭い所が多いです。戸建が多く生垣で緑も多いのですが、公道にはみ出した植木が多いため、車と歩行者・自転車の通行には迷惑です。はみ出した植木の整備がされると安全な道になります。住み良い町づくりのささいな事ですが、是非お願いします。
- 道が狭いので歩きづらい。
- 回りの市の駅周辺はほとんどエスカレーター等で移動できるのに国分寺は北口・南口も階段なので、年齢が上がっていくこの頃は、とても大変で荷物の多い時や雨の時などよく感じる。また、駅周辺は年に何度も木を切るのに公園は後回しにされるため、近隣は秋から冬にかけて葉の掃除を日に何度もしなければいけないので、もっと手入れをして欲しい。
- 歩道が狭く、車イス、ベビーカーなど通れないので困る。
- 一刻も早く国分寺駅北口周辺を整備して貰いたい、夜は暗過ぎる（店が無くなり、照明が無い為）。工事の進捗が遅い。もっとスピードアップすべき。
- 学生が多い町なので、自転車や歩行マナーが悪いことをよく見かけます。高齢者や車椅子の方々にとっては安全とは言えないと思います。道も狭いので様々な危険があると考えられます。再開発によって住みやすくなれば良いですが、駅から離れた狭いバス通りなど改善はされますでしょうか。国分寺市の住みやすいまちづくりに期待します。
- 道路が狭い。
- 街が工事中の所が多く国分寺駅北口等は車も多く道も狭く、歩くのが不安です。小学生も多いのでもう少し自転車等気を付けて頂ければと思います。あとは市役所も親切にして下さいますのでお礼申し上げます。御近所は働いている方が多いのか余りお目にかかる事はございません。
- 転んでケガをしないよう気を付けて歩いておりますが、歩道と車道の境の傾斜が急な所、商店の品が多く出ている所など気になっています。寒い折、ホームレスの人を時折見かけます、気になっていきます。
- 車椅子や買い物カートを利用している方がとても多くなってきました。でも道は段差だらけです。自転車の規制も厳しくなってきたのにもかかわらず、人の歩きにくい道、自転車の走りにくい道が多すぎる。長期に渡る路上生活者の存在に、市の方の対応はどうなっているのかなと思う。
- 高齢者の車の運転がとても危険だと思う。北口開発をうまく進めてほしいです。歩道のない道に人・車・バスがすれちがい、とても恐ろしいです。南口の学生の多さ、マナーの悪さが目につきます。中央線の事故が多すぎて、通勤する人にはたまらないです。
- 歩いていて危険を感じる事が多い。車、自転車、歩行中の携帯電話、自転車の信号無視、右側通行、追い越し時速度を落さず接触ギリギリの通行。路上、及び店舗入口を塞ぐ駐輪等、子どもの頃からきちんと教育して欲しい。乗物内で若い人が年配の方等に席を譲るのをほとんど見ない。
- ベビーカーに配慮したまちづくりをお願い致します（道路、バス等）。
- 安全面を考えた時、道路の整備が暮らしに直結した最大のポイントになると思っています。ところが、整備が行われていない道路が多くあります。年寄りには危険だし快適な生活は望めません。安心して年寄が暮らせるまちづくりは道路の整備からお願いします。それと、自転車の運転マナーの向上施策をどんどん展開して下さい。年寄は自転車マナーの悪さに泣かされています。安心して道路を歩けることを強く望んでいます。
- 私は、小・中と国分寺市立の学校に通っていました。徒歩 25 分かかる中学校の通学路はかなり危なかったです。車の死角になるようなポイントが多いです。そのような道は子どもだけでなく、高齢者にも危ないと思います。ちなみに、中学を卒業して約 10 年ですが、未だに危険なままです。市報はできる限り目を通すようにしていますが、今回質問に答えさせていただいて、自分が思っていたより情報が入っていないなと思いました。戸倉に住んでいますが、便利なもの（夜までやって

いる図書館等)は国分寺駅周辺に集まっており不便です。地域格差を感じる人が多いです。

- 私は 68 才で富士本 2 丁目に住んでおります。夫は糖尿病で出来れば毎日 7 千歩を目標に歩きたいのですが、家を出ると幅の狭い一方通行の道(車は結構スピードを出しています。)を歩いて市役所通りにぶつかります。その道も街路樹による日影も無いベンチも無い、とても散歩したいような道ではありません。年寄りが散歩しやすいような道を何とかありませんでしょうか!
- 国分寺市に在住する者が等しく、住みやすい環境を求めています。今時、側溝のない道路で水たまりだらけです。福祉の前に住みやすい地域づくりを目指してほしいと思います。自治会でご活躍の方の家の前だけは側溝完備しています。
- 自転車の信号無視・逆走が多く歩道を歩いていても危険を感じる。監視カメラの設置、交通の取締・見回りなどしてほしい。
- 道が狭いし、車と自転車の接触事故防止対策をお願いしたい。
- 道路が狭く、アスファルトがでこぼこで補修すらしていない。
- 国分寺市内は道路が歩行者にとって非常に不親切だと思います。
- 通学路の整備(道が狭くて危険を感じます)。
- 住宅街の中に年寄り等がくつろげる公園がない。駅北側の商店街通りは歩道が狭くバス、自転車、人が混在していてとても危険である。
- 東恋ヶ窪では西武線 2 線との立体交差工事が保留されていますが、ここを直進で通過する車のことより、地域内の住民が移動や安全面でストレスを感じることをない設計になるよう、市の担当の方には今一度設計図を見直して頂きたいと強く思います。
- 国分寺は道路が狭いとか歩道がきちんとしていない事がストレスになっています。危険な場所が多く安心して生活できない。
- 道路の整備。
- 国分寺市、緑が少なく道路が狭すぎると感じます。車・自転車の交通量が多く安心して歩行できません。夜は、街灯が少なく暗く治安が悪いと感じます。
- 駅や街中でバリアフリーはまだ不十分であると思われる。改善して高齢者、障害者の方々に住みやすいまちづくりをしてほしい。
- 歩道が狭く、その上坂道が多く凸凹道で年寄りには買物しづらい。
- 府中と比べて国分寺市は道路(歩道も含めて)が狭すぎる。道路整備を望みたい。
- 子ども見守りを兼ねて散歩を下校に合わせている(3時ごろ~4時)が、1:30の放送を3:00ごろに遅らせた方が現実的だと思います(ここに書く内容でなかったらごめんなさい)。

#### ◇ 行政に関すること (52 件)

- 財政再建を早急に実施すること。パートに切り換えるだけでなく職員達の給与を下げるべきである。
- 市のメインとなる市役所建替えがなぜできないのでしょうか。早急な新市庁舎建替えを望みます。
- せっかく費用を出してこのようなアンケートを行なっている以上、最大限有意義に市民のこの声を大事にして、これからの福祉行政の参考にしてほしいです。
- このアンケートの質問にとまどいを感じた。地域福祉に関する質問を突然されても分からない、答えにくい点が多い。障害者も病気によるもの場合は、通院する病院ばかりでなく、相談できる場所が必要。ガンや糖尿病の治療も必要だが、患者の家族へのケア(患者をかかえた家族への支援)が必要と思う。高福祉高負担の原理から言うなら、中途半端な素人集団(NPO)をつくり公的補助(税金)のバラまき、エサやりにならずにすむ方法を検討すべき。プロを育てるべきだ。
- 市民の生の声を直接多く聞いていただき、文章化するだけでなく実際に動いてほしい。行政の力でなければ出来ない事があります。
- 小学校から高校まで市内に住み大学生になって転居。横浜市、八王子市、練馬区と市外に住んで感

じたが、行政サービスが不十分なところと財源がないところで半ば仕方ないかと感じている。

- 国分寺市役所に何度か行きますが、その度に一部の職員の方の態度が気になります。私達はわからないので聞くのに、怒られているような態度・言葉には憤慨致します。市役所の職員は、国分寺市の顔ですので、市民には親切であってほしいと願います。
- 長らく国分寺に住んでいますが、今回のアンケートに参加して貴市の地域福祉政策、又地域福祉に関係する公的施設がこんなにもある事を知りました。歳はとりましたが時間を見いだし少しでも知識になるよう勉強したいと思っています。
- 緑があって、空気や水が綺麗で、子どもや高齢者の方が住みやすい、子育てのしやすい、そして若者が自分の街を自慢に思うような、環境や人に優しい生き活きとした地域づくりをお願いします。
- 福祉を最優先する市政にしてほしい。
- 国分寺市は新しく外から来た人々に対し、閉鎖的です。地主や商店主などは、若い世代に対応できていません。市は新しい住民たちを中心にやっていかないと、市民からはそっぽを向かれるでしょう。web を活用し、広く浅く協力を呼びかけ、1人1人の負担は軽いが人数を多くして、「いつものメンバー」にならないようにしてください。
- 国分寺市には誰でも気軽に利用出来るスポーツ施設が少ないと思う。若い人、中高年、高齢者誰でもが安価で自由に利用出来る施設がほしいと思う！
- 国分寺市の市民意識は低いと思いますが、行政サービスの質が低く、費用対効果を発揮していません。多摩自治体の中で1人前の給料水準にしているのですから、もっと職員1人ひとりが地域を回り、きめの細かいサービスを心掛けるべきです。市役所の存在感が無さ過ぎです。井澤市長にゼロベースでの市役所改革を望みます。連続して決算不認定、職員の低レベル恥ずかしいです！
- 国立駅を利用しています。国分寺市民だと感じるのはごみに関する事だけかもしれませんが。市役所・図書館始め行政サービスを受けるのが不便だと感じます。JR国立駅高架下の分室利用等で、住みたいまちに変わるでしょうか？住居は利便性が高く良い立地だと思っておりますが、府中市や武蔵野市等の公共施設の充実と市民満足度の高さを感じます（国立市も決して良いとは思っておりません）。“国分寺市民で良かった”と思うことが行政を身近に感じ、参加意欲を感じる第一歩だと思います。
- この様なアンケートを取るよりも、具体的な施策を提示して市民に選んでもらうとかで税金を使用した方が、良いのではないのでしょうか。誰だって税金の負担は軽く、充実した福祉を望んでいるのですから、アンケートをとるまでもないのではないですか。その為には、ボランティアやNPO活動を利用するのは当然の事のように思いますが。
- 各家庭で隣近所に感心を持ち交流を深めて行き、不信な時は公共機関に連絡する。家族や本人の希望により定期的に安全確認の電話をして頂く。近所に空き家があり、持ち主の方に直接話すこともできず、処分するなり借家にするなりの話はできないのでしょうか？定期的に清掃したり家の中も点検して頂きたいです。
- 暮らしやすい市、文教都市としても国分寺に望む事。武蔵境の駅前にある「武蔵野プレイス」の自習室のようなものが有料でも良いのであると良いと思います。学生の勉強の場が少し不足している様に思います。
- 以前、子育ての事で相談に行ったところ頭ごなしに怒られました。担当の方は男尊女卑で、男をたてると盛んに言いました。若い担当の方は、その方の顔色を伺いながら意見を合わせ、本当に悲しい思いがしました。それ以来相談をする気持ちになれず、今に至ります。できるだけ自分で解決するよう努めていますが、職員の方の教育も力を入れて下さい。
- 地域ごとに市役所職員の担当者を設置して欲しい。特に、地域で問題が発生した場合、地域を熟知した行政の力が適切な対応が出来ると思う。また、町内の新旧交代の役員は、とくに安心して担当者に聞きながら活動が出来ると思うので、宜しく御願います。
- 国分寺市には住民税をけっこう払っています。市民のために福祉の充実を市として真剣に考えてほ

しいです。地域の巡回バスなど、まだ無い所へ路線を増やしたり保育園を増やしたり、学校を改修して安全にしたりすることについて市民の声をよく聞いてください。よろしくお願いします。

- 行政では日頃地域の重要性を訴えているが、行政と地域の話し合いが「おざなり」または「その場限り」の対応が目につく。
- 市役所等における福祉施策推進担当のなお一層の施策充実の推進に期待します。
- 図書館の充実を凶って欲しい。他の市に比べて、新聞の書評欄で紹介された本でもないものが多い。北口駅前の開発も良いが、時間がかかりすぎ、かつ仮に開発が完成しても北口のバス通りは歩道が一部しかできないわけで、都市計画として極めて不十分。車優先でなく先ず歩行者を大事にした街作りが必要。他の地域から来た人が街歩きをしたくなるような面としての街作りこそ大事なのではないか。例えば「おたかの道」周辺をさらに拡充整備するなど、一層の努力を希望します。
- 行政と市民の信頼関係をより良く築き上げること。今の自民党のようでは困ります。
- このアンケートが、本当に意味があるものなのか疑問に思います。国分寺は運営が下手くそな感じがします。地域づくりも大切ですが、ちゃんと市役所をつくってほしいです。
- 意見ではありませんが、国分寺福祉に日頃大変お世話になり、ありがたく感謝いたしております。私は病後、皆様の手助けがなかったら暮らせなかったと思います。ありがとうございました。
- 市報をほとんど読まずに捨てている。ほとんどというか、まったく読んでない。欲しい人だけもらえるようにすればいいと思う。もったいないと思う。
- 会社員で平日は夕方まで不在です。行政の窓口や様々なイベント等、平日ばかりでは全く利用できません。共働き家庭のことを考えた行政、制度、イベント等、今後もっと検討ください。
- 市民が自由に時間を過ごすスペースが少ないと思う。公園、公民館、図書館、児童館（本多は特にかわいそうです）の施設の充実化を望みます。アメリカに住んでいた時は、子どもも大人も若者も、上手に町の施設（上質な）を利用し、良い時間を過ごしていました。特に学生が学習したり、お茶したり、友と過ごす場所が無いように思います。本多公民館はソファや机、椅子等の設置が必要です。センス良い空間を市民のために考えてください。
- ペットボトルの回収を復活させてほしい。とても不便で困ります。西国分寺駅南口の雨の日の水溜まりを何とかしてほしい（駅の敷地と茶月の間のあたり）。府中街道から西国分寺駅南口へ向かう坂道について、一昨年の雪の日、除雪されておらず（除雪剤未使用？）困った。昨年（今年年初？）は除雪できていて大変助かった。雪の予報が出たら、駅前位は対応していただけるとありがたい。
- 国分寺駅北口再開発の件ですが、今やっと工事が始まった様ですが、前市長は今まで何をしていたのでしょうか？これだけは言いたい。
- これ以上巨大なマンションは増やさないで下さい。不必要に自然をなくしてしまったりせずに、子どもの遊び場、犬の散歩するところなど、生活の中に必要な「余分」なスペースを私達に残して下さい。本当にお願ひします。
- 「協働」をうたうのは簡単ですが、実践するのは非常に難しいことだと思う。地域関係が希薄な現代においては行政の役割が重要だと思う。今回の計画も策定して終わりではなく、実際に生かしてってもらえることを期待している。
- 市民は行政に依存し過ぎない。行政側は市民に遠慮し過ぎない。法律・条例にない、または低触するなどして余り関わりを持たなくなる傾向（いずこも）があるも、市民間の摩擦を調整するのが行政、つまり市や警察の役割。例えば「ゴミ屋敷問題」があれば財産権・所有権の問題があるものの、持主不明または連絡先も不明（or 死亡）などは現実的対応を取るなど、積極的な介入を依頼したい。
- 本アンケートの必要意義を認めない。本来、福祉や地域づくりなどの住民サービスは公僕たる行政が何にも優先して行うべき事案であり、まずは行政の「心得違い」について猛省を求める。本アンケートは、住民のボランティア活動や助け合い活動が「あって当然」「あったほうがいいに決まっている」という前提から作成されているが、それは行政の許しがたい職責放棄に他ならない。また、誘導尋問的設問を積みかけ住民にボランティア活動や助け合い活動への不参加に対する罪の意識を

植えつける事で、自らの怠慢を糊塗しようとする思惑が明瞭に透けて見える。きわめて卑劣なやり口である。恐らく行政サイドは財源不足を理由にあげるだろうが、文化財たる街並を破壊してまで強行した例の駅前再開発など行わなければ、どれほど福祉に資金を回せたか。さらに、本アンケートもまた税金の無駄遣いであり、かかる愚劣な行為は一刻も早くやめていただきたい。国分寺の地を心より愛するがゆえに、為政者各位の“利権がらみの土建屋行政”センスと“昭和バブル”頭には、かねてよりあきれ返っている次第である。

- 国分寺全体の行政側の対応がよく市民に伝わっていない。市役所も分散しているし、郵便局も中央線から遠く駅前（国分寺、西国分寺）から徒歩で利用できるような、もっと出張所としても広くて図書館兼用の様なところを作って下さらないと、仕事を市外に持っている人にとって利用しにくいと思う。
- 市民と市が話す場所が少ないので多くしてほしい。高齢社会のため。
- 市の運営で理想とするのは長野県川上村のような閉鎖的なエリアにおいても機能する強い産業がある事と考えます。所得 up→税収 up→ハード面の強化（福祉の強化）。市政に関わる人が市民と同じ価値観や危機感を持っていないと出来上がるものが世間からズレてしまうので、そこをチェックする事も大切だと思います。市民の中から 3,000 人のひとりとして選んで頂きましたありがとうございました。が、時間を割いてご協力させて頂くのは骨の折れるボリュームです。
- この種のアンケートは当市においては初めてのことでありと思います。この調査によって今後の対策を考えて頂ければ幸いです。
- 人によって、このテーマに対しての回答は異なると思いますので、こういったヒアリング作業が、ますます頻繁にされる事を望みます。（西）恋ヶ窪周辺は大好きな場所ですので、良い意味であまり開発開発とならない事も望みます。
- 市民が集い相談や集会ができる場所（公民館、公会堂）がいずれも古く、集いたい気分にならない。何とかならないか。行政の縦割による無駄がないか。
- 福祉、保険、施策の充実に、10年、20年後の財源確保が問題になるとは思いますか？
- 福祉関連施策について市として今後4年以内にやりたい事、（理想論・現実論と区分けして）市民に問いかけて見たらどうか。一般に“官”的には、～がないと言う事で日の目を見ない施策が多々あると思われる。（～がない）を列記して市民に問いかけて、もし障害になっている点があれば、共同で打開策を計るのも一つの方法だと思うが。
- 福祉予算を特定の年代に偏らず分配して欲しい。
- 国分寺市内は事件・事故が大変少ない良い所ですが、最近都内で刃物を振り回す馬鹿者が多くなった。その悪者や、それを真似する者が増すことを未然に防ぐ為、国分寺警察を設立する必要がある。小金井警察だけでは無理でしょう。また東京直下型地震に備することも必要でしょう。国立と共同で警察署を設立する。
- 国分寺市は周囲の市と比較してこれといって特徴のない平凡な市になっていると思われます。隣接する府中市や立川市の方が活気があり、買い物もそちらへ行く事が多いです。将来へ向け独自のプランを作っていくか、府中や立川と合併するかが良いのではないのでしょうか、市長は企業勤務の経験があるという事ですが、その経験を生かしてほしい。
- 国分寺市の福祉の充実にし主旨を知らせる。健康的な福祉、予防対策、市民ボランティアを積極的に対応しては如何。一人一役運動は如何。
- もっと役所勤務の方が外にでて自分の目でみて行動してみると、何が有益で何が無益かわかると思っています。
- 駅前にタワーマンション必要なのか？市役所、公民館、図書等見直して欲しい。
- 真剣に他市に移る事を検討している。市の対応には愛想が尽きた。
- 現在は団地の自治会としての協力はあるけれど、直接市の人（役人と）接する機会はない。市は事務的な事に関してしか関わっていない気がする。



- ・小学校へ通う孫がいますが、登下校時の安全を考えると、なるべく近くの学校を選択できればと。市と市の境目の地域に住んでいると、どうしても隣市の方が近いのに、わざわざ遠い学校へと通わなければならない、安全面ではとても気になります。他市との連携も必要ではないでしょうか。

#### ◇市民活動に関すること (50件)

- ・町会が高齢化で班の中で活動できる人が3分の1、4分の1になってしまい、同じ人がいつも役をしなくてはいけない状態。市がまずありきの考えでなく、市民（弱者を特に念頭に）あっての市、職員という考えを基に考え、進めて欲しい。個人として近所のお年寄りや子育て中になかなか関われないので市や社協から地域の手伝える人に伝えお伝いできるシステムがあれば。
- ・かゆいところに手が届く支援体制づくり。高齢者や子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり。いつまでもこの地域（国分寺）での生活を楽しくてもらえるようなネットワークづくりを期待しています。互いのレベルを共有して、ケースバイケース（細分化して）対応を！眠っている人間の力も多に活用していけたら。
- ・国分寺市に定住して長くなりますが、退職してみても市のことは知らないことばかりで過ぎてしまいました。年を重ね体力も落ち、入院した後できるだけ自力で生活したいと思い福祉センターをたずねて地域に地域センターのあることを知りました。地域センターで地域での現在の活動の様子を細かく具体的に説明を受けて参加することができるようになりました。できるだけ自立して生きて行こうとする者にとって地域センターの活動は大きな支える力になります。地域センターの活動を、より充実させていただきたいと願っております。
- ・71才の父、67才の母と同居。二人共それぞれボランティア活動をしているが、私は会社員で市の活動等は全く参加していない。時間的に難しいのが現状である。
- ・ボランティア等したいが、どうしたら良いかわからない。
- ・働いている人も参加しやすいコミュニティ活動があると、もっと地域の人とつながりやすい。住民対象のクラブ活動は、ほとんど平日なので参加できない。
- ・市民が自主的に、誰がみても良い活動（無色透明財政負担もない）をする時に特定の市議や、時には担当職員が面倒にならないよう、あるいは変な衝動でチェックをかけすぎることがあり、市がネックになって発展しないことがあった。
- ・自分もいつそうなるかわからないということもあり、可能な範囲で協力したいと考える若い層は多いと思う。が、何かボランティアを行うにあたって、何か制度に加入したり、“毎週×××で1時間拘束される”といった義務を感じるが多かった。「協力する」事のハードルを下げて欲しいなと思う。
- ・若い力をもっと利用するべきだと思います。
- ・町にもっと沢山のボランティアなり、御世話する方がいたらいいのと思います。身近に軽い気持ちで、お話（相談）できたらと思いますが、なかなか難しいですね。
- ・高齢者（元気で意欲的な）パワーの組織的（誰が、誰に、どのように）、定期的（負担にならぬ程度）に活用（活性化）していくようなことは出来ないだろうか。
- ・日吉町に住んで9年になります。あっという間に高齢者となり、いまのところ自営業で二人とも仕事についていますが、明日にでも地域の方々にお世話になるかもしれないという不安があります。ここに住み、ずっと仕事の毎日でボランティアも気持はあっても活動はしていません。これから役に立つことがあればと考える日々ですが。お休みの日に他の人と話し合える場所として公園がほしいと思いつつ働きかけはしていません。やはり身近にそんな場所が必要に思いますが（交流の場所）。
- ・都内の下町育ちで国分寺に越して45年位ですが下町では隣近所の付き合いはとても親密でした。こちらに越して来ると隣近所は踏み込ませない雰囲気強く、どの程度助けが必要かわからず困ります。困った時はできるだけ助けたい気持ちはありますが、市役所をお願いする事も大事になりそ

うですが、もっと気楽に話せる場が欲しいと思います。一人暮らしの方にもどの程度関わってよいかと悩みます。相手方のプライドもあると思いますので。

- 事の大小を問わず、助けを必要としている人は案外多いのではないのでしょうか？また、長時間は無理でも、少しの時間ならお伝い出来る状態にある人も、たくさん居ると思います。そんな受給の橋渡しをするシステム作りがあっても良いと思います。その際は無償ではなく、格安な料金設定が望ましいと思います。一年のうち数日なら、誰かの手助けをしても良いかな、くらいの考えを持っている人は、結構いるのでは？
- ご近所で助け合って、というのが理想ですが、あまり介入しすぎてはとってしまいます。が、気になるので声かけならと心がけています。きめ細かな福祉が充実していると安心ですが、具体的にはわかりません。我々団塊世代が大量に老人になり、介護する人たちに負担が多くなります。老人同士が互いに助け合っていくのがいいのでしょうか。健康で、地域の方と交流して、互いに助け合えるように、日頃の生活を考えていきたい。
- 地域づくりは住民が主体的に考えることですが、行政がリーダーシップを取ることが要だと思います。そのためのノウハウ（アドバイス）を待つ市民は大勢いますよ。
- 支援活動には適性、能力が問題になる。検定、訓練制度を整備、人材を育てる。その結果を適材適所に心掛ける。また個人でなくチームで活動するシステムとし、支援を受ける側も自宅から出て集まれる場所を近くに設けることで、特異な状況にも対応できるのではないか。
- そろそろ会社もリタイア時期が近づき、時間の余裕がでてきます。福祉の大切さはわかりますが、サービスレベルについてのコンセンサスがなないと思います。このコンセンサスと財政支出、ボランティア、民間の活用などを同時に議論し、国分寺市にふさわしい福祉ができあがれば良いと思います。この町に引っ越してから 20 年以上になりますが、緑が多く繁華街が少なく、住みやすい街だと思います。この地にふさわしい市民参加の福祉が定着すれば良いと思います。
- 市民は、自分の家族のことで精一杯のケースもあり、福祉の充実を市民のボランティア精神のみに頼るのは、疑問がある。行政の働きかけには、できるだけ応えたい。
- 熊野神社の裏に自治会館がありますが、もっと人が出入りしやすい所で、自由に集まり出入りし、本なども子どもが見られるような所（集会所）を作って欲しい。その場所を中心に講座（防災、防犯、育児、介護、栄養、体操など）を持ち、自治会と民生委員、PTAなどの組織の方々が集り相談して運営して行けると良いと思うが、この地域は個々バラバラに活動している様子ですが？武蔵野市のコミュニティセンターづくりに長くかかわって来たので感想。ここねっとと老人会の日が重なる等、せっかくの企画が残念に思いました。敬老会も4・5・6丁目一緒にすれば経費も削減し、手間も省けると思いますが。
- リタイヤし、地域に戻った方々が望むなら、仕事として週2〜3日でも地域の福祉等の仕事に少しずつ関わってもらい、働いてもらう。動けなくなったらお世話になる。いつか自分がお世話になる場所だと思うと、改善点もわかるし、お世話する人とも年も近いから分かりあえる。誰かの役に立てる場所を作る。孤独感を与えない。通う場所を作ると、ちょっと顔を見せないと職場の人が気付く。退職→地域（市）で働く（市を知る）（週2〜3、半日ずつとか）（介護、レク、ワークショップ、食事作る、植木、送迎、しせつ運営、講座、サークル運営、配布）→生きがい、やりがいを見つける事で、心身の健康を長く保てる→動けなくなったらお世話になる。
- 市民の生活に根ざした市民と市のコミュニケーションがなせる場の充実化、専門家と市の協働。
- 今後の財政状況を考えれば、福祉に回す支出はどうしても限界がある。それを地域の自主的な活動で補う必要がある。単なるタレ流しの財政支出ではなく、市民との協働で限られた予算で福祉力のアップを図る知恵を出して欲しい。ポイントはいかに市民に自助努力を促すかである。
- 学童や若い人たちを巻き込むような活動があまり見られないように思います。明るく、健康な街づくりに継げられればと思います。
- 行政にもっと市民が参加できれば良いと思う。現状でも一部かなり努力していられるのはある程度

知っているが、もう少し目立つPRや、思わず参加したくなるワクワク感をかもしだすために、自由な発想で工夫していただきたい。財政難なのはわかるが、そのために福祉が後退することのないよう、知恵を絞りたいところ。一部の参加者に負担がかかっている感じもするので、気軽に参加したりやめたりできる雰囲気も大切だと思う。

- 地域福祉については、自治体が行う諸施策とともに、市民間の自主的相互協力が不可欠である。それが為には、自治体としては、市民活動（自治会、町内会、ボランティア等）の活動を事例に具体的に種々媒体を通して、広く知らしめて市民間の理解を深め、地域福祉活動への参加を促すことが必要と考える。
- 助けを求める人はまだ大丈夫。孤立してしまう人を拾うには、こちらから積極的に働きかけなくてはいけない。こまめに見守れる人々が必要だが、経験とやはり資金は必要だ。ボランティアに頼るなら、人材の育成が必要。
- すみません、特にありませんが、自分の体が動く間はボランティア活動に参加したい気持ちがあります。
- 経済的に時間をボランティアに使えないが、気持ちはある人も居るはず。メンバー登録の上、何かの活動に主体的に取りくんでもらいたいボランティア的な時給を出したら潜在的な人員を発掘できるのでは（1年毎の更新）（個人情報取扱いは十分注意の上で）。核家族で遠方に親がいる場合、呼び寄せた場合に国分寺市内の福祉をどう活用できるのか、施設の料金体系を比較できたら数年後を考えられるのですが。
- 国分寺はここねっとなど地域が交流できるような機会を設けていると思うが、それに参加するかどうかは個人の自由なので、強制参加させない、今のレベルがよいと思う。
- 「暮らしやすい地域づくり」に出来る事があれば参加させていただきたいと思います。「子どもの見守り」について、やはり“知らない人”から「おはよう」と挨拶されても、身構えてしまうようです。難しいですね。
- まず早く駅前を作ってほしい。暮らしやすい町にするにはとても難しいまちですが、少しずついいので変わってほしい。公園の少ないこと、遊べる場所が少ない、段差のないまちに。目の不自由な方へのたすけ合い、地域は頑張っています。若い方への受け継ぎができていない→参加をしてほしい。
- 高齢者が増えますね。私も65才にもうすぐなりますが社会のお荷物にはなりたくありません。それどころか少しは役に立ちたいです。ボランティアでは、張りが無いのです。楽しくお仕事をしても少しでも給料をもらいたいです。それが活力の源点です、「がめつい」ではありません、一人前に扱ってほしいのです、人間として、高齢者でも！
- 地域センター、コミセンなどでの施設使用は現在のように、使用料無料を持続致していただきたい。
- 子どもでもお年寄りでも、いつでも立ち寄れる安心できる場があると良いと思います。雨の日、子どもは遊び場がなく、福祉会館に立ち寄っている様子も見られます。子どもとお年寄りが同じ部屋でくつろぐのも良いと思います。場の提供はないのでしょうか。
- 市民の活動を何もかも法人化（NPOなど）せずに、市との協働という型で活動続けていくのもありと考える。NPOが多くても内容がいまひとつと思えるし、似たりよったりのNPOも多いと考える。高齢化時代である。元気な高齢者が気軽に行ける場所があり、弱い高齢者をサポートする体制づくりが必要であると考えます。
- 市内の空き家や空き店舗を改装して、子どもから高齢者までが自由に出入りできるような場所を作ってほしい。誰でも利用できるサービスみたいな所。
- 今のところ、フルに仕事をしていますが、なるべく自由な時間があったらボランティアに参加したいと思う。
- 働いていると、住んでいる町にいる時間がそもそも少ないので、地域活動には参加しづらい。しかし保育園等、市の補助がなければ、働き続けることも難しい。市だけではなかなか改善しづらいら

イフスタイルの問題だと感じている。

- 地域活動やボランティア活動は、さあやるぞ！と力を入れてやるもののように思ってしまうところがあります。抽象的な表現ですが、スッと参加出来る、おもしろい要素を少し加えつつ数多く提案していくしかないのではないかと思います。生活の一部というような当り前にあるといった感じに思えるよう、考えていくのが良いのではないかと思います。
- 常勤で仕事をしていると、子の PTA 活動もままなりません。常勤で働いていても、できるような地域での活動のしくみづくり、また地域の活動に参加できるような勤務先の配慮（社会としての制度）が共に必要と思います。それがなければ、主婦や定年退職した人だけが出来る、地域活動のままだと思います。
- 今は、夫婦二人のため共稼ぎで、活動に参加する機会がありません。これから、少しずつ情報を得て、参加する機会を増やして、より良い地域づくりをしていきたいと思います。
- 土・日に参加しやすい地域のイベントが活発になると、住民同士のコミュニケーションが深まると思います。
- 50代40代でも参加できる活動があったらいいですね。
- 国立市で行っているゴルフ大会等開催したらどうか（気軽に参加出来る大会）。
- 確実に超高齢化社会を迎える、その高齢者が少しでも自立して他に迷惑にならぬように考える。一日でも多く社会のため、他人のためになる行動がとれる様に、活動の場を用意する。
- おまつりなどのイベントを通して市の職員の方と話をしたり、公民館をもっと使いやすしたり、少しでも関わりができる環境を整えることが大事なのではないかと思います。個人的には、自分のやっている活動（演劇）を通して、何か交流が生まれるのもありなのかなと考えます。
- 土日など、“1日ボランティア”のような気楽に参加できることがあれば、やってみたいです。国分寺市以外で働いている人は多いと思うので、そういった人達は市が何に力を入れているのか知らないのでは？私を含めて。
- 何でも役所はある物を活用すると言う事を考えてほしい。例えば空き教室など。
- 定年後の男性で、もっと地域に関わりたいたいと思っている人が多い。

#### ◇地域に関すること（41件）

- 各家族が近隣との交流。
- 国分寺まつりなどのイベントは地域の交流が深まるので継続、拡大していただきたい。あとせっかく税金を使って作った「ホッチ」にはもっとPR活動などががんばってほしい。
- 祭り事の増加。
- マンション暮らしで近所づきあいはほとんどありませんが、仕事をやめた時のことを考えて近所で集える場所、話し相手など作っておきたいと思っています。
- 福祉という言葉で敬遠してしまいがちです。日頃地域の交流ができていれば、自然と助け合う地域が生まれると思います。子どもがいれば、自治会や子どもを通しての交流が生まれますが、そうでない人達の多い国分寺市では、どうしても孤立してしまいがちです。学生も多いので、そういった交流を嫌がる人も多いでしょう。
- 最近住みだしたので、地域のことは良く判らない。
- 機会があれば地域の活動に参加したり、交流を増やしたりしたいとは考えていますが、なかなか踏み出せません。
- 引越しを予定しているので、あまり積極的な回答にはなりません。幸いにも、大家さんが熱心に声をかけて下さる方なので、多少人間関係がある感じです（異世代との）。
- 本人85才、妻83才。現在は健康であるが、1回/月位は声をかけて訪問を希望しています。
- 国分寺に10年位住んでいますが、ずっと賃貸住宅に住んでいる為か、自治会や町内会の活動は、

全く分かりません。子どもの学校を通してのみ、地域と関わっていると感じます。子どものいない世帯で賃貸住宅暮らしの方は、地域と関わりようがないのではないのでしょうか？

- 転居後、3ヶ月と少しでしたので「わからない」部分が多く、アンケートとして不十分だったかも知れませんが、最終的には個人間のコミュニケーション強化だと感じています。
- 当市は外部からの転入者も多く、人間関係が疎遠で挨拶もしない人が近隣者でも居る。福祉、災害と言ってもこのような人間関係を解消しないことには、スタート出来ない。情報提供にも工夫が必要では！
- 国分寺に越して来て20年になります。その間子育て等で地域自治会等に入ってもいなかったので、ようやく主人も定年になり、あたりを見回すと隣近所の人も入替り、顔も知らない人が増え、これではと3年前より自治会に入りました。自治会の集まり等で少しか国分寺を知り、地域の人の言葉を変え様になりましたが、もう少し広がりがあったらと思います。
- 西町は町内会・自治会が分断されており、連携もなく活動が無い。以前は高木町に住んでおり、今も高木町が近いので高木町の地域活動には参加したいが、町が違って町内会費も払っていないので参加し辛い。西町の三中裏自治会には、意識の高い住民も居るが、自治会長は当番制で平等意識の下で意識の高い人が埋もれてしまう。意識の高い人を識別し（面倒で何もやろうとしない人とも口うるさく干渉する人とも別）、重用する仕組みが必要。
- 私の暮らしている場所は賃貸マンションで自治会活動がありませんが、長く住んでいる方々とは親しくお話しも出来ますし、相談にのって下さる方もいらっしゃいます。生活においてはほとんど市役所や福祉サービスセンターに電話をして、いろいろお聞きして対応しています。窓口の方々が頼りですが。
- 町内会に入っていますが、もう少し現状にあった組織にしたらどうかと思います。旧態依然としているので、区域を分割して情報を密にするなど。
- 昔と違い近所づきあいが少ないと思います。また地域での行事を考えてほしい。
- 別に意見はありませんが、健康づくりには地域の人々と支え合って交流して行きたいです。防犯、防災には特に地域の絆を促進する必要があるかと思います。
- 町内会単位に、気軽に参加できるサロンがあると良いと思います。
- 子どもができたことで考えが変わり、311以降さらに考えが変わりました。“コミュニティの大切さ”失礼な言い方かもしれませんが、東北の人たちだからこそ、助け合っていた気がします。東京だったら避難所で助け合いができるのだろうか？それには日頃からの近所付き合いが絶対必要だと思います。子を持つ家族、高齢者、夫婦のみと家族構成が同じ同士だけではなく、皆が仲良くではなく、あいさつできる関係になればいいなと。
- 私共の町会は、会長さんをはじめみなさま老人会が行き届いて安心して暮らして居ります。運動をしたり、集まりがあり住よい町会です。皆様に感謝しながら生活して居ります。
- 現在、仕事をしている（共働き）のため留守が多いのですが、ご近所の方が子どもにも良く声をかけて下さっているため、安心して生活しています。鍵を忘れて中に入れない子どもを向かいのおうちに入れて待っていて下さったこともありました。結婚してから転居してきましたが気に入っています。
- 普段仕事が忙しく、1人暮らしなので地域社会と接点が全くありません。なので、災害等があった時どうしたらよいか分からなく不安です。
- 福祉保健施策が余り伝わっていない様子です。地域の連絡が疎遠になっている様に思います。
- 北町の周辺は、新住民（昭和40～50年代以後に住みついた人）と、それ以前から住んでいた人（主に農家）との交流が少ない。以前に環境活動で、農協の事務局を訪ねた事があるが職員の態度が全くよそ者扱いであった。現在もこういった状況は見られると思う。国分寺市全体から受ける後進性は、根っこはこの辺りにある。若い農家の後継ぎが新しい事に挑戦した、新住民との交流が広がってゆくことが、街の活性化を促すと思う。

- 皆が何とかしたいと考えていると思いますが、どうすればよいかわからない、と言うのが現状かと思えます。自治会も、何となく存在しているだけなので、もっとふみこんだ活動ができれば、と思います。
- 地方在住の方と異なり、都市の住人は隣人とは無縁関係の生活をしている。ボランティアの限界があり、公の関与が必要と思えます。
- 地域住民との交流が最も必要だと思えます。現在老人会に加入しており、その方面でよい情報を得ています。
- 最近、近所づきあいや町会などの人との関わりがなくなりつつあるので、そういう防災等福祉の充実をはかるのなら、市でも積極的に関わってほしい。
- 地域住民の把握が重要だと思えます。
- マンションに高齢者の一人暮らしの方が多く、地域の支え合いの仕組みを充実させて皆さんで見守っていけるとよいと思えます。
- 出来れば近所の人と助け合いをもっともっと、気楽にと思っています。
- 国分寺市が是非福祉の充実した、人と人につながっている市になって欲しいと考えます。
- マンションの住民は、地域の活動とはあまりつながっていないような気がする。私には家族が居ないのでそう思うのでしょうか。
- 地方出身者なので、正直言うと地域にどのように接したら良いのか、わかりません。自分の子どもが幼稚園に居た頃は、子どもを通じて交流はあったが、現在はまったくありません。人と人の交流しやすい環境を整えることが暮らしやすい地域と思えます。
- コミュニケーション不足、地域の住民の間の交流が不十分、何かよい方法はないのでしょうか。以前からの住民の排他性に驚く事もある。仲良く暮らせるまちになるように希望する。
- 4年前に国立から越してきましたが、小学校のPTA や子どもの運動部（サッカー）を通じ、私も主人もすぐに地域の一員としてなじむ事が出来ました。1小はサッカーを通じてパパコーチ OB や卒業生などに関わる事ができ、お祭りも毎年楽しみにしています。
- 自治会に加入する家庭も減り、近所との近き合いも減っており、これからは個々と行政との関わりが強くなるのではないかと。
- 福祉もとても大切だと思えますが、お金をかければいいのですか？ほかに方法はあると思えます。良く考えて、本当に必要なものに目を向けて下さい。市民の税金を無駄にしてほしくないです（必要でないものに税金が使われていることが多々あると思えます）。
- 誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち健康に暮らし、安心して生活ができるようにしてもらいたい。
- 子どもが小学生の時、親の協力体制が密であったのが中学・高校と進むにつれて希薄になっている。コミュニティとしての単位が小学校区くらいで支え合う位が丁度良いのではないかと。

#### ◇情報に関すること（29件）

- 地域のイベントに参加したいこともあったが（消防なども）、回覧の内容ではどこにどう参加意志を伝えればいいのか分からず、問合せは面倒で結局そのまま不参加。一目でみて、参加の流れが分かればよいなと思いました。
- 今回のアンケートで、福祉に関してたくさんの団体があること、もしかしたら自分のような人間も福祉に協力できるのかもということを知ることができ、アンケート自体がPRになりました。これからは市報や福祉のチラシをよく読もうと思います。
- 行政に対しては、市民が助け合える「しくみづくり」や多くのチャンネルでの情報発信を期待します。
- ボランティアなどに参加したい気持ちはあっても平日の日中は勤めに出ているので、どのような活

動をすればよいのかよくわからない状況です。

- 巡回の回数を増やすこと。どのような公的サービスが福祉の面であるか PR を積極的に行うべきだ。
- 日々の仕事に追われ、福祉サービスやボランティアの情報収集やそれらについて考える機会も持っていない感でした。今困っていることがないため無関心でいましたが、災害時や家族の介護などが発生した時に確かに必要なことであり、今回のアンケートは考えるいいきっかけだったと思います。ありがとうございました。今後もこのような発信を行政側からしていただけると、いいまちに住んでいるなど様々な人が実感できると思うため、今後もどんどん行っていただきたいと思います。
- 地域の方には知られたい困り事もあるはず。すべての困り事を地域で支え合うのではなく、1つの困り事に対し数パターンの解決策があるといい。それらの情報を市が窓口になり発信して欲しい。
- 福祉関係団体のホームページをいくつか見ましたが、わかりにくいです。興味があって HP を見にいっても、どうやって参加できるのか、もっとわかりやすく載せた方がいいと思う。国分寺市は、福祉や教育には力を入れているのか、よくわからない印象がある。
- 今は子どもが小学生なので学校（子ども）を通しての情報が入ってくる事もあるが、卒業後は市報や PC など自ら行動しないと制度の事など知らないままになってしまうと気付き考えさせられました。
- 私自身、埼玉県庁の行政職として勤務し、高齢介護課で認知症対策を担当していました。「キャラバン・メイト」の資格も有しており、国分寺市にも社会貢献したいと考えています。しかし、どのような方法でボランティア活動ができるのか、地域貢献ができるか情報が入手できないです。広報等を活用し、私のように地域貢献したい人を確実に行政とつないでいただきたいと思います。仕事をしながら子育て中ですので可能な範囲でしか手伝えませんが、大好きな国分寺市に貢献したいと考えています。
- もっと市報に、福祉の情報を掲載してもらいたい。福祉に関する情報が高齢者のみの家庭か障害者のある家庭にしか伝わっていないような気がします。国分寺市自体がもっと積極的に市税から活発にこれからの福祉に力を入れるべきだと思います。
- PR活動に力を入れて下さい。
- 普通に日々を過ごしていると、地域の活動などに参加する機会がない。福祉センターの場所や活動の様子を、犬の散歩をする様になって初めて気が付いた。家と職場、スーパーやコンビニに行く程度では知りえない。役所に行く機会もほとんどないので、わからない。
- 今まで、地域の活動があると知らなかったのも、どういう所で情報が得られるのか教えて欲しい。
- 住んでいますが福祉の状況があまり伝わらない。配食サービスとか、全体の福祉について色々教えてほしいと思います。
- 国分寺市は警察官（おまわりさん）が大変親切で、守られているという安心感があります。市の職員の方々も丁寧な対応です。ゴミ事業の人たちも感じが良いです。今回このようなアンケートに回答しながら、今までどのような地域福祉を目にしてきたらと思う。情報・PR が少なすぎるのではないのでしょうか。
- 特定の病気治療費の助成がある場合、こういう情報が患者には平等に知らされるべきところ。病院によってまちまちで、不公平を生じていることを痛感した（例：喘息認定申請）。こういった患者にとって重要な情報はすべての病院、医師に徹底して周知して頂きたい（ある患者は最初から治療費は自己負担ゼロ、ある患者は何年間もずっと高い治療費や薬代を全額負担している現実）。しかも、こういう制度が突然中止されたり、持続性が期待できない点です。
- どのような支え合いの仕組みがあり、自分がどのように参加できるのかがよく分かりません。また、他人との信頼関係が希薄な昨今、旧来からの仕組みではなかなか機能しないのではないかと思います。他所から転入して来た場合に、自治会等がどのような活動しているか等が分からず、入会する積極的な理由が見つからなかった。

- 市の福祉に関する取り組みやいろいろな情報を講演会等で紹介すると、市民の理解が深まると思う。定期的に開催してもらおうとありがたい。現在、市でどのようなことに力を入れているかなど、あまりわからない（やっているとは思いますが）。
- 私共2人は90才に手の届く年齢ですが、身体の故障は年々多くなり医療機関のお世話になる事も増えましたがこの先の知識が全くありません。他の人達は介護とか手続の方法とかよく御存知ですが、私共はそういう方法も順序もわからず今迄は頑張ってきましたが、この先何かあっても誰に聞けばいいのか、どんな手続の仕方や手順があるのか全くわかりません。私達だけ無知なのでしょう。高齢者に徹底した知識を教えてください。
- 情報が必要と思う。TVやラジオで情報発信してほしい。
- 財源や市のマンパワーなど、自治体が出来ることには限度があります。市のホームページにアクセスすれば、必要な情報が入手出来て自分で手続が出来るようになると良いのでは？地域や人が支えあうことも大事ですが、まずは自ら自立できる市民を育てる、自立できるように市民を促がすことが、最も市民のためには良いのではないのでしょうか？紛争が起きたときに、法や自治体の立場でトラブルを解決していただけると、政策や福祉のあり方が市にフィードバックできて良いかと思いました。
- 市として何をしているかは、普段働いていてそこまで関わりがないので全く知りません。既存のサービスがあるのであれば認知度を上げる方が、新しい事に取り組むよりも大切だと思います。
- ホームページにおいても、市役所においても、情報公開、情報提供が不十分に過ぎると思う。本気で情報を集め、また情報を市民に与えようという意思を全く感じない。このようなつまらないアンケートに終わるようでは何もやっていない、責任回避のポーズにとどまっているに等しい。市民を活用しようという意識も非常に低い自治体であるように思う。保守的、閉鎖的な市役所である。この質問集もくだらないものが多い。何が知りたいのか、目的が不明。不可解。
- これを機に国分寺市の福祉について調べてみようと思いました。ネットで実際に調べてみると面白かったです。今まで近所付き合いも無く、知人、友人が自宅付近に誰も居ない為、情報も入る事無く、自分から調べる事も有りませんでした。ここ何年か国分寺市に住んで思った事は、大きな公園が（BBQなど出来る様な）欲しいと思いました。私の地元には福社会館でいつでも、無料で卓球が出来る所があります（誰でも）。
- 災害時の避難場所など、具体的にどうしたらいいか教えて欲しい。
- 市報が定期的に届いているのは良いことだと思います。そこでPRを続けていくことが良いと思います。
- 地域に関わりたいと思っている人が、どうやって活動に参加したらよいかわからない。
- 福祉は充実させた方が良いに決まっていますが、負担とのバランスも必要です。このことを市民が自ら考えることができるように、わかりやすい情報公開を進めてほしいと思います。これによって必要性の高いものの優先順位付けもできるようになるのではないかと思います。

#### ◇高齢者福祉に関すること（25件）

- 介護した者（嫁）が報われない今の法律に疑問。介護保険は払っているのに、在宅の人は一割負担で利用できるのに、有料ホームに入るとサービスが殆ど受けられないのはおかしい。実家の両親は義父がいたので、有料ホームに入れ、それぞれ2千万円ずつかかった。リハビリの施設がとても少ない。
- 高齢者施設は多いようですが、そこではいったい何が行われているのかも知りません。もっと情報を発信してほしいです。
- 窪東公園で毎日ラジオ体操等を行ってはどうか、自然に顔見知りが増え高齢者対策になるのでは。
- 施設で福祉の仕事をしているのですが、高齢者が急病になった時、受け入れてもらえる病院を探す



のに、何時間も救急車の中で待ち、子どもはすぐに見つかるのに、疾病により病院を探すのが困難ということ、最近残念に思いました。

- これから高齢者の一人暮らしは増えると思います。孤立してしまうのではないかと心配です。
- 高齢者は運動が必要と思われるので、グランドゴルフ等コースを設置し、各市、町、村の代表者対抗戦等を希望します（楽しみながら運動が出来ます）。
- 人間誰でも終末期を迎えます。自分はまだまだと書いていても、終末期に特養老人ホームに入れないのは悲しい、もっと充実しても良いと思います。
- 特養が必要。
- 母親から聞いたのですが、福祉センター内にお風呂があったのがなくなったとか。近所は高齢者（1人暮らし）の方が多くなっているの、住宅内にぶんバスが入ってくると良い（かん線道路迄が遠い為）。
- 近頃高齢者への市の予算が削られています。年寄りが住みづらくなっています。予算を減らさないで下さい。
- 高齢者が多すぎる、若い世代で支えきれない。増税増税、年寄りの医療費を自己負担させて、介護もしかり、本当に必要な人にだけお金や保障をしてあげて。不必要な年寄りの受診もやめさせて。
- 益々増加する高齢者への支援策の充実化が急務と思います。その為には多少の金銭的負担の増加も致し方無いとも感じております。
- 以前、私の母が認知症になった時、近くの病院では3ヶ月迄しか入院が許されず、入ってすぐ次の病院を探すと兄弟であれこれ騒いだ程です。有料老人ホームもなかなか空きがなかったようです。この先も同じことが繰り返されて行くでしょう。その点、もう少し入院日数を広げるなり、目に見えていることだけに次の手を考えておいて下さい。（※一部返答できない所がありました）。
- 後期高齢者の暮らし、日々苦しくなる（例えば税金面、高い）高齢者に対する支援。
- 今育児中ですが、不安はなく育てやすい国分寺に満足しています。家族の介護や高齢者問題にはとても不安をいただいています。今は両親も健康ですが、先の事を考えると福祉の充実はありがたいと思うのでよろしくをお願いします。
- 福祉施設で有った「風呂」がなくなりました。そのため行き場がなくなった老人が増え、認知症や精神の障害が出る人が出てきたと聞きました。市の財政の都合もあるでしょうが、中止する前に職員の給料を削っても続けてほしかったと、多数の人達は声を大にしてさげんでいます。70才以上市民の代表者として1言！
- 高齢者の1人暮らしです。今はどうにか買物が出来、お料理も出来ていますが、だんだん出来なくなる事が不安です。国分寺のお野菜等使った給食などを配達してもらえたら安心して暮らせると思いますが。お野菜等捨てるのがいつも気になっています。
- もっと高齢になった時、そして家族がそばに居なくなった時、入れる老人ホームについて、何もわかりません。我々60代の人達は集まると、その事への不安が必ず話に出ます。どのような条件でどのような所にお世話になれるのでしょうか？（我々の親は現在他県でホームに入っており、地域が違うとすべて違って来ると思いますが）今から何か準備出来ることはあるのでしょうか？
- 足が悪く一人住まいの母を同居させたのに、要介護2から要支援1に変えられた為、リハビリを3回受けていたのに1回にされてしまい、足の筋肉が衰えて階段を上れなくなり、同居が不可能になった。有料ホームを移ることになり、今では車椅子の利用となってしまった。市から面談にくる方の本人との話し合いで、元気かどうかで、家族がいるかどうかで判断されたと考えられるが、本人にとっては不幸の始まりとなってしまった。
- 高齢者の住みやすいまちづくりをお願いします。
- 高齢者といっても、体が元気な人は自分で行動する人が多いが、そうでなく、また、介護は必要としないが、少し体力的に問題が出てきた人達や、病気で体力を失って来た人達は段々家に閉じこもりがちになるので、この方達の生きがいと健康づくりが必要なのかなと、ゆるく回りが支える（健

康な高齢者を使う一言葉が悪いかも)とか、一つ思いついた案です。

- 母親の介護をきっかけに、国分寺市の福祉サービスの内容を深く知る事が出来ましたが、同世代のご近所の方々は、今は元気であっても、将来の自分達の生活に不安を抱えています。子ども達は独立して、夫婦のみの世帯が増えつつある事も理由だと思いますが、市民が気軽に参加出来る健康作りの為のメニューを(健康体操、セミナーなど)一層取り組んで頂ける様、お願い致します。
- 高齢者へのサービスの充実はこれから特に必要になると思う。
- 介護する側の家族へフォロー。
- 長いことデイサービスを利用させていただきました。高齢者へのサービスは割と充実している様に思いました。高齢者相談所(泉町)の方々にもお世話になりました。無事に過ごすことができ、ありがとうございました。少し時間に余裕ができましたら、お世話になったサービスのお手伝いでもと思います。

#### ◇福祉の意識に関すること(19件)

- 福祉＝高齢者のイメージが強いと思う。行政も高齢者福祉・子どもの虐待に特化しているように思います。福祉とは誰もが等しく受けることのできる生存権をふまえてなり立つべきで、もっと健常者でも受けることのできるサービスを考えて欲しい。子どもの通学路を安全なものにする、困っている時、助けてもらうなど。
- ボランティア精神を育成する。人は誰かの役に立っている、褒められる行動は生きがいでもある。無償の行為こそ、子どもたちに対する生きた教育活動でもある。人づくり、人間愛は、法規をいじくり回しても育てるものではないと思うが。
- 小さい頃からの道徳という教育が必要だと思う。
- アンケートの項目が多岐に渡りすぎて、やる気を充続することが容易でない。主旨をもっと明確に掲げるべきだと思った。福祉を考える余裕など今の若者にはない。日々何かに追われる感覚があり、そこから逃げている。もっと根本を見つめてほしい。
- これまで福祉について真剣に考えたことがないので、回答に迷いがあり自信もありません。行政と市民のどちらが主体であっても良いのですが、啓発活動やイベントを市民まつり等の行事にあわせて行っていただくとよいかも知れません。目に触れる機会が増えれば考えたり、みずからを振り返ったりするきっかけになるように思います。
- 福祉とは多くの方がいかに関心を持つかが大事な事だと思います。関心のない人達をいかに引きつけるかが、これからの課題だと思います。
- 25才、男、アルバイトやフリーランスの仕事をして生計をたてております。正直、「福祉」を考える余裕など普段の忙しさからするとない。おそらく、私の様な若い層の考え方というのは近似しているはずで、そういった教育を受けたにも関わらず、この結果になってしまうことは「期待しない」「興味を持ってない」ことが大きいと思います。するだけムダである。私たちは「搾取」され続け報われることはないのだと。「キレイごと」で考えることは、社会に出た今、あまりにも危険だということがわかりました。
- 福祉について日頃考えた事がないので、今回のアンケートで少し自分に何かあった時など危機感が目ばえました。
- 幸いに家族、みな健康であるため、福祉(地域や市というエリアの)について深く考える機会がありませんでした。大好きな国分寺市で、人生の最後まで暮らしていきたいと思っておりますので、今後は、もっと地域福祉について知識を得たいと思います。
- あまり高齢者に関心が無い様に思う。自分のヒガミかも知れないが、親切心が見えない。一度も優しい言葉はかけられた事が無い。
- 問14で掲げた、手本となる大人がもっと自覚を持ち、人としてどう生きるか?!モラルの問題。

市議をふくめて、人が人に優しさや、思いやりを持てる地域づくりを心がけてほしい。

- 外国へ行った時に感じた事ですが、車椅子で移動していると、助けてくれる人が沢山いる。声を掛けてくれる人が沢山いる。日本ではあまりありませんでした。杖をついていると、すぐ座席を代わってくれます。日本では電車でお腹の大きな人、老人、怪我をした人用のシルバーシートがありますが、若い人が知らんぷりして座っています。恥ずかしい事です。小さい頃より、教育しないと身に付くものではないと思います。道徳の時間を復活させるとか、是非考えて下さい。
- 特に有りません。なぜなら、私は現在パートとして働いていますので、今回のこのアンケートについて、細部についてはまだわからない事が有る為に、「暮らしやすい地域づくり」などについて勉強する時間や、取り組む意志が有りません。乱筆にて失礼いたしました。
- より良い人間関係はより良い協力関係を生むと聞いたことがあります。どんなに良いことをしていてもあの人がいるなら行かないなんてこともありますね。福祉といえば人間関係のことではないでしょうか。それには我が事のように目の前の人に接する姿勢が必要ですね。
- 基本は子どもの教育からだと考えます。どんなに高齢者や障害者のサービスを拡充しようとも、基本が無いままではいつまでたっても現状維持と何ら変わりません。ヨーロッパ型の福祉を導入しようとも今の日本では法律的にも憲法的にも不可能であることを国民に理解させた上で、地域に合ったサービスを考える必要があると思います。「終活」もいいですが、子どもの教育をすつとばして、それだけを追求したらアフリカ諸国と同じレベルに落ち込むのは遠い話でないことが恐ろしいです。どこの都道府県も例外なく。
- とにかく福祉に携わる方の人柄が第一歩だと思います。それあってこそ受ける側も心を開き福祉の活動の実は大きなものとなっていくでしょう。専門的人材の育成に深い心の育成が加われば、まさに鬼に金棒かと存じます。
- 福祉の定義をきちんと市民に周知させてください。一般市民の認識が欠けていると生活の中で感じます。
- いろいろな意味での“弱者”を支えていくことが、引いては市民ひとりずつの幸せにつながっていくと思います。健常者が普通にやっていることでも、弱者にとっては大変高いハードルとなっているのではないかと思います。そうした思いを弱者に向けていく姿勢が、全ての人の満足感、充実感、幸せへとつながっていくと考えます。
- 回答が遅くなって申し訳ありません。こういったアンケートはとても重要だと思います。日頃からぼんやり考えている福祉について、再認識したりできます。自分が子どもをもった時、自分が高齢になった時、必ず誰かの支援が必要な場合があります。行政に全てを委ねるだけでなく、市民も子どものころから、福祉について学ぶことが重要だと思います。

#### ◇近所付き合いのマナーに関すること（18件）

- 放置自転車、駐輪モラルに対する指導。交通マナーの指導。住宅地を通り抜ける車輛が高速で危険。
- 西国分寺の駅につなぐ道では雨の日等、無神経な人達ばかりで傘のさし方に気を使わない、暮らしづらい町です（今まで住んだ町に比べて）。他の人達に聞いても（他の市に住んでいる）国分寺市は介護保険料が高すぎます。
- 自転車、歩行者ともにマナーの悪い人が多い。出来れば自転車道路（専用）を増加して欲しい。
- 近隣の人たちとコミュニケーションが取れる場所があるといいかと思えます。町を歩いていて最近思うこと、ゴミを散らかしたり、タンを吐きすてる人がいたり、嘔吐物があったり、犬フンがあったり、川にゴミを捨てる人がいたり、タバコのポイ捨てがあったりと、町を汚している人が沢山います。こういうことにもう少し目を向けて欲しい。国分寺、水がきれい、環境が良いのにこれではいけないと思います。
- 活動全般の中でクレーム多い順番は、とにかく家が多すぎる、家と家が近すぎる為生活騒音のトラ

ブルが絶えない、道幅が狭いため福祉業者も大変である、公園が少なすぎる、そして若者の孤立死が多発。結論建ぺい率を旧基準に見直し、生活環境整備、支え合いの地域づくり、日常生活の場としての福祉のまちづくり。

- 市民と市がどのような働きかけをしたらマナーのある生活を送る事ができるのでしょうか。1つに義務教育の早い時期からの住み良い街作り、人に迷惑をかけない、いじめのない暮らし等教育も必要と思います。現在親である人達でさえ、その人自身の生き方に疑問を感じる人もいるように思われます。そんな人達がどうして子どもの教育ができるのでしょうか。こんな親に任せっきりで暮らしやすい地域などつくれるはずがありません。
- 各々のモラルの向上を推進する様な仕組み作り、イベントを行っていくのはどうでしょうか。暮らしやすい地域とは、お金がたくさんある事だけではないでしょう。各々の人間性の高度化です。その様な人間が育っていける土壌・地域が出来れば、自然と暮らしやすくなるでしょう。そして、ルールを破った人に対する処罰の厳格化も必要でしょう。例) 野焼き→半径200m内の近隣に対してのお詫び回り。
- 玄関脇の電柱に犬のおしっこをさせて水をかけない人がほとんど。マナーとして市で呼びかけをしてほしい。境界線をこえて枝葉がとびでており、隣人はまったく気にかけていない。密集した住宅街でのモラルが欠けている人がいてストレスになる。
- 国分寺は住み易い街、歴史のある土地、学生の多い街、一言で「良い所にお住まいですね!」と言われます。あれもこれも改善は難しい事ですが、一番最近思う事は、教育レベルが高いと言われていた割に、生徒の道徳レベルが低いと思う事が多々あります。地域の要は公立の小・中が中心。住民連携の基礎と考えます。
- 初期老老介護の段階ではあるが一方がまだ会社員の為、思うような生活はできていない。本番前である。これからが大変と思っている。わかり易い福祉であってほしく、又、自分も学習しなくてはと考えている。最近、ゴミが道路のあちこちに散乱していて不快である。夜中に歩き回っている人がいるのか、朝方目につく。学校やマンション等の植込み、道路わきの植込みなどに多い。
- 交通マナーの改善、特に自転車のマナー(信号無視、一旦停止違反、路地からの飛び出し、歩道でのスピード、道の左・右かまわずの走行等、自殺行為に等しいので、教育をしてほしい)。
- 自分の事は自分で良く考える。他人に迷惑をかけない。良い行動をみつけたら、友人に話す。家族仲よく。
- 自転車走行指導、注意。福祉に関する情報多く。
- 駅付近(国分寺、西国分寺)での歩きタバコ、自転車に乗りながらのタバコが多く、迷惑しています。先日帰りがけには、高校生のカバンにタバコの火があたり、ちょっとした騒ぎになっていました。タバコのマナーについて、もう少ししっかり普及、啓発をお願いしたいです。
- 武蔵国分寺園公園の散策を楽しみにしていますが、放し飼いで犬を遊ばせる人々、芝生に犬にふん尿をさせる人々等、困っています。ドッグランを作り、公園内に犬は立入禁止にして欲しい。公園の芝生は本来、子どもが寝ころんだり遊んだりできるはずなのに、どこに犬のふん尿があるのかわからないので、それができない状態です。
- 最近、いい大人や高校生等で、自転車のマナーやルールが全く守れていない人が多く、幼児を抱えている私としては、とてもこわいです。何とかしてほしいところです。また、生活保護制度に対して、とても不快に思っています。
- 空き家の庭の木や、アパートなどの木の枝が伸びすぎて困っています。
- 学生の自転車のマナーの悪さ! 高齢者の方が自転車をよけて転んでいるのに知らん顔で行ってしまうのはどうかと思います。学校でも家庭でもいろいろ話し合っってそういうことがなくなるようにしてほしいです。

#### ◇移動に関すること（15件）

- ・ひかりプラザ、けやきスポーツセンターのストレッチルームをシニア（高齢者）が多く利用できる様、コミュニティーバス等できると利用しやすくなるのでは。
- ・市の西端に居するためぶんバスの循環も、道路の側溝もなくお年寄りや幼児連れの方々には、利用交通手段はゼロです。
- ・ぶんバスの路線を増便して欲しい。現在はぶんバスの路線では無い（車があるので不便は無い）。
- ・ぶんバス北側運行時間夜10時頃迄運行してほしいです。8時迄だととても不便です。
- ・国分寺に住居を定めた事を後悔している。足の不自由な家族がいて、これから年を重ね車の運転もままならなくなる事を考えると、駅から12、3分とはいえバスの便がない地域に住む現実は恐ろしい。タクシーを使おうにも、近距離で露骨に嫌な顔をされる。
- ・ぶんバスの本数を増やしてほしい。
- ・北町に住んでいます。高齢者や子ども達にも移動しやすい様にぶんバスの運行をぜひ実現していただきたいです。
- ・個別配達される市報・社協だよりはいつも良く見させていただいています。選挙で事前投票等に市役所に行った時、広報担当の方より3ヶ月以上たった「広報東京都点字版」をいただいて来て、自宅で毎日少し点訳して学習させていただいています。もし、どこかに点字郵便が必要な時は、原稿をいただければ点字使としてお役に立つ事もあるかと思えます。妻が2年前より認知症になりましたので、介護のためあまり外出できません。ぶんバスが出来て大変便利になり、有難く思っています（富士東二丁目乗・下車）。
- ・1人暮らしの買物の不便さ。もう少しぶんバスの様な小まわりのきく交通の便があると良いと思う。
- ・都立府中病院から小平団地（国分寺駅を回る）行きバスがあるけど、西国分寺駅（府中街道、五日市街道通過）バスを通してもらったり、旧役場迄にバスが来ていた。五日街道が通れなかったら二ツ塚で折り返して、中央線で西国分寺駅にバスが入っていないのは恥ずかしいです。
- ・東元町ルートの「ぶんバス」をもっと増やしてほしい。逆ルートがあるともっといい。とにかく利用する人が多く、ピーク時には乗れないことがあるので、よろしくお願いします。
- ・時々ぶんバスを利用しますが、もう少し遅い時間まで運行していただけると助かります。
- ・“ぶんバス”は高齢者の移動手段として福祉に貢献している。しかし、路線が少なく、利用可能者と不可能者の地域格差を拡大している。地域格差をなくすべく、路線の拡充を図ると共に、利用可能の度合により、住民税等の算出基準を見直すべきである。
- ・市の施設と駅をつなぐバス路線がほしい。どれもアクセスが悪い。
- ・ひかりプラザ、けやきスポーツセンターへのコミュニティーバス等運転できると良いのでは。健康増進でひいては、医療費の削減につながると思う。

#### ◇防災・防犯に関すること（13件）

- ・安全、安心な国分寺市町づくり。防災（立川断層地震、震度7予想）、防火防犯の強化。老人、障害者が安心して散歩できる道路（歩道）の充実。
- ・近年、国分寺市において悪質な犯罪が増えております。たとえば老人をだますような犯罪が増えていく様感じます。早朝の散歩に行く時でも若者の不信な行動におびえる毎日です。
- ・地震について説明会を開いてほしい（立川断層は以前の説明より変わったようだし、南海地震等について）。
- ・道が狭いのにブロック塀のお宅が多いです。先の震災ではブロック塀が波打って今にも倒れそうでした。子どもの通学路でもあるので、昔ながらのブロック塀を災害に強いものに変えてもらえるようアナウンスしてほしい。
- ・防災無線がビルに反響して、はっきり聞き取れません。工夫をお願い致します。

- 前々回の人口調査を担当した際、割当地区の各家庭を平日に訪問した所 50%以上は不在でした。この時考えた事は、万一大きな地震等があった時はどうするのだろうかという事でした。国分寺高校が近くにあるのだから、何か協定を結び、学生の活用は出来ないものかと思ったものです。若い人の力は必要だと思いますが如何ですか？
- 災害が起き避難生活をするようになった時、今現在市としては具体的にどのような対応が出来るのか知りたいです（水、食料、避難所等）。
- 子育て中の母親です。仕事をしているため両立は非常にたいへんです。学校から不審者情報がある事が多々あるので、子どもがのびのび楽しく暮らせる町づくりをしてほしい。私が小学校の頃は、家の近所で遊んでいても、こわい思いをした事のない時代でした。今は、とても住みづらくなってしまったように思います。
- 先日、地元の防災行政無線で防災訓練のアナウンスがあるとのことでしたが、全然聞こえませんでした。一度、防災情報をアナウンスする訓練をお願いします。
- 振り込め詐欺が国分寺市は日本で一番被害者が多いと聞いています。このことは暮らしやすい地域であるとは言えないのではないかと思います。防犯についてもっと強化して安心して住める地域にしたいです。
- 隣近所に声掛けして、広域避難所へ行くことくらいしか出来ないと思います、現実として。
- 私が住んでいる集合住宅の管理組合が地域の防災組合に入れないでいます。行政の方から入るよう勧めて下さい。まず入らない理由を市で集めて下さい。区分所有法の管理組合が、市が進める防災活動に参加できる様なシステム作りを行うのが、市の職員の仕事だと思います。
- 震災（災害）に対しての、自治会の班会で話し合いのための資料があったら便利だと思う。

#### ◇子育てに関すること（11件）

- 特に子育てに対しての施設（設備）を充実させてほしい。
- 小さい子どもを持つ親たちが働ける様に子どもを預かる所の充実、そこに元気な老人と一緒にさせて子守り、遊びなどしてもらおうと両得と思うが。
- 若くて健康な時は関心がないが、子どもが生まれて初めて地域に目が向く。その時期に十分な支援があり助けられると、その後の PTA 活動、子が巣立ってから地域活動、親の介護を含めた高齢者支援などに繋がっていくので、子育ての支援体制の充実は、若い世帯を国分寺に定着させる為にも必要だと思う。
- 西町地区には適度な広さの公園がないため子どもの活動拠点が充分でないと思います。公園をベースにした活動を期待しているのですが、今のままでは大人も子どもも家に籠りがちになると思いません。今後大きく期待したいです！
- 学童保育のサービス向上（預り時間の拡大、夕方は 19 時まで等）を、保育園と同じレベルで考えてほしいです。保育園で小学生も預けられるようなシステムがあれば無駄が少なく良いと思います。
- 子育て支援に関しては、母性相談会などが設けられていたり、その際にも相談窓口の存在、積極的な呼び掛けなど情報発信をよくやっていると思う。助産師訪問も助けられた。児童館や親子ひろばなどの交流サービスの案内もわかりやすく、利用させていただいている。保育園が少ないのが難点（他の自治体よりは国分寺は良い方と聞く）。ここ数年でファミリーの転居などで周りに非常に多い。共働き家庭にせざるを得ない状況下（核家族化が進んでいる等の現状から）で、保育園に入れないのは正直困る。身内に頼るのも限界がある、何とかしてほしい。
- 国分寺に引っ越してきてまだ 10 ヶ月なので福祉のことはよくわかりません。学童保育の施設や保育所が多いのに驚きました。子育ての面では恵まれている場所なのかなと思います。
- 公民館の保育室活動に参加しています。市から援助を受けて保育室を利用し、その恩恵を地域に環

元すべく、母親たちが女性としての学び、子育て情報の拡散、地域とのつながりの強化などを行っています。ただ、このところは学校教育に比べて社会教育が軽視され、予算も大幅に削減され、活動が難しくなっています。学校教育もちろん大切ですが、社会教育、特に子育てに対する支援は少子化対策としても有効であり、虐待防止にもなります。保育室活動のような市民と市が協働できる活動の意義を、再度確認していただきたいです。

- 夫婦二人暮らしで、地域に親せき、知り合いが全くいない中で現在妊娠中です。市の開催する両親学級は、2回程しかなく（まだ参加していませんが）、その中でコミュニケーションをとれるのか、また、育児についての情報や協力を得られる関係を見出せるのか心配です。できれば、妊娠した女性の家族で、今後の情報共有ができるような場を設けてほしいと考えます。
- 子育てをしているけど働いているお母さん達が、子どもを預けられる保育園が少ないと言われますので、孤立しているご老人の方々に保育を短時間でもお願いするような仕組みはできないものでしょうか。
- 西恋ヶ窪一丁目15番14番南側の細道において昨年、2才の娘が転んで頭（おでこ）から大量出血した。車不可の細い道、アスファルトが陥没していたりデコボコしていて、しかも緩やかな坂になっている。斜めになっていて、デコボコの所にぶつかり深い傷になった。歩きづらく幼児、高齢者、障害者に暮らしやすい町とは言えない。道路整備してほしい、ベビーカーも押しづらい。育児ヘルパーを利用させてもらい、大変、大変助かりました。ありがとうございました。引越してきて間もないころ（現在2年）近くで孤立死があり、驚いた。言われて見てみると外から見ても家が荒れていた。独り身には（行政、おとなりさん）の積極的な声かけが必要だと思った。

#### ◇相談に関すること（10件）

- これから高齢が増々増加するのに集まる場所・施設が少なく、セミナー、相談できるコーナーも少なく感じます。例えば、金融機関との連携で相続、医療、お金のこと、健康について無料のセミナーがあってもよいのでは。良い街とは安心して生活できる街。専門の方のアドバイス、お金の掛からない支援策、シニアの方が子ども達に畑で野菜づくりの指導、もっと話せる機会や交流をし、次世代への引き継ぎも大事だと感じます。
- プライバシー等々で他人と深くかかわれない状況があります。窓口相談が常に出来る状態であることを望みます。
- 相談事や質問等を部門別ではなく、一括して答えられる部署（係）のような所があれば良いと思う。
- 高齢者相談所（泉町）の方々にもお世話になりました。無事に過ごすことができ、ありがとうございました。少し時間に余裕ができましたらお世話になったサービスのお手伝いでもと思います。社会福祉協議会広報を読むように心掛けます。
- もっと相談しやすい人間作りが市の方に必要だと思います。一度相談に行ったら忙しかったかわかりませんが、適当にあしらわれました。そんな感じだと相談したくても出来ません。
- 何かあった時に、どこに相談すればよいのかわかりませんので、TV や新聞で流して頂けると有難いです。
- 本当に困っている方の意見を聞き、希望を反映させるのではなく、悩みの本質をみきわめることで、より充実した効果のあるサービスを提供できる。現状は、便利になるものを与えるだけで、与えられる側はうれしい、助かるといった声は多く出るだろうが、本質が変わっていないのでは？ 楽をさせるサービスが本当に必要なのか？
- 相談窓口の充実。
- 市役所に相談があり、何度か電話したことがありました。ご丁寧に対応していただき、マニュアル化されているのか、迅速な話の運びに感謝しています。今後とも、よろしく願います。
- 市役所や相談窓口などが、休日も利用できれば良いと思う。会社員が平日に出向くのは大変なので

す。

#### ◇ごみ・リサイクルに関すること（8件）

- 車が（駐車中の）が道路に多く迷惑している。ゴミの出し方を根本的に考えて欲しい。例えば、府中市のようにコンテナを置いてそれぞれの家の前に出さないとか。もう少し効率的に出来ないものでしょうか？
- ゴミ袋が高すぎる。ゴミ袋の大きさが多すぎる。小さいものは必要性を感じない。
- 今年からごみが有料となり、これは市民の義務だと思います。燃やせるごみは黄色の指定された袋を購入し、指定された日に出すのが当然ですが、ある家庭は、その指定された袋を使っていません。しかし、ちゃんと収集されています。「正直者は馬鹿を見る」ではありませんが、市民の義務は全員守るべきもので、指定された袋以外は収集しないぐらいのき然とした態度が必要だと思います。是非よろしく願い致します。
- 近所（買物に行く途中）に一人暮らしの高齢の男性がいて、燃えるごみをスーパーのレジ袋に入れて出すので収集してもらえていない。有料のゴミ袋のことを教えてあげる方法はないのか？清掃員が貼っていく注意の内容だけでは理解されていない様子。もっと親切な文面を工夫するとか、一枚見本の袋をあげて、次から買うようにしてもらえば。いずれにしても毎回のことなら清掃員が民生委員に連絡してあげるとか、もっときめ細かい気づかいが必要！
- リサイクルゴミの回数がかなり減り、家の中に必ずゴミがあるようになりました。横浜市、川崎市などゴミは無料で回数も多く便利です。ゴミの焼却場をより改善し、熱を効率的に利用する等、ゴミの捨てやすいまちを目指して頂きたいと思います。
- ゴミの無料化。
- 現在、0才と3才で子どもがいます。ペットボトルの水を購入しているが捨てるのが大変。拠点回収でなく、一般ゴミの様に曜日で個別回収してほしい。
- 介護用品のリサイクル等、市が窓口になってくれたら良いと思う。今年義父母が亡くなり、介護ベッドや車イス、お風呂のイス、簡易スロープ等まだ使えるが、市に問い合わせしたが産業廃棄物になってしまった。ゴミの削減の点からも再利用できるシステムを作ってもらいたいと思いました。

#### ◇経済的支援に関すること（5件）

- 金銭的補助行政は不用。前向き積極的な福祉、市として明確にしPRを徹底すべき。
- 私は生活保護受給家庭より遥かに少ない収入で、子どもと2人、1Kの狭いアパートで暮らしているのに、生活保護を受けながら、ブランド物を身に付けているような方もいますし、その気になれば働く場所などいくらでもあるのに、働かずに生活保護を受け続けている人もいます。生活保護は、期間を決めての受給、支給額の見直しをすべきです、真面目に生きているのがバカらしくなります！
- 税金の削減、老人等の貧富の差をなくしもう少し豊かに生活できるよう、安いものを求めて町をさまよっている感じさえします。老後への不安からでしょうか。立派な町作りより少しでも生活面の補助を。
- ある日、パチンコ屋で生活保護費11月分3万8千~円、個人情報記載という封筒と紙を捨て、中のお金でパチンコをしている人がいた。私達の税金がギャンブルに使われているというのは許せないし、理解しがたい。周りから見える所にその紙を捨てる本人も本人だが、パチンコ屋には明らかに生活保護を受けているだろう人が遊技している。町をいつもうろろしている浮浪者がいる。この町に住んでいる人なら知っている人は知っているだろうと思う。私達の税金をムダにしないで欲しい。そういう変な人達にムダに渡さないで欲しい。
- 目の前の高齢者や障害者のことばかり考えないで下さい。働く世代のことも気にかけて、増税反対



です。税金が高くなったら、他の市に引っ越してしまうので、20年後30年後に支える人達がなくなったら困ります。生活保護を受けている方がパチンコ、夜遊びなどしていると聞いたことがあり、行政がちゃんと指導して下さい。税金の無駄使いをしないで下さい。

#### ◇個人情報に関すること（4件）

- 町内会に入っていない近所の单身アパートの人の情報がわからないので不安。
- 地域福祉と個人情報について。市の行政の立場からは地域福祉の必要性・重要性が強調されます。しかし現実には行政の立場では情報は一切提供しない。民生委員もしかり、自治会もPTAも名簿は一切作成しない。それなのに高齢者の支援、子育て支援が重要だと声高に云われる。どの様を考えるのか、公務員はともかく、個人情報が2言目にはもっともらしく言われる。これではどうにもならない。「個人情報」に対する理解不足もあり、困ったものだ。
- 個人情報保護法が浸透するにつれ、人と人との関係が希薄になり他人に関心を持たなくなり、高齢者に重大な出来事が起っても、手遅れになることが容易に想像できる。人の命より法律を優先するようなことにならないようお願いしたい。
- 近所での支援を充実させることと、プライバシーの問題が両立させるのが難しそうと感じる（支援を必要としている本人が外へ発信してくれないと、わからない）。

#### ◇健康・医療に関すること（3件）

- 国分寺市は、道が狭い。駅から自治施設までが遠い。医療施設が混んでいて使いづらい。医師の意識が低い。老人が多いー助けなきゃ、なプレッシャー有り。ので、いまいち暮らし難い（前回住んでいた名古屋市はすばらしかった）。
- 市内には頼りになる優れた医師がいない。大きな病院もなく、医師会の存在感も希薄だ。この為、いざという時は小平市や都内に医療を求める有様である。医療体制充実の為に医師と病院等、まず優秀な人や施設をそろえる必要がある。必要な施策を望む。
- 他市の状況を聞きますが、パール会員という健康促進の施策など国分寺は先進的です。栄養面を考えた何かあるといいですね。メタボや元気増進などの料理紹介、素材のPR。

#### ◇障害者福祉に関すること（2件）

- 特に障害者に対しての施設（設備）を充実させてほしい。
- 市内で障害者のグループホームを開設する際、近隣住民の反対で開設がうまくいかない、開設しても近隣住民とグループホームが対立関係になってしまったりするという話を聞きます。このような場合市は中立的な立場で対応するしかないのは分かりますが、もう少し近隣住民の障害者への理解が深まるような行動を日頃からしていただきたいと思います。長期的には子どもの頃からの福祉教育の充実が必要だと思います。

#### ◇民生委員・児童委員に関すること（2件）

- 町内の民生委員の方は何をされるのですか、1年に1回何かの用で来ているのか名前も知りません。役員の方はもう少し個別の訪問をして下さればお顔も名前も覚えられます。
- 地域の民生委員や児童委員のお名前や家くらいは、知っておきたいと思っています（マンション住まいなので、来られた事もなく、全く知らない）。

#### ◇その他 (46 件)

- 緑も多く静かで生活するにはとても良い所だと思います。
- がんばれ国分寺。
- 西国分寺駅周辺に、お店や公共施設を作ってもらおうこと。
- 協働ってなに？
- スーパーが少ない(スーパーが欲しい)。西国分寺駅前にはマンション・住宅が多い割にマイン1つ。少なすぎる、不便。駅前にスポーツクラブが2つも有るが、もう少し地元住民全体で使える施設がほしい。駅前設備の充実化。武蔵国分寺公園内(その近辺)にカフェやレストランを併設、もっと自然とふれ合う人が増え、利用しやすくなると思う。西国分寺駅前にゆうちょ銀行のATMがほしい。郵便局が駅から離れている為不便である。
- 私自身は今のところ自分から集まりに参加し、いろいろな情報を得ている。困ったことがあったら相談するところをいろいろ知っている。また分からないことは知人・民生委員の方に相談するつもりである。また困っている人がいたら相談に行くことを勧めるつもりである。
- このアンケートから、市は何もやりたくないから、全て市民だけで解決してほしいという雰囲気を感じました。自分のことは自分で解決しますが、地域の方々のことまで個人が背負うことはできません。困った時はお互い様という言葉は手助けする側の言葉であり、助けてもらう側の言葉ではないことを知った方が良いのではないのでしょうか。
- 世の全体の所得格差があるのは当然という考え方が出来るだけ少なくする考え方の方が進歩的なのだ、という思想を普及することが大切である。やはり人間は出来るだけ多くの人々が幸福にくらすことが自分の幸福にもつながる、という考え方を小さいときから教えることが大切と思う。
- 古くからの国分寺住民の意見が行政に反映される事が多い。旧農道がそのまま市道になったところに危険が多い。この様なアンケートは年末の忙しいときを避けてほしい。
- 引っ越してから3年、まだ国分寺市のことはよく分かりませんが、以前よりも格段に住みやすいとは実感しています。ただ、このようなアンケートが必要なのも理解できますが、年末の忙しい時期に発送するのはどうかと思います。福祉についての意識の低さも自覚していますが、アンケートをしながらすこしだけ責められているような引け目を感じました。
- 国分寺市は暮らしやすい町だと思います。犯罪も殆ど無いようですし、安心して生活出来るまち、これが最高だと思います。市を全体的に見ると東元町地域は、一般に高齢化し杖をつく人、背中が曲がっている人が多くなってきたような気がします。西の方が若くて元気な気がします。近所に人手が必要であったり、何か特に困っているような人はいないように思います。回覧板の回る地域内での様子は大体解りますが、他の地域の事は殆どわかりません。
- アンケートの結果は市報等で見られるのでしょうか？どのように反映していくのでしょうか？後日結果を知りたいです。
- 国分寺市民であることを誇りに思うような取り組みはできないのでしょうか？国分寺市のブランド力向上など。
- 高齢者ですが、いろいろな制度で行政に守られている安心感の上に、自分自身もこのまま健康な日々を重ねられるよう心掛けたいと改めて思いました。
- 3,000人の回答者に選ばれ驚いています。私は家賃の安い所に移住したく思っていますので、あまり参考になる回答は出来なかったと思います。申し訳ない。国分寺の今後の増々の発展、充実を祈念致しております。
- ここに書いても仕方ないことですが、住む地域(区とか)によって福利(健診とか)、ゴミ袋が有料だったりするのが嫌だ(区の方がいろいろと良いことが多い)。いつか社宅を出ていく日が来ると思うが、区に住みたいと思ってしまう。
- 国分寺は住みやすい街だと感じています。これからも国分寺に住みたいと思っています。一つ要望があります。駅前の市役所(支店)の前に喫煙スペースがありますが、非常に迷惑しています。徹

去していただけるようご検討お願いいたします（あんな場所に喫煙スペースがあれば、市は市民の健康被害を助長しようとしているのかと疑ってしまいます）。福祉保健部とは管轄外かと思いますが、担当部署にお伝えいただけますようお願いいたします。

- 突然のアンケート調査票にびっくりしました。日頃お世話になっている市が、どんな事を目標として取組まれるのか知るだけでも良かったと思います。しかし、私も81才の老女で主人も亡くしておりますので、十分な答えに迷いましたが、「私だったら」の気持で〇印を付けた部分もあります。今、リハビリに週2回通所しておりますが、現状維持でありたい気持ちで生きています。軽い障害者でもあります。どこかへ寄りかかりたい気持ちが消えません。ここに記載されない事も、もっと必要としたこともあった筈だと思います。私なりに考えて、知らないことが多くてどこでどう知ったらよいか迷いましたけれど、知らない分、楽しんでいるのかも知れません、ありがとうございます。
- 12月の忙しい時に、このようなアンケートは控えていただきたいです。もう少しずらすなどお願い致します。
- 市報などからも、がんばってくれていると思います。
- 問37（今後の福祉保健施策について）について、あてはまるものがたくさんあって3つにしぼるのは、難しいと思います。
- 駅周辺での歩きタバコを禁止してほしい。
- 他市の職員です。福祉の部署に5年間いました。しかし、市民としてはまったく関わっていません。
- アンケートのみの送付ではなく、記載内容に対する情報も同封してほしい。
- 福祉といえば障がい者、高齢者、ひとり親家族あるいは生活保護世帯に焦点が当たりがちですが、税金を納め続ける独自者の立場に立った福祉があればと願います。
- 私は10年前に家で大けがをしました色々がんばったので、今82才ですが元気で毎日7,000歩位歩いています。
- 明るく住みやすい「国分寺」の実現を目指して、市民も行政もがんばりましょう！
- 安心して暮らす事ができる場所にして下さい。
- 私は老妻と2人暮らしですが、末の娘が海外から帰宅し、外国人と結婚の運びとなり、先だって国分寺市に届けを出しました。意見の違いがあり、酒を飲み過ぎ、錯乱状態となり、老妻と衝突し、止めに入った私と大騒動を起こし、警察を呼びました。今は落ち着いていますが、警察の方々には大変お世話になりました、二人はヨーロッパに帰る予定です。
- ずいぶん細かなアンケート作り、御苦労様でした。
- 子どもも高校生であるため、現在はあまり福祉等にお世話になる機会がないが、自分が高齢になった時の事は心配。「国分寺は福祉には熱心でない」と以前近所の方に聞いたので不安です。
- いろいろ（多過ぎる）組織化すると、息苦しさを感ずるので簡素化する必要があるのではないか。
- 隣家が空き家になっており、荒れ放題。特に風の強い冬季節はゴミの散乱で迷惑を被っている。火災などが起こらないと良いと思っておりますが、なんとかならないでしょうか。迷惑条例の適用はできないでしょうか。
- 質問内容が何を求めているのか良くわからない。問題に直面している人とそうでない人を他の項目との重要度（例えば道路整備との順番）の軽重もなく質問されても「わからない」というのが一般的な回答になってしまうはず。もう少し工夫があっても良いのではないか。
- 私自身80才（すぎ）の高齢で、体調は余りよくないのですが「福祉サービス」とはどのようなことなのか、さっぱりわかりません。
- 障害、福祉の充実でトップの市として有名である市となるよう目指して欲しい。街を歩いていて充実が肌で感じる事が出来る嬉しい市となる街で住む生活を望む“国分寺市”という名前も地味ではあるけれど、とても誇りを持って住所を書いている私自身の自分が居ます。しっとり落ち着いた街の

たたまいの中に福祉の充実の香りがしている街だねと言われる幸せを感じる暮らしがしたいです。

- 国分寺市が福祉充実にどのように取り組んでいるのか、広報紙などよく読んで、まずは勉強したいと思います。
- 一人ぼっちですが、後わずかな人生ですが頑張ります。
- 市税、都税、高齢者保険、介護保険等について意見はあるが、福祉については特にない。
- 自分は認知症だから。
- 引っ越してきてまだ9ヶ月程なので、福祉サービスについて知識は少ないと思います。畑も多く、緑も豊かな土地だなと思っています（関係ない事すみません）。
- 畑、植木林、雑木林の保全の為に固定資産税免除で国分寺の緑を維持することが、市民の暮らしやすい地域づくりにつながると思う。農業大学卒業生に税免除した畑地、もしくは農業できなくなった畑、雑地に畑をつくらせて、緑の保全と、高齢者の生きがいを与えることが一番福祉保健に有効と考えます。農業委員会解散規制排除すべき。
- ビル（自分の所）の中で知らない店員が多い。特定の人しか知らない。近所はいません。世帯数が少ない！
- より良い充実した福祉政策の実施、住みやすい国分寺市になること期待しております。
- 24時間開いている駐輪場が少ないので増やしてほしい。
- 私の子どもの頃と現在とは非常に変化しているので色々な意味でとまどいを感じます。親に孝、そして自分に対しては厳しい戦前戦後の時代を生き抜いたと思っているので、あまりに豊かになりすぎているのではないかなとったりしていますが、若い人達の仕事があまりに少なく、労働の条件が厳しいのにもこれからの国のありようが心配です。経営者の方々にも若い人達が安心して働ける場を市も協力して応援してあげて下さい。自殺者など出さない様お願いします。

## 第 3 章 総括

---

## (1) 回答者の属性

- ・国分寺市生まれはわずか1割で、ほとんどが他市他県から越してきています。
- ・今後の定住意向については、世代を問わず半数以上が国分寺市に「暮らしたい」と回答しています。しかし、19歳・20・30歳代の4人に1人は「別の場所で暮らしたい」と回答しています。
- ・70歳以上の6割は高齢者のみ世帯（ひとり暮らしと夫婦のみ世帯の合計）と考えられます。そのうち、2割はひとり暮らしとなっています。
- ・住宅形態は「持家（一戸建て）」が6割近くで最も多くなっていますが、次いで「借家（集合住宅）」が約2割で多くなっています。特に南町、泉町、本町では持家よりも「借家（集合住宅）」の割合が多く、地域によって差があります。また、若い世代ほど借家の集合住宅に住んでいる傾向があります。

## (2) 地域のことについて

- ・地域でイメージする範囲は、どの世代もおおむね「自治会・町内会」が最多となっていますが、19歳・20歳代では「市全域」、30歳代から50歳代では「小学校区」が1割以上など、世代によってイメージする範囲に特徴があります。30・40歳代で「小学校区」が多いのは、子どもが小学校に通っていることが影響していることも考えられます。
- ・自治会に加入している割合は全体で56.3%となっていますが、若い世代や借家の集合住宅では加入している割合は低くなります。また、「並木町」や「北町」では加入割合が2割台となるなど、地域によって加入率の差が大きくなっていることがうかがえます。
- ・日頃から近所付き合いをしている人ほど自治会への加入率が高い傾向が出ています。自治会に加入しているから近所付き合いが多いのか、近所付き合いが多いから自治会加入率が高まるのかは一概に判断できませんが、相関的な関係がある以上は近所付き合いと自治会の加入については結びつきがあることがうかがえます。
- ・その近所付き合いについては、年齢による相関がみられ、年齢が上がるほど近所付き合いが深まっていく傾向がみられます。また、住宅形態別でも差がみられ、借家では半数以上が「挨拶をする程度」と回答しており、特に借家の集合住宅では2割が「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」と回答しています。そのためか、借家の集合住宅の割合が多かった南町、泉町、本町では「近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない」の回答がいずれも1割以上でほかの地区よりも多く、符合する結果となっています。さらに、その泉町と本町では、地域の中の問題点として「隣近所との交流が少ない」に3割の回答があり、実際に交流が少ないことを問題に感じている結果が出ていることから、その対策が求められます。
- ・また、近所付き合いの必要性を強く感じている人の約半数は、既に現在も積極的な近所付き合いを持っている傾向がみられ、また、日頃積極的な近所付き合いをしている人ほど近所付き合いの必要性を強く感じている傾向がみられます。そのため、よりよい近所付き合いを持つことで、近所付き合いの必要性をさらに実感し、それが一段と良好な近所付き合いへ発展するという好循環が生まれることが察せられます。
- ・近所付き合いが必要と感じるときについては、「火災や地震などのとき」が9割と大半の回答となっており、災害時等の緊急時における近所付き合いの重要さがうかがえます。また、小学生以下の子どもがいる方では「子どもの預かりが必要になったとき」に3割以上の回答があるほか、介護を必要とする人がいる方では「家族の介護・介助を一時的にできなくなっ

たとき」も3割以上の回答があるなど、一時的に預かってもらう先として地域に対する期待が大きいことがうかがえます。

- 地域の中の問題点としては、「緊急時の対応体制がわからない」が3割半ばで最も多く、緊急時に対する不安が大きいことがうかがえます。また、日頃から近所付き合いを積極的に行っている方では、「地域の活動に参加する人が少ない」に2割を超える回答があり、より多くの住民の参加を必要としていることがうかがえます。
- 日常生活で起こる問題をどのように解決するのがよいかについては、「住民と行政が力を合せて解決したい」が5割以上で最も多く、協働で地域づくりを行うことの重要性がうかがえます。また、日頃近所付き合いを積極的に行っている人ほど「できるだけ住民同士で協力して解決したい」に対して回答が多くなる傾向がみられ、住民自治に対する意識の高さがうかがえる結果となっています。
- 隣近所で身の回りのことで困っている人がいた場合の対応として「頼まれたら可能な範囲で手助けをする」が年齢を問わず5割前後の回答があり、基本的には多くの市民は手伝いたい意向を持っていることがうかがえます。ただし、あくまで「頼まれたら」の話であり、「自ら積極的に手助けをする」の回答割合が約5%程度となっていることから、日頃から頼みごとをお願いできる関係を築いておくことが大きな課題といえます。
- 高齢者等の世帯の様子が普段と違うと感じた際の対応について、多くの方は何らかの対応をとると回答していますが、全体の約1割が「どうしたらよいかわからない」と回答していません。特に19歳・20歳代では3割、30歳代では約2割と若い世代ほど対応方法が分からないと回答する傾向があることから、対応策について周知を図る必要があります。

### (3) 福祉のことについて

- 福祉の関心については7割以上が持っていますが、年齢が若くなるほど関心が低い傾向にあります。また、近所付き合いを積極的に行っている方ほど福祉への関心が強い傾向もみられます。さらに、福祉への関心が高い方ほど、「福祉」とは特定の人（高齢者や障害者等）だけに関係することではなく、「すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと」というイメージを持つ傾向が強くなっています。そのため、若い世代を中心とした福祉の関心を喚起する取組が求められます。そこから、気づきのある市民、周囲に関心を寄せる市民を育成し、近所付き合いの振興を図ることも1つと考えられます。
- 障害を理由とした差別や偏見の有無については、4割半ばが「差別等がある」と回答しています。どのような場面で差別や偏見があるかについては、「仕事や収入」と「交通機関や建築物の配慮」で5割を超える回答があります。また、「まちかどでの人の視線」も5割近い回答があり、多くなっています。
- 福祉サービスの入手状況は、【入手できている】が24.1%であるのに対して、「ほとんど入手できていない」は42.5%となります（「必要ない」は32.3%）。また、【入手できている】方の情報入手手段は、「市役所の窓口や広報紙」が6割半ばで最も多くなっていますが、40歳代以下では「インターネット」の回答が3割前後あります。情報端末の進歩とともに、世代によって情報の入手先が変化してきていることがうかがえることから、これからの福祉情報提供の充実を図る上で考慮する必要があります。
- 暮らしの中で抱えている悩みや不安について、妊娠している女性・乳児・幼児のいる方では「育児・子育てに関すること」に6割以上が回答しています。また、介護を必要とする人がいる方では「家族の介護に関すること」に6割近い回答があり、乳幼児期の子育てや介護に直面している方の半数以上が不安を感じていることとなります。

- 権利擁護事業について、「成年後見制度」は「聞いたことがある程度」に5割半ばの回答がありますが、「地域福祉権利擁護事業」では「知らない」に6割を超える回答があります。「地域福祉権利擁護事業」の周知状況については、家族に要介護高齢者や障害のある人の有無に関わらず低い傾向にあり、今後の福祉サービス利用の円滑化に向けて更なる周知が必要といえます。
- 虐待について、乳幼児・子ども、障害者、高齢者それぞれの虐待を地域の中で「聞いたことがある」割合は約1割となっています。これらのケースが、早期発見され適切な対応につながるよう、市民に対して虐待の疑いがある場合の対応策について啓発しておく必要があるといえます。
- 福祉に関する相談相手として、「市役所の窓口や職員」と「家族・親戚」が年齢に関わらず上位2項目で回答が多くなっています。「頼める人がいない」割合は全体では4.2%となっていますが、「ほとんど（近所との）お付き合いはない」方は8.3%とやや多くなっています。

#### （４）地域での活動について

- 国分寺市の「地域住民の活動が盛んなまち」という印象については、4割強が【そう思わない】と回答しています。
- 地域活動やボランティア活動への参加率は、全体で約2割となっていますが、30歳代以下では参加率が約1割で低くなっています。全体の約8割が現在取り組んでいないこととなりますが、そのうちの約6割が「（これまで）取り組んだことはない」と回答しています。取り組んだことのない理由としては、「活動に参加する時間がない」が38.7%で最も多くなっていますが、次いで「参加方法が分からない」が29.3%となっています。また、ボランティア活動や活動団体の情報入手状況では4割が「ほとんど入手できていない」と回答しています。さらには、福祉に関するボランティア活動等を活性化するために必要なこととしては「活動の情報提供の充実、PR強化」が51.2%で最も回答が多くなっています。そのため、ボランティア活動等の情報発信を充実させることが課題となります。
- 今後のボランティア活動等への参加意向は、取り組みたい意向のある市民とない市民でそれぞれ4割半ばと拮抗した結果となっています。年齢による参加意向の違いはみられませんが、学生においては「できれば取り組みたい」に5割半ばの回答があり、大学が立地している条件を生かした、学生との活動を充実させることも検討の余地があるといえます。
- 福祉サービスの充実と税金の関係については、「税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が約4割で最も多い回答となっています。そのため、公的な福祉サービスの充実だけでなく、活動を行っている市民の力を把握・活用するコーディネート機能も併せて充実させていくことが求められます。

#### （５）防災に対する備えについて

- 地域の防災訓練への参加状況は1割強となっており、大半は参加していないと回答しています。災害時に誰かと取り決めをしているかについては、4人に1人の割合で「特に誰とも取り決めていない」と回答しています。この傾向は年齢に関係なく高齢者にも当てはまります。しかし、地域の中の問題点としては「緊急時の対応体制がわからない」が3割半ばで最も多く、また、近所付き合いが必要と感じるときについては、「火災や地震などのとき」が9割と大半の回答となっており、緊急時に対する不安や、緊急時における地域の持つ役割に対する期待が大きいことがうかがえます。



- 地域の自主防災組織の認知度（【知っている】の割合）は21.6%となっています。高齢者でも半数以上が【知らない】と回答していますが、年齢が若いほど認知度は低い傾向にあります。また、近所付き合いが積極的な方ほど認知度が高い傾向にあります。
- 災害時要援護者登録制度についても、「知らない」の回答が約6割と半数以上の割合となっています。家族に介護を必要とする人や障害のある人がいる場合でも、「利用している」の割合は5%未満となっており、今後の更なる浸透と利用拡大が望まれます。



## 第 4 章 集計表

---

※「全体」の欄で、複数回答により合計が100%にならない箇所は「—」の表記としています。

問1 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	452	36.1
2	女性	746	59.5
	無回答	55	4.4
	全体	1,253	100.0

問2 年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	19歳・20歳代	121	9.7
2	30歳代	146	11.7
3	40歳代	187	14.9
4	50歳代	202	16.1
5	60歳代	234	18.7
6	70歳以上	296	23.6
	無回答	67	5.3
	全体	1,253	100.0

問3 職業・就業形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	正社員・正職員	322	25.7
2	派遣・契約社員	59	4.7
3	自営業・自由業(農林業も含む)	90	7.2
4	アルバイト・パートタイム	158	12.6
5	学生	37	3.0
6	無職・家事専業	478	38.1
7	その他	49	3.9
	無回答	60	4.8
	全体	1,253	100.0

問 4 居住地

No.	カテゴリー名	n	%
1	東元町	109	8.7
2	西元町	40	3.2
3	南町	56	4.5
4	泉町	108	8.6
5	本町	46	3.7
6	本多	93	7.4
7	東恋ヶ窪	111	8.9
8	西恋ヶ窪	54	4.3
9	東戸倉	34	2.7
10	戸倉	90	7.2
11	日吉町	65	5.2
12	内藤	44	3.5
13	富士本	57	4.5
14	新町	38	3.0
15	並木町	23	1.8
16	北町	39	3.1
17	光町	64	5.1
18	高木町	18	1.4
19	西町	104	8.3
	無回答	60	4.8
	全体	1,253	100.0

問 5 居住歴

No.	カテゴリー名	n	%
1	国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる	80	6.4
2	国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた(進学, 就職, 仕事など)	53	4.2
3	東京都内の他の市区町村の生まれである	399	31.8
4	東京都外の生まれである	643	51.3
5	その他	24	1.9
	無回答	54	4.3
	全体	1,253	100.0

問 6 家族構成

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとり暮らし世帯	172	13.7
2	夫婦のみ世帯	336	26.8
3	二世帯世帯(自分と親)	136	10.9
4	二世帯世帯(自分と子)	440	35.1
5	三世帯世帯(自分の子と孫)	32	2.6
6	三世帯世帯(自分の親と子)	31	2.5
7	三世帯世帯(自分の親とその親)	13	1.0
8	その他の世帯	36	2.9
	無回答	57	4.5
	全体	1,253	100.0

問 7 国分寺市の居留意向

No.	カテゴリー名	n	%
1	暮らしたい	1010	80.6
2	別の場所で暮らしてから、国分寺市に戻ってきたい	20	1.6
3	別の場所で暮らしたい	148	11.8
	無回答	75	6.0
	全体	1,253	100.0

問 8 同居者

No.	カテゴリー名	n	%
1	乳児(1歳未満の幼児)	25	2.0
2	乳児を除く小学校入学前の幼児	80	6.4
3	小学生	76	6.1
4	中学生・高校生	133	10.6
5	妊娠している女性	18	1.4
6	65歳以上の人	392	31.3
7	介護を必要とする人	69	5.5
8	障害のある人	36	2.9
9	いずれもない	492	39.3
	無回答	95	7.6
	全体	1,253	—

問 9 住宅の形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	持家(一戸建て)	729	58.2
2	持家(集合住宅)	182	14.5
3	借家(一戸建て)	25	2.0
4	借家(集合住宅)	245	19.6
5	寮	3	0.2
6	その他	15	1.2
	無回答	54	4.3
	全体	1,253	100.0

問 10「地域」の範囲のイメージ

No.	カテゴリー名	n	%
1	隣近所	139	11.1
2	自治会・町内会	530	42.3
3	小学校区	127	10.1
4	中学校区	57	4.5
5	市全域	321	25.6
6	その他	21	1.7
	無回答	58	4.6
	全体	1,253	100.0

問 11 自治会・町内会の加入状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	現在加入している	705	56.3
2	以前は加入していたが、今は加入していない	107	8.5
3	加入したことはない	278	22.2
4	そのような組織があることを知らない	100	8.0
	無回答	63	5.0
	全体	1,253	100.0

問 12 近所との付き合い

No.	カテゴリー名	n	%
1	日頃から助け合っている	127	10.1
2	気の合った人とは仲良くしている	213	17.0
3	たまに立ち話をする程度	283	22.6
4	顔を合わせたら挨拶をする程度	477	38.1
5	近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない	84	6.7
6	煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている	12	1.0
	無回答	57	4.5
	全体	1,253	100.0

問 13 近所付き合いの必要性

No.	カテゴリー名	n	%
1	必要だと思う	567	45.3
2	多少は必要だと思う	595	47.5
3	あまり必要だとは思わない	62	4.9
4	必要だとは思わない	8	0.6
	無回答	21	1.7
	全体	1,253	100.0

問 13-1 近所付き合いが必要だと感じる時

No.	カテゴリー名	n	%
1	火災や地震などのとき	1049	90.3
2	家を留守にする時	450	38.7
3	子どもの預かりが必要になった時	110	9.5
4	家族の介護・介助を一時的にできなくなった時	141	12.1
5	地域の活動に参加したい時	338	29.1
6	その他	95	8.2
	無回答	7	0.6
	全体	1,162	—

問 13-2 近所付き合いが不要だと思う理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	特に困っていることはないから	43	61.4
2	近所付き合いが煩わしいから	33	47.1
3	近所付き合いにかかる時間が惜しいから	10	14.3
4	人との関わりが苦手だから	16	22.9
5	ほとんど家にいることがないから	13	18.6
6	その他	4	5.7
	無回答	4	5.7
	全体	70	—

問 14 地域の中で問題だと思うこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	あいさつをしない人が多い	124	9.9
2	緊急時の対応体制がわからない	451	36.0
3	犯罪の増加	71	5.7
4	交通マナーの乱れ	234	18.7
5	道ばたのごみの増加	156	12.5
6	子どもの見守りがなされていない	44	3.5
7	高齢者のみ世帯の支援がなされていない	96	7.7
8	隣近所との交流が少ない	330	26.3
9	地域の活動に参加する人が少ない	189	15.1
10	地域の活動に参加する機会が少ない	155	12.4
11	地域の情報が少ない	256	20.4
12	障害者に対する理解が不足している	49	3.9
13	その他	79	6.3
14	特になし	234	18.7
	無回答	56	4.5
	全体	1,253	—



問 15 問題の解決方法について

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	319	25.5
2	地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい	47	3.8
3	住民と行政が力を出し合って解決したい	671	53.6
4	行政に解決してもらえるように要求していきたい	136	10.9
5	その他	24	1.9
	無回答	56	4.5
	全体	1,253	100.0

問 16 家事や外出などで困っている人がいる場合の対応

No.	カテゴリー名	n	%
1	自ら積極的に手助けする	62	4.9
2	頼まれたら可能な範囲で手助けする	657	52.4
3	協力したいが、どうしたらよいかわからない	147	11.7
4	自分では手伝えないが、自治会などに知らせる	91	7.3
5	責任が伴うので、個人では対応したくない	57	4.5
6	体力、人手、技術不足のため手伝えない	59	4.7
7	仕事などで対応する時間がつくれない	132	10.5
8	手助けする気持ちはない	3	0.2
9	その他	11	0.9
	無回答	34	2.7
	全体	1,253	100.0

問 17 介護・子育てなどで困っている家庭にできること

No.	カテゴリー名	n	%
1	安否確認の声かけ	704	56.2
2	趣味などの話し相手	180	14.4
3	買い物の手伝い	241	19.2
4	ごみ出し	256	20.4
5	外出の手助け	64	5.1
6	家の前などの掃除	431	34.4
7	高齢者等の介護	23	1.8
8	短時間の子どもの預かり	120	9.6
9	子どもの送り迎え	48	3.8
10	子どもの通学路の見守り	141	11.3
11	緊急時の手助け	612	48.8
12	その他	25	2.0
13	特になし	104	8.3
	無回答	44	3.5
	全体	1,253	—

問 18 高齢者・障害者の世帯の様子が普段と異なる場合の対応

No.	カテゴリー名	n	%
1	直接その家を訪ねる	154	12.3
2	隣近所の人に話す	391	31.2
3	自治会長・町内会長に話す	105	8.4
4	地区担当の民生委員・児童委員に話す	50	4.0
5	市役所に連絡する	144	11.5
6	警察に連絡する	100	8.0
7	どうしたらよいかわからない	151	12.1
8	気になるが、特に何もしない	84	6.7
9	その他	37	3.0
	無回答	37	3.0
	全体	1,253	100.0

問 19 福祉に関心があるか

No.	カテゴリー名	n	%
1	とても関心がある	191	15.2
2	ある程度関心がある	779	62.2
3	あまり関心がない	228	18.2
4	まったく関心がない	23	1.8
	無回答	32	2.6
	全体	1,253	100.0

問 20「福祉」という言葉のイメージ

No.	カテゴリー名	n	%
1	高齢者や障害者など特定の人に関係すること	425	33.9
2	困っている人がいたら助けること	343	27.4
3	すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと	416	33.2
4	考えたことがない	42	3.4
5	その他	8	0.6
	無回答	19	1.5
	全体	1,253	100.0

問 21 国分寺市の印象(1)子育て家族が暮らしやすいまち

No.	カテゴリー名	n	%
1	そう思う	144	11.5
2	どちらかというと思う	539	43.0
3	どちらかというと思わない	135	10.8
4	そうは思わない	108	8.6
5	わからない	261	20.8
	無回答	66	5.3
	全体	1,253	100.0

問 21 国分寺市の印象(2)障害者が暮らしやすいまち

No.	カテゴリー名	n	%
1	そう思う	56	4.5
2	どちらかというと思う	277	22.1
3	どちらかというと思わない	225	18.0
4	そうは思わない	182	14.5
5	わからない	451	36.0
	無回答	62	4.9
	全体	1,253	100.0

問 21 国分寺市の印象(3)高齢者が暮らしやすいまち

No.	カテゴリー名	n	%
1	そう思う	96	7.7
2	どちらかというと思う	363	29.0
3	どちらかというと思わない	253	20.2
4	そうは思わない	159	12.7
5	わからない	335	26.7
	無回答	47	3.8
	全体	1,253	100.0

問 21 国分寺市の印象(4)地域住民の活動が盛んなまち

No.	カテゴリー名	n	%
1	そう思う	57	4.5
2	どちらかというと思う	319	25.5
3	どちらかというと思わない	311	24.8
4	そうは思わない	227	18.1
5	わからない	280	22.3
	無回答	59	4.7
	全体	1,253	100.0

問 21 国分寺市の印象(5)災害時でも安心できるまち

No.	カテゴリー名	n	%
1	そう思う	100	8.0
2	どちらかというと思う	338	27.0
3	どちらかというと思わない	227	18.1
4	そうは思わない	163	13.0
5	わからない	368	29.4
	無回答	57	4.5
	全体	1,253	100.0

問 22 障害を理由とした差別や偏見の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	あると思う	152	12.1
2	少しはあると思う	422	33.7
3	ないと思う	388	31.0
4	よくわからない	281	22.4
	無回答	10	0.8
	全体	1,253	100.0

問 22-1 差別・偏見を感じる場面

No.	カテゴリー名	n	%
1	教育の機会	116	20.2
2	近所付き合い	104	18.1
3	地域行事や集まり	49	8.5
4	仕事や収入	306	53.3
5	店員の対応・態度	59	10.3
6	まちかどでの人の視線	265	46.2
7	行政職員の対応・態度	49	8.5
8	交通機関や建築物の配慮	298	51.9
9	その他	12	2.1
	無回答	11	1.9
	全体	574	—

問 23(1) 民生委員・児童委員

No.	カテゴリー名	n	%
1	よく知っている	96	7.7
2	ある程度知っている	483	38.5
3	あまり知らない	386	30.8
4	まったく知らない	248	19.8
	無回答	40	3.2
	全体	1,253	100.0

問 23(2) 国分寺市社会福祉協議会

No.	カテゴリー名	n	%
1	よく知っている	75	6.0
2	ある程度知っている	340	27.1
3	あまり知らない	450	35.9
4	まったく知らない	343	27.4
	無回答	45	3.6
	全体	1,253	100.0

問 23(3)ここねっと(小地域福祉活動)

No.	カテゴリー名	n	%
1	よく知っている	20	1.6
2	ある程度知っている	111	8.9
3	あまり知らない	427	34.1
4	まったく知らない	645	51.5
	無回答	50	4.0
	全体	1,253	100.0

問 23(4)地域の自主防災組織

No.	カテゴリー名	n	%
1	よく知っている	46	3.7
2	ある程度知っている	224	17.9
3	あまり知らない	459	36.6
4	まったく知らない	484	38.6
	無回答	40	3.2
	全体	1,253	100.0

問 24 福祉についての相談先

No.	カテゴリー名	n	%
1	家族・親戚	745	59.5
2	自治会・町内会の関係者	92	7.3
3	知人・友人	352	28.1
4	職場の人	77	6.1
5	医療機関の医師	274	21.9
6	民生委員・児童委員	152	12.1
7	社会福祉協議会	164	13.1
8	子ども家庭支援センター	64	5.1
9	地域包括支援センター	215	17.2
10	障害者センター	53	4.2
11	市役所の窓口や職員(保健師等)	782	62.4
12	頼める人がいない	52	4.2
13	頼むつもりはない	15	1.2
14	その他	14	1.1
	無回答	13	1.0
	全体	1,253	—

問 25 福祉サービスの情報入手状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	十分入手できている	32	2.6
2	十分ではないが入手できている	270	21.5
3	ほとんど入手できていない	532	42.5
4	福祉サービスを利用していないため必要ない	405	32.3
	無回答	14	1.1
	全体	1,253	100.0

問 25-1 福祉サービスの情報入手先

No.	カテゴリー名	n	%
1	市役所の窓口や広報紙	546	65.5
2	民生委員・児童委員	30	3.6
3	社会福祉協議会	48	5.8
4	子ども家庭支援センター	11	1.3
5	地域包括支援センター	54	6.5
6	障害者センター	7	0.8
7	利用している福祉施設・事業所のスタッフ	41	4.9
8	家族・親戚	106	12.7
9	友人・知人	123	14.7
10	自治会・町内会の関係者(回覧板含む)	137	16.4
11	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	167	20.0
12	インターネット	137	16.4
13	その他	28	3.4
	無回答	80	9.6
	全体	834	—

問 26 暮らしの中での悩み・不安

No.	カテゴリー名	n	%
1	家族の介護に関すること	315	25.1
2	育児・子育てに関すること	140	11.2
3	近所との付き合いのこと	80	6.4
4	外出の回数が減っていること	39	3.1
5	緊急時の連絡のこと	312	24.9
6	孤立死のこと	115	9.2
7	住む場所の確保のこと	85	6.8
8	特にない	450	35.9
9	その他	75	6.0
	無回答	53	4.2
	全体	1,253	—

問 27 ア. 成年後見制度

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	8	0.6
2	利用の仕方は知っている	242	19.3
3	聞いたことがある程度	692	55.2
4	知らない	279	22.3
	無回答	32	2.6
	全体	1,253	100.0

問 27 イ. 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	4	0.3
2	利用の仕方は知っている	76	6.1
3	聞いたことがある程度	350	27.9
4	知らない	789	63.0
	無回答	34	2.7
	全体	1,253	100.0

問 27 ウ. 災害時要援護者登録制度

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	11	0.9
2	利用の仕方は知っている	87	6.9
3	聞いたことがある程度	381	30.4
4	知らない	743	59.3
	無回答	31	2.5
	全体	1,253	100.0

問 28 福祉サービスの充実と税金等の負担について

No.	カテゴリー名	n	%
1	税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今よりも充実させるべきである	217	17.3
2	税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい	146	11.7
3	税金等の負担が重くなることと並行して、市民の参加を盛んにすべきである	100	8.0
4	税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである	486	38.8
5	福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである	61	4.9
6	その他	36	2.9
7	わからない	159	12.7
	無回答	48	3.8
	全体	1,253	100.0

問 29(1) 乳幼児・子どもに対する虐待

No.	カテゴリー名	n	%
1	虐待の場面もしくは虐待を受けた人に遭遇したことがある	41	3.3
2	虐待の話聞いたことがある	119	9.5
3	遭遇したことも聞いたこともない	1051	83.9
	無回答	42	3.4
	全体	1,253	100.0

問 29(2)障害者に対する虐待

No.	カテゴリー名	n	%
1	虐待の場面もしくは虐待を受けた人に遭遇したことがある	12	1.0
2	虐待の話聞いたことがある	88	7.0
3	遭遇したことも聞いたこともない	1107	88.3
	無回答	46	3.7
	全体	1,253	100.0

問 29(3)高齢者に対する虐待

No.	カテゴリー名	n	%
1	虐待の場面もしくは虐待を受けた人に遭遇したことがある	17	1.4
2	虐待の話聞いたことがある	115	9.2
3	遭遇したことも聞いたこともない	1077	86.0
	無回答	44	3.5
	全体	1,253	100.0

問 30 地域活動・ボランティア活動等へ取り組み状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	現在, 継続的に取り組んでいる	110	8.8
2	たまに, 取り組むことがある	146	11.7
3	取り組んだことはない	726	57.9
4	この1年の間にはないが, それ以前にはある	249	19.9
	無回答	22	1.8
	全体	1,253	100.0

問 30-1 活動内容

No.	カテゴリー名	n	%
1	自治会・町内会の活動全般	120	46.9
2	婦人会の活動	3	1.2
3	子ども会の活動	10	3.9
4	老人クラブの活動	16	6.3
5	PTA の活動	31	12.1
6	子育てサークルの活動	9	3.5
7	スポーツ団体の活動	30	11.7
8	健康づくり体操団体活動	25	9.8
9	趣味などのサークル活動	34	13.3
10	ここねっと(小地域福祉活動)	5	2.0
11	ボランティア活動	63	24.6
12	NPO 活動	19	7.4
13	その他	16	6.3
	無回答	16	6.3
	全体	256	—



問 30-2 活動に取り組まない理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	自治会などの組織に入っていない	176	24.2
2	活動に参加する時間がない	281	38.7
3	参加方法が分からない	213	29.3
4	特に興味がない	167	23.0
5	経済的な負担が大きい	21	2.9
6	家族の理解が得られない	6	0.8
7	一緒に活動する仲間がいない	114	15.7
8	体調が優れない	77	10.6
9	人間関係が煩わしい	85	11.7
10	その他	45	6.2
	無回答	59	8.1
	全体	726	—

問 31 ボランティア活動や活動団体の情報入手について

No.	カテゴリー名	n	%
1	十分入手できている	16	1.3
2	十分ではないが、入手できている	261	20.8
3	ほとんど入手できていない	502	40.1
4	今のところ情報を得ようとしていない	375	29.9
	無回答	99	7.9
	全体	1,253	100.0

問 32 今後の地域活動やボランティア活動の取り組み意向

No.	カテゴリー名	n	%
1	ぜひ取り組みたい	44	3.5
2	できれば取り組みたい	513	40.9
3	あまり取り組む気はない	529	42.2
4	取り組みたくない	59	4.7
	無回答	108	8.6
	全体	1,253	100.0

問 33 ボランティア活動等を活性化するために必要だと思うこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	活動の情報提供の充実, PR強化	641	51.2
2	活動に関する相談窓口の充実	265	21.1
3	子どもの頃からの福祉教育の強化	333	26.6
4	人材を育成するための講座の開催	188	15.0
5	体験入門できる機会の充実	296	23.6
6	個々の能力を活用できる人材バンクの活用	230	18.4
7	活動に必要な場所の確保	128	10.2
8	運営に必要なお金の補助	210	16.8
9	団体の法人格取得に向けた支援	25	2.0
10	保険加入に必要なお金の補助	41	3.3
11	活動団体間の連絡や調整機能の強化	67	5.3
12	ボランティア休暇制度の整備	121	9.7
13	特になし	76	6.1
14	その他	23	1.8
	無回答	150	12.0
	全体	1,253	—

問 34 地域の防災訓練参加状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	168	13.4
2	いいえ	929	74.1
3	わからない	67	5.3
	無回答	89	7.1
	全体	1,253	100.0

問 35 災害時の対応についての取り決め状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居の家族と	720	57.5
2	比較的近くに住む家族・親族と	205	16.4
3	隣近所の人と(自主防災組織の人を含む)	85	6.8
4	お世話になっている福祉施設と	4	0.3
5	特に誰とも取り決めていない	320	25.5
6	その他	17	1.4
	無回答	85	6.8
	全体	1,253	—

問 36 災害時、近所に支援を必要としそうな人の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	高齢者の方でいる	393	31.4
2	障害者の方でいる	48	3.8
3	乳幼児がいる親の方でいる	107	8.5
4	妊娠している方でいる	5	0.4
5	いない	283	22.6
6	わからない	418	33.4
	無回答	94	7.5
	全体	1,253	—

問 36-1 支援を必要とする人に対するの行動について

No.	カテゴリー名	n	%
1	気にかけて様子うかがうようにしている	131	28.0
2	日頃から声をかけるようにしている	138	29.5
3	緊急時のことについて話し合っている	17	3.6
4	自治会など地域の人に教えている	20	4.3
5	特に何もしていない	183	39.1
6	その他	15	3.2
	無回答	34	7.3
	全体	468	—

問 37 福祉保健施策の充実ために重要だと思うこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	地域の支え合いのしくみづくり	395	31.5
2	地域でのさまざまな交流活動の促進	215	17.2
3	子どもの頃からの福祉教育の充実	246	19.6
4	育児・子育ての支援体制の充実	216	17.2
5	高齢者の在宅生活支援	310	24.7
6	障害者の在宅生活支援	81	6.5
7	健康づくり事業の充実	159	12.7
8	医療サービス体制の充実	345	27.5
9	移動手段の充実	138	11.0
10	公共施設等のバリアフリー化の推進	119	9.5
11	ボランティアやNPOの育成と活動支援	99	7.9
12	地域における身近な相談体制づくり	263	21.0
13	福祉サービスに関する情報の充実	291	23.2
14	防犯・交通安全・防災体制の充実	271	21.6
15	福祉に従事する専門的人材の育成	148	11.8
16	その他	28	2.2
	無回答	43	3.4
	全体	1,253	—



## 第 5 章 調査票

---

# 国分寺市地域福祉計画 地域福祉に関するアンケート

## ～ご協力のお願い～

市民の皆様には日ごろから福祉保健行政にご協力いただき、ありがとうございます。  
国分寺市では、現在、福祉保健分野の総合的・包括的な計画として社会福祉法に基づき地域福祉計画の策定を予定しています。

つきましては、市民の皆様の地域福祉に関するお考えや実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画づくりに反映していきたいと思い、アンケートを実施することといたしました。

このアンケートは、19歳以上の市民3,000人の方を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、地域福祉計画策定の参考として利用するものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありません。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

国分寺市長 **井澤 邦夫**

### ご記入にあたって

1. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
2. 「その他〔 〕」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
4. ご記入いただきました回答は統計的に処理いたします。

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、  
**平成25年12月27日（金）**（回答期限）までにご投函ください。

皆様からいただいた貴重なご意見は、地域福祉計画策定の参考とさせていただきます。  
国分寺市の福祉保健施策がより良いものとなるよう、今後ともご理解・ご協力の程、よろしく  
お願い申し上げます。

○ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市 福祉保健部 福祉計画課

電 話：042（325）0111 [代表] 内線 566, 565

ファクス：042（325）9026

## 1 あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別について、お聞きします。(あてはまるもの1つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたは何歳ですか。(数字を記入)

( ) 歳 (平成25年11月1日現在)

問3 あなたのご職業・就業形態は次のどれですか。(主なもの1つに○)

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1 正社員、正職員         | 5 学生      |
| 2 派遣・契約社員         | 6 無職・家事専業 |
| 3 自営業・自由業(農林業も含む) | 7 その他〔    |
| 4 アルバイト・パートタイム    | 〕         |

問4 お住まいのまちはどこですか。(あてはまるもの1つに○)

- |       |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| 1 東元町 | 6 本多   | 11 日吉町 | 16 北町  |
| 2 西元町 | 7 東恋ヶ窪 | 12 内藤  | 17 光町  |
| 3 南町  | 8 西恋ヶ窪 | 13 富士本 | 18 高木町 |
| 4 泉町  | 9 東戸倉  | 14 新町  | 19 西町  |
| 5 本町  | 10 戸倉  | 15 並木町 |        |

問5 あなたの居住歴をお聞きします。(あてはまるもの1つに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 国分寺市生まれで、ずっと市に住んでいる                |
| 2 国分寺市生まれで、市外に住んだあと帰ってきた(進学、就職、仕事など) |
| 3 東京都内の他の市区町村の生まれである                 |
| 4 東京都外の生まれである                        |
| 5 その他〔                               |
| 〕                                    |

問6 家族構成は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 ひとり暮らし世帯    | 5 三世代世帯(自分の子と孫)   |
| 2 夫婦のみ世帯      | 6 三世代世帯(自分の親と子)   |
| 3 二世帯世帯(自分と親) | 7 三世代世帯(自分の親とその親) |
| 4 二世帯世帯(自分と子) | 8 その他の世帯(         |
|               | )                 |

問7 これからも国分寺市で暮らしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 暮らしたい                   |
| 2 別の場所で暮らしてから、国分寺市に戻ってきたい |
| 3 別の場所で暮らしたい              |

問8 あなたご自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1 乳児(1歳未満の幼児)    | 6 65歳以上の人   |
| 2 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 7 介護を必要とする人 |
| 3 小学生            | 8 障害のある人    |
| 4 中学生・高校生        | 9 いずれもない    |
| 5 妊娠している女性       |             |

問9 あなたが暮らしている住宅の形態は次のどれにあたりますか。(あてはまるもの1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 持家(一戸建て) | 4 借家(集合住宅) |
| 2 持家(集合住宅) | 5 寮        |
| 3 借家(一戸建て) | 6 その他〔 〕   |

## 2 地域のことについてお聞きします。

問10 あなたが考える「地域」とは、どの程度の範囲をイメージしますか。(あてはまるもの1つに○)

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 隣近所     | 4 中学校区   |
| 2 自治会・町内会 | 5 市全域    |
| 3 小学校区    | 6 その他〔 〕 |

問11 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 現在加入している             |
| 2 以前は加入していたが、今は加入していない |
| 3 加入したことはない            |
| 4 そのような組織があることを知らない    |

問12 近所との付き合いはどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 日頃から助け合っている                      |
| 2 気の合った人とは仲良くしている                  |
| 3 たまに立ち話をする程度                      |
| 4 顔を合わせたら挨拶をする程度                   |
| 5 近所にどのような人がいるかわからないため、ほとんど付き合いはない |
| 6 煩わしいので近所付き合いは持たないようにしている         |



問 13 あなたは、ご近所の方とお付き合いは必要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 必要だと思う    | 3 あまり必要だとは思わない |
| 2 多少は必要だと思う | 4 必要だとは思わない    |

問 13-1 問 13 で「1 必要だと思う」、「2 多少は必要だと思う」と回答した方におうかがいします。

どのような時にご近所とお付き合いが必要だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 火災や地震などのとき             |
| 2 家を留守にするとき              |
| 3 子どもの預かりが必要になったとき       |
| 4 家族の介護・介助を一時的にできなくなったとき |
| 5 地域の活動に参加したいとき          |
| 6 その他〔                   |

問 13-2 問 13 で「3 あまり必要だとは思わない」、「4 必要だとは思わない」と回答した方におうかがいします。

近所付き合いが必要ないと思われるのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |
|----------------------|
| 1 特に困っていることはないから     |
| 2 近所付き合いが煩わしいから      |
| 3 近所付き合いにかかる時間が惜しいから |
| 4 人との関わりが苦手だから       |
| 5 ほとんど家にいることがないから    |
| 6 その他〔               |

問 14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い       | 8 隣近所との交流が少ない       |
| 2 緊急時の対応体制がわからない     | 9 地域の活動に参加する人が少ない   |
| 3 犯罪の増加              | 10 地域の活動に参加する機会が少ない |
| 4 交通マナーの乱れ           | 11 地域の情報が少ない        |
| 5 道ばたのごみの増加          | 12 障害者に対する理解が不足している |
| 6 子どもの見守りがなされていない    | 13 その他〔             |
| 7 高齢者のみ世帯の支援がなされていない | 14 特になし             |

問 15 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい |
| 2 | 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい    |
| 3 | 住民と行政が力を出し合って解決したい                  |
| 4 | 行政に解決してもらえるように要求していきたい              |
| 5 | その他〔 〕                              |

問 16 隣近所で、身の周りのこと、家事や外出などで困っている人がいる場合、あなたはどのような対応をとると思いますか。(もっともあてはまるもの1つに○)

- |   |                       |   |                    |
|---|-----------------------|---|--------------------|
| 1 | 自ら積極的に手助けする           | 6 | 体力、人手、技術不足のため手伝えない |
| 2 | 頼まれたら可能な範囲で手助けする      | 7 | 仕事などで対応する時間をつくれない  |
| 3 | 協力したいが、どうしたらよいかわからない  | 8 | 手助けする気持ちはない        |
| 4 | 自分では手伝えないが、自治会などに知らせる | 9 | その他〔 〕             |
| 5 | 責任が伴うので、個人では対応したくない   |   |                    |

問 17 隣近所で、高齢者や障害者の介護・介助、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのようなことであれば手助けができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |           |    |             |
|---|-----------|----|-------------|
| 1 | 安否確認の声かけ  | 8  | 短時間の子どもの預かり |
| 2 | 趣味などの話し相手 | 9  | 子どもの送り迎え    |
| 3 | 買い物の手伝い   | 10 | 子どもの通学路の見守り |
| 4 | ごみ出し      | 11 | 緊急時の手助け     |
| 5 | 外出の手助け    | 12 | その他〔 〕      |
| 6 | 家の前などの掃除  | 13 | 特にない        |
| 7 | 高齢者等の介護   |    |             |

問 18 隣近所で、高齢者のみで暮らしている世帯や障害者が住んでいる世帯について、いつもと違う雰囲気を感じた場合、または全然見かけなくなり気になった場合に、あなたは真っ先にどのような対応をとると思いますか。(もっともあてはまるもの1つに○)

- |   |                   |   |               |
|---|-------------------|---|---------------|
| 1 | 直接その家を訪ねる         | 6 | 警察に連絡する       |
| 2 | 隣近所の人に話す          | 7 | どうしたらよいかわからない |
| 3 | 自治会長・町内会長に話す      | 8 | 気になるが、特に何もしない |
| 4 | 地区担当の民生委員・児童委員に話す | 9 | その他〔 〕        |
| 5 | 市役所に連絡する          |   |               |

### 3 福祉のことについてお聞きします。

問 19 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(あてはまるもの1つに○)

1 とても関心がある	3 あまり関心がない
2 ある程度関心がある	4 まったく関心がない

問 20 あなたは、「福祉」という言葉にどのようなイメージをお持ちですか。(あてはまるもの1つに○)

1 高齢者や障害者など特定の人に関係すること
2 困っている人がいたら助けること
3 すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと
4 考えたことがない
5 その他〔 〕

問 21 国分寺市に対して、次にあげるまちの状況についてどのような印象をお持ちですか。(1)から(5)について、それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そうは思わない	わからない
例) 子育て家族が暮らしやすいまち	1	②	3	4	5
(1) 子育て家族が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
(2) 障害者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
(3) 高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
(4) 地域住民の活動が盛んなまち	1	2	3	4	5
(5) 災害時でも安心できるまち	1	2	3	4	5

問 22 あなたの普段の生活の中で、障害を理由とした差別や偏見があると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 あると思う	3 ないと思う
2 少しはあると思う	4 よくわからない

問 22-1 問 22 で「1 あると思う」、「2 少しはあると思う」と回答した方におうかがいします。

どのような場面で差別や偏見があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 教育の機会	6 まちかどでの人の視線
2 近所付き合い	7 行政職員の対応・態度
3 地域行事や集まり	8 交通機関や建築物の配慮
4 仕事や収入	9 その他〔 〕
5 店員の対応・態度	

問 23 あなたは、次の福祉に関する団体、資源や制度を知っていますか。(①から④)について、それぞれ1つに○)

	知 っ て い る	よ く 知 っ て い る	知 っ て い る 程 度	知 ら な い あ ま り	知 ら な い ま っ た く
例) 民生委員・児童委員	1		②	3	4
(1) 民生委員・児童委員	1		2	3	4
(2) 国分寺市社会福祉協議会	1		2	3	4
(3) ここねっと* (小地域福祉活動)	1		2	3	4
(4) 地域の自主防災組織	1		2	3	4

\*ここねっと：国分寺コミュニティネットワークのことで、市内10の小校区ごとに、地域の特性を生かした活動を展開している。

問 24 あなたは、福祉のことで相談が必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	6 民生委員・児童委員	11 市役所の窓口や職員(保健師等)
2 自治会・町内会の関係者	7 社会福祉協議会	12 頼める人がいない
3 知人・友人	8 子ども家庭支援センター	13 頼むつもりはない
4 職場の人	9 地域包括支援センター*	14 その他〔 〕
5 医療機関の医師	10 障害者センター	

\*地域包括支援センター：平成25年10月1日をもって、国分寺地域相談センターひよし、こいがくぼ、なみきは、国分寺地域包括支援センターに移行し、国分寺地域包括支援センターほんだが新たに整備されました。

問 25 あなたは現在、自分に必要な「福祉サービス\*」の情報をどの程度入手できていると感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 十分入手できている	3 ほとんど入手できていない
2 十分ではないが入手できている	4 福祉サービスを利用していないため必要ない

\*福祉サービス：行政や法人格を有する団体・事業所が提供する高齢者福祉サービス、介護保険サービス、障害福祉サービス、児童福祉サービスなど。

問 25-1 問 25 で「1 十分入手できている」、「2 十分ではないが入手できている」、  
「3ほとんど入手できていない」と回答した方におうかがいします。

あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 市役所の窓口や広報紙	8 家族・親戚
2 民生委員・児童委員	9 友人・知人
3 社会福祉協議会	10 自治会・町内会の関係者(回覧板含む)
4 子ども家庭支援センター	11 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
5 地域包括支援センター	12 インターネット
6 障害者センター	13 その他〔 〕
7 利用している福祉施設・事業所のスタッフ	

問 26 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていま  
すか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族の介護に関すること	6 孤立死のこと
2 育児・子育てに関すること	7 住む場所の確保のこと
3 近所との付き合いのこと	8 特にない
4 外出の回数が減っていること	9 その他〔 〕
5 緊急時の連絡のこと	

問 27 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。(アからウについ  
て、それぞれ1つに○)

	利用して いる	利用していない		
		利用の仕方 は知っている	聞いたこと がある程度	知らない
ア. 成年後見制度 認知症や知的・精神障害があり、判断能力の不十分な方の権利を守るために、契約や法的手続の場面で、法律面からサポートする制度	1	2	3	4
イ. 地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) 判断能力が不十分な方へのサービスで、福祉サービスの利用支援や日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスなどがある	1	2	3	4
ウ. 災害時要援護者登録制度 災害発生時に自力での避難が困難な方を対象に、地域の支援者(民生委員・児童委員、社会福祉協議会、国分寺消防署、自治会・町内会)が、安否確認や避難の介助を行うための制度	1	2	3	4

問 28 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今よりも充実させるべきである |
| 2 | 税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい         |
| 3 | 税金等の負担が重くなることと並行して、市民の参加を盛んにすべきである      |
| 4 | 税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである |
| 5 | 福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである         |
| 6 | その他〔                                    |
| 7 | わからない                                   |

問 29 あなたは、高齢者、障害者や乳幼児などに対する虐待\*について、地域の中で見たり聞いたりしたことはありますか。((1)から(3)について、それぞれ1つに○)

	虐待の場面もしくは虐待を受けた人に遭遇したことがある	虐待の話を聞いたことがある	遭遇したことも聞いたこともない
例) 乳幼児・子どもに対する虐待	1	2	③
(1) 乳幼児・子どもに対する虐待	1	2	3
(2) 障害者に対する虐待	1	2	3
(3) 高齢者に対する虐待	1	2	3

\*虐待：人権を侵害し、心や身体を傷つけるような行為のこと。身体的虐待(殴る、蹴るなどの暴力的な行為)、性的虐待(わいせつ行為)、心理的虐待(暴言や脅迫など)、ネグレクト(食事を与えない、放置など世話の放棄)、経済的虐待(財産や年金を本人の同意なしに使うなど)がある。

#### 4 地域での活動についてお聞きします。

問 30 あなたは、この1年間、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |                |   |                      |
|---|----------------|---|----------------------|
| 1 | 現在、継続的に取り組んでいる | 3 | 取り組んだことはない           |
| 2 | たまに、取り組むことがある  | 4 | この1年の間にはないが、それ以前にはある |

問 30-1 問 30 で「1 現在、継続的に取り組んでいる」、「2 たまに、取り組むことがある」と回答した方におうかがいします。

どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 自治会・町内会の活動全般	8 健康づくり体操団体活動
2 婦人会の活動	9 趣味などのサークル活動
3 子ども会の活動	10 ここねっと(小地域福祉活動)
4 老人クラブの活動	11 ボランティア活動
5 PTA の活動	12 NPO*活動
6 子育てサークルの活動	13 その他〔
7 スポーツ団体の活動	〕

※NPO: 民間の非営利組織であり、公益的な団体のほか共益的な団体(会員相互の親睦などを目的とする組織)なども含まれる。また、市民活動団体の中で特定非営利活動促進法(通称NPO法)により法人格を取得した団体として、NPO法人(特定非営利活動法人)がある。

問 30-2 問 30 で「3 取り組んだことはない」と回答した方におうかがいします。

活動に取り組まない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 自治会などの組織に入っていない	6 家族の理解が得られない
2 活動に参加する時間がない	7 一緒に活動する仲間がいない
3 参加方法が分からない	8 体調が優れない
4 特に興味がない	9 人間関係が煩わしい
5 経済的な負担が大きい	10 その他〔
	〕

問 31 あなたは、市民が行うボランティア活動や活動団体の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(あてはまるもの1つに○)

1 十分入手できている	3 ほとんど入手できていない
2 十分ではないが、入手できている	4 今のところ情報を得ようとしていない

問 32 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 ぜひ取り組みたい	3 あまり取り組む気はない
2 できれば取り組みたい	4 取り組みたくない

問 33 福祉に関するボランティア活動や助け合い活動を活性化するためにはどのようなことが必要だとお考えですか。(主なもの3つまでに○)

1 活動の情報提供の充実, PR強化	8 運営に必要なお金の補助
2 活動に関する相談窓口の充実	9 団体の法人格取得に向けた支援
3 子どもの頃からの福祉教育の強化	10 保険加入に必要なお金の補助
4 人材を育成するための講座の開催	11 活動団体間の連絡や調整機能の強化
5 体験入門できる機会の充実	12 ボランティア休暇制度の整備
6 個々の能力を活用できる人材バンクの活用	13 特にない
7 活動に必要な場所の確保	14 その他〔 〕

## 5 防災に対する備えについてお聞きします。

問 34 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問 35 あなたは、災害が起きた時の対応(連絡のとり方や避難の方法など)について、自分以外の誰かと取り決めてありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 同居の家族と	4 お世話になっている福祉施設と
2 比較的近くに住む家族・親族と	5 特に誰とも取り決めていない
3 隣近所の人と(自主防災組織の人を含む)	6 その他〔 〕

問 36 あなたの家の周りには、高齢者や障害者のひとり暮らし、乳幼児がいる世帯など、災害時に支援を必要としそうな方は住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 高齢者の方でいる	4 妊娠している方でいる
2 障害者の方でいる	5 いない
3 乳幼児がいる親の方でいる	6 わからない

問 36-1 問 36 で「1 高齢者の方でいる」～「4 妊娠している方でいる」と回答した方におうかがいします。

その方たちに対して、あなたは何か行動されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 気にかけて様子をうかがうようにしている	4 自治会など地域の人に教えている
2 日頃から声をかけるようにしている	5 特に何もしていない
3 緊急時のことについて話し合っている	6 その他〔 〕



## 6 今後の福祉保健施策についてお聞きします。

問 37 国分寺市の福祉保健施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(主なもの3つまでに○)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 地域の支え合いのしくみづくり   | 9 移動手段の充実             |
| 2 地域でのさまざまな交流活動の促進 | 10 公共施設等のバリアフリー化の推進   |
| 3 子どもの頃からの福祉教育の充実  | 11 ボランティアやNPOの育成と活動支援 |
| 4 育児・子育ての支援体制の充実   | 12 地域における身近な相談体制づくり   |
| 5 高齢者の在宅生活支援       | 13 福祉サービスに関する情報の充実    |
| 6 障害者の在宅生活支援       | 14 防犯・交通安全・防災体制の充実    |
| 7 健康づくり事業の充実       | 15 福祉に従事する専門的人材の育成    |
| 8 医療サービス体制の充実      | 16 その他〔 〕             |

## 7 自由回答

問 38 最後に、暮らしやすい地域づくり、市民と市の協働について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。


アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて **12月27日(金)**までにポストに投函してください。**(切手は不要です。)**

**国分寺市地域福祉計画  
地域福祉に関するアンケート  
結果報告書**

発行：平成 26 年 3 月

編集：国分寺市 福祉保健部福祉計画課